



地区会員必携



What is Rotary?

ロータリーの目的 OBJECT OF ROTARY

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。
具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

(RI 定款第4条、標準ロータリークラブ定款第5条)

四つのテスト THE FOUR- WAY TEST

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？ (1932年 ハーバード・テラー)

1. 真実かどうか。：誰にとって真実ですか？ Is it the TRUTH?

真実の一つだと思いがちですが、実際はより複雑な場合が多いものです。人はそれぞれの経験や背景に基づいて、異なる状況を認識します。真実を知るには、多くの人に話を聞くことが大切です。

2. みんなに公平か。：誰にとっての公平さですか？ Is it FAIR to all concerned?

何が皆にとって公平かどうかを判断するとき、誰がその状況で力を握っているのかどうか考えてみましょう。多くの場合、「公正さ Fair」とは平等 (Equal) ということではなく、関係者それぞれのニーズに公平に (Equitably) 応えることを意味します。意思決定をする人は、公平さと平等 (Equality and Equity) の違いを理解しているのでしょうか。

3. 好意と友情を深めるか。：誰との好意や友情ですか？

Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?

どのような友人関係を築き、維持しようとしているのかを考えてみましょう。時には、現状維持が最善と思われることもあるかもしれませんが、しかし、ある人には好意的に見えても、ほかの人には異なる解釈をされる可能性があります。優れたリーダーは、高潔性を示し、個人的なつながりが関係する場合でも、正しいことを行います。

4. みんなのためになるかどうか。：誰が最も恩恵を得るでしょうか？

Will it be BENEFICIAL to all concerned?

倫理的な選択をするとき、私たちはしばしば多くの人や集団のニーズを取らなければなりません。ある選択が一部の人のためになり、別の選択がまた別の人たちのためになるかもしれません。歴史的に意思決定プロセスから除外されてきた人々にどのような影響を与えるかを考えてみましょう。

Enjoy Rotary

目 次

ロータリーの目的・四つのテスト	
1. 国際ロータリー会長プロフィール	4
2. 2026年 国際協議会 会長エレクトメッセージ講演(要旨)	5
3. 2026年 国際協議会 会長エレクトメッセージ講演(対訳)	7
4. ロータリーのビジョン声明	15
5. ロータリーの中核的価値観	16
6. ロータリー行動計画	17
7. ガバナープロフィール	18
8. ガバナーから国際ロータリー第2840地区会員の皆様へ	19
9. 第5期地区戦略計画(2026-2029年)	21
10. 地区運営方針	23
11. クラブ優秀賞並びにガバナー賞へのエントリーのお願い	25
12. 地区組織図	28
13. 地区委員会委員名簿	30
14. 一般会計収支予算書(案)	32
15. その他委員会活動費の内訳書(案)	34
16. 特別会計予算(案)	35
17. 地区役員名簿	36
18. ガバナースタッフ名簿	40
19. クラブ会長・幹事名簿	41
20. 地区組織編成と活動指針	45
21. 委員会事業計画	55
ガバナー指名委員会	56
地区運営連絡会議	57
ローターアクト地区連絡協議会	58
地区財務委員会	61
地区特定資産管理委員会	64
地区事業検討特別委員会	68
ガバナー事務所管理運営委員会	69
地区ラーニング・管理運営委員会	71
RLI推進委員会	72
地区戦略計画委員会	73
審議会立法案検討特別委員会	74
危機管理委員会	75
ロータリーの友地区委員会	76
ロータリー財団監査委員会	77
ロータリー財団委員会	78

ポリオプラス・資金推進委員会	82
資金管理・平和フェロシップ委員会	85
地区補助金委員会	86
グローバル補助金委員会	90
地区行動計画推進委員会	93
会員組織強化委員会	95
参加意欲向上委員会	96
公共イメージ・ICT推進委員会	97
国際大会推進委員会	99
奉仕プロジェクト委員会	101
青少年交換委員会	102
インターアクト委員会	108
RYLA・学友委員会	111
ローターアクト委員会	114
米山記念奨学委員会	116
22. 地区主要行事予定表	119
23. ガバナー公式訪問要領	123
24. ガバナー公式訪問日程表	124
25. IA・RA・RYLA 輪番表	126
26. ロータリーとポリオ根絶活動	127
27. 歴代国際ロータリー会長・テーマ一覧	130
28. 歴代ガバナー・ガバナー補佐ほか一覧	131
29. ガバナー事務所管理運営規定及びマニュアル・業務分担表B	135
30. クラブ現況報告書記載要領	138
31. クラブ現況指標	139
32. 世界のロータリー・2024-2025年度RI財務報告	142
33. ロータリー関係事務所一覧	144
34. クラブ事務局一覧	145
35. クラブ例会一覧	146
36. ガバナー事務所案内図	148

オンラインカ・ハキーム・ババロラ

2026-27 年度会長

トランス・アマディ・ロータリークラブ
ナイジェリア・リバーズ州

1988 年に大学で工学の学位を取得。

シェル PLC で要職を歴任するなど、石油・ガス業界で 25 年間勤務し、4 大陸でプロジェクトを実施。

リビエラ・テクニカル・サービス社（石油・ガスインフラ供給会社）とリード・アンド・チェンジ・コンサルティング社（管理職コーチングと組織業績アドバイザーグループ）の 2 社を設立。

ババロラ氏が所属する専門職団体には、ナイジェリア技術者協会、ナイジェリア安全専門家協会、変革管理専門家協会などがある。経済・社会政策について政府に意見を提供する、故郷イバダン市の組織「ジェリコ・ビジネスマン・クラブ」のメンバーとなっている。



ローターアクターとして 10 年間活動し、1994 年からはトランス・アマディ・ロータリークラブの会員。2011-12 年度に地区ガバナー、2018-20 年度に RI 理事、2019-20 年度に副会長を務めた。2017-23 年度に End Polio Now: 歴史をつくるカウントダウンキャンペーン委員会（2017-20 年度副委員長）、2013 年～現在はナイジェリア・ポリオプラス委員会（2016 年～現在アドバイザー）での役職を歴任。

妻プレバさんと共にポート・ハーコート市に在住。冠名基金とアーチ・クランフ・ソサエティを通じてロータリー財団を支援。シェルターボックス UK の評議員としてボランティア活動も行っている。ポリオのない世界のための地域奉仕賞、RI 超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状を受賞。

2026年 国際協議会 会長エレクトメッセージ要旨

(出典：My Rptary)



1月12日、米国フロリダ州オーランドで開催中の国際協議会でオラインカ H. ババロラ国際ロータリー会長エレクトが講演し、クラブでの歓迎的な環境づくり、意義あるプロジェクトの実施、人生を変えるようなロータリーでの体験を通じて、「持続可能なインパクトを生み出そう」と呼びかけました。

「ロータリーは私たちを変えました。私たちという人間を形づくり、より良い人間にしてくれたのです。私たちは“世界を変える”ことをよく話題にします。ポリオ根絶や平和構築について語ります。しかし、ロータリーが自分自身をどう変えたかについては、あまり考えません」

ナイジェリアのトランス・アマディ・ロータリークラブの会員であるババロラ氏は、十代のときにローターアクトクラブで活動したことが、恵まれた環境で育ったことによる狭い視野から抜け出し、より広い世界を見るきっかけになったと語りました。その気づきは、地域社会の人びとに読み書きを教える活動など、クラブが生み出したインパクトを目のあたりにしたことでもたらされました。

「ロータリー会員である私たちは、より良い未来というビジョンを共有しています」とババロラ氏。「そのビジョンを現実にするには、自身の内なる変化を意識し、解き放たなければなりません。成果だけでなく、インパクトを重視すべきです」

変化とインパクトは同じではない、と述べた上で、ババロラ氏はこう続けました。「変化は始まりに過ぎません。インパクトこそが永続するのです」

インパクトを理解する

ババロラ氏は、南アフリカ・ナイズナでの幼児教育の拡充や、ナイジェリアでの妊産婦ケアの改善など、ロータリー会員がインパクトを生み出していると述べました。ナイズナ・ロータリークラブは、地

域の女性たちが幼児教育センターを開設・運営できるよう支援しました。

「このプロジェクトは何千もの子どもと家庭に恩恵をもたらし、今後何世代にもわたって教育を提供し続けるでしょう」とババロラ氏。「このインパクトを世界のほかの地域でも再現できれば、地域社会から信頼と評価を得ることができます。そして、より多くの地域社会がロータリーを信頼すれば、入会したいという人が増えます」

また、「ナイジェリアにおける健康な家族のための協力」の幅広いインパクトにも触れました。妊産婦と新生児の死亡率を減らすこのイニシアチブは、2022年に200万米ドルの大規模プログラム補助金を受領しました。

ババロラ氏はこう説明します。「ロータリーが介入する前は、多くの女性が妊婦健診を避けていました。しかし、健診は母子ともに安全な出産に欠かせません。ロータリーの支援により、妊婦が健診に通うシステムが整い、地域社会からの協力も得られました。受診率がアップし、死亡率が下がりました。このプロジェクトは今後数十年にわたり、ナイジェリア全土で命を救い続けるでしょう」

より歓迎的な姿勢を

クラブの新しい入会者に対してよりオープンに歓迎するよう呼びかけたババロラ氏は、ローターアクト時代にロータリークラブに入りたいと思ったものの、クラブ会長から冷たい対応を受けた自身の経験について語りました。

「彼（クラブ会長）はこう言いました。“何という厚かましきだ！ただ入会できるわけがないだろう。招待が必要だ”、と」とババロラ氏は振り返ります。「そこであきらめることもできましたが、私はこう言い返しました。“子どもが親の家に入るのに招待が必要だとは知りませんでした”」

当時と比べれば良くなったものの、まだ十分ではないとババロラ氏。一部のクラブは世界をオープンに受け入れるどころか、閉ざされたままであり、若い人たちが尊重されず、考えや背景が異なる人が歓迎されないこともあると述べ、人びとをよりよく受け入れるにはどうしたらよいかを考えるよう促しました。

「例会や奉仕プロジェクトでの皆さんの態度ひとつで、誰かのロータリーのストーリーが始まるかもしれないし、終わるかもしれないのです」

さらに、自身の変化を促すもう一つの方法は、自分のベストを超えることだと述べました。過去の募金活動やプロジェクト、会員増強の成功を振り返り、それを越えるべくさらに挑戦するよう地区リーダーに呼びかけました。

「自分を変えられれば、クラブと地区を変えられます。地区を変えられれば、地域社会を変えられます。そして、地域社会を変えられれば、世界で、地域社会で、自分自身の中で、持続可能なインパクトを生み出すことができます」

2026-27 PRESIDENTIAL MESSAGE ADDRESS

2026-27 年度会長メッセージのスピーチ

オラインカ・ハキーム・ババロラ

Olayinka Hakeem Babalola

2026-27 Rotary International President

12 January 2026

親愛なるロータリーの友人とファミリーの皆さま、おはようございます！2026 年国際協議会に皆さまを歓迎し、地区ガバナーエレクトとなられたことをお祝いできることを光栄に思います。

Good morning! My dear friends and family of Rotary, it is my honor to welcome you to the 2026 International Assembly and to congratulate all of you on becoming district governors-elect.

世界中からロータリーのシニアリーダー、スタッフ、そして卓越した会員が集結し、皆さまが来年度に向けて準備を整えるお手伝いをいたします。また、この場を、ぜひ同期の仲間と交流を深める機会としてください。ロータリーの国際性を体験しなければ、会員としてのメリットを十分に享受しているとは言えません。今週、皆さまはロータリーの世界を体感することになります。

We have assembled Rotary senior leaders, staff, and exceptional members from around the world to help prepare you for the year ahead. And while we are all here together, I hope you take the opportunity to meet your fellow classmates. We do not enjoy the full benefits of our Rotary membership if we don't experience its internationality. This week, the Rotary world is all around you.

この機会を逃さないでください。たくさんの人と知り合い、友情を育みましょう。温かい言葉が、思いもよらないところへと皆さまを導くでしょう。

Don't let it pass you by. Get to know people. Make friends. You never know where a few kind words will get you.

私が出会ったロータリー会員は、出身がどこであれ、親切で明るく、すぐに親友になれる人ばかりです。Most Rotary members I meet — wherever they are from — are kind and happy people who make for fast and loyal friends.

私たちのもう一つの共通点は、ロータリーが私たちを変えたということです。私たちという人間を形づくり、より良い人間にしてくれたのです。変化はここから始まるのです——奉仕を受ける方々だけでなく、私たち自身の中からも。

Another quality we share is that Rotary has changed us. It has shaped who we are and made us better people. That is where change truly begins, not only for the people we serve, but also for ourselves.

私たちのビジョン声明を考えてみてください：「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

Think about our vision statement: "Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change — across the globe, in our communities, and in ourselves."

私たちは「世界を変える」ことをよく話題にします。ポリオ根絶や平和構築について語ります。地域社会を変えることについて話します。そこには無数の素晴らしい実例があります。

We often talk about changing the world. We talk about ending polio, about building peace. We talk about changing our communities. There are plenty of incredible examples.

しかし、私はこう問います。「自分自身の中に持続可能な変化をどう生み出しているのだろうか」

But then I ask: How are we making lasting change in ourselves?

ロータリー会員にこの質問をすると、たいてい場が静まり返ります。その沈黙が物語るのは、ロータリーが自分自身をどう変えたかについて、私たちはあまり考えないということです。

Usually when I ask this question to Rotary members, the room grows quiet. That silence tells me something; that we do not think enough about how Rotary transforms us.

ロータリーが：

- どのように私たちのキャリアを変えているか
- どのように私たちのビジネスを変えているか
- どのように私たちの家族を変えているか

How Rotary:

- Transforms our careers
- Transforms our businesses
- Transforms our families

それは最も暗い時代における光にもなります。米国ノースカロライナ州のキャリーキルディア・ロータリークラブ会員、ティア・コッパスさんにとってもそうでした。

It can even be a light in the darkest of times, as it was for Tia Coppus, a member of the Rotary Club of Cary-Kildaire in North Carolina, USA.

2021 年、ティアさんの夫は、19 カ月に及ぶ闘病の末、癌で亡くなりました。夫の介護と COVID-19 のパンデミックによる隔離生活により、ティアさんは 19 カ月間、ほとんど誰とも会っていませんでした。

In 2021, Tia lost her husband to cancer after 19 months of fighting for his life. She had barely seen anyone in 19 months, between caring for her husband and isolating due to the COVID-19 pandemic.

そんな時、ティアさんが所属するロータリークラブの親友が電話をかけてきてこう言いました。「来週木曜日の夕食会に来てください。あなたに会いたいんです」

That's when a dear friend from Tia's Rotary club called her and said, "You need to come next Thursday for dinner. We want to see you."

緊張と不安の中、ティアさんはロータリーの夕食会に足を踏み入れました。しかし、席に着く間もなく、初めて会う新会員が彼女を抱きしめ、こう言ってくれました。「来てくれて本当によかった！」

As she walked into that Rotary dinner, Tia was feeling nervous and vulnerable. But before she could even sit down, a new member she had never met wrapped her arms around her and said, "Welcome! We're so glad you're here."

その瞬間、ティアさんは、自分が一人ではないこと、自分にはコミュニティがあることに気づきました。ロータリーこそ、彼女のコミュニティだったのです。

It was in that moment that Tia realized that she was not alone, that she had a community. Rotary was her community.

その夕食会の後、ティアさんはこの体験が自身に与えたインパクトについて、こうつぶっています。「ロータリーは、あなたが最も必要とする時に、静かに、愛情をもってそばにいてくれるのです。普段は自分が“与える”側にいたとしても、“受ける”側になってもいいんだと教えてくれるのです」

After that dinner, Tia wrote how it impacted her. She said, and I quote: "Rotary has a way of showing up quietly, lovingly, when you need it most. It reminds you that even when you're the one who's used to giving, it's okay to receive."

そしてこう続けます。「ですから、つながりと奉仕、居場所を求めているなら、ロータリーがその答えとなるでしょう」。この言葉に共感できる方も多いと思います。

And then she said, "So, if you are searching for connection, service, and a place to belong, Rotary might just be the answer." And I think a few in this room can relate to this.

友人の皆さま、ロータリーは世界を変えるために活動していますが、ロータリーが自分自身をいかに変えたかを伝えることを恐れないうください。経験から言えることですが、ロータリーは私を深く変えま

した。

My friends, as Rotary works to change the world, do not be afraid to share how Rotary has changed you. I can tell you from my own life — Rotary has changed me profoundly.

私は十代でローターアクターとして活動を始めました。恵まれた環境で育ち、良い教育を受けましたが、そのような機会を得られない人は大勢いました。

I started as a Rotaractor when I was still a teenager. I had a privileged upbringing, a good education in a place where many did not have that opportunity.

気づきをもたらしたのは、クラブの識字プロジェクトでした。地域社会の人びとに読み書きを教える支援をしました。母国の同世代の人たちが読み書きのスキルを持たずに成長すべきではないと考えました。One of my club's literacy projects opened my eyes. We were helping people in my community learn to read and write. I thought to myself that nobody my age in my country should grow up without those skills.

このプロジェクトが私を変えました。その変化は、教育へのアクセスを拡大するという責任を伴うものでした。この取り組みは、今日において特に重要です。ユニセフの推計によると、教育資金の削減により、今年末までに世界で約 600 万人の子どもが退学を余儀なくされる可能性があります。この教育危機に対処するには、「寄付」から「奉仕」へと意識を変える必要があります。

That project changed me, and with that change came the responsibility to expand access to education. This cause is especially important today. UNICEF estimates that about 6 million children worldwide could be forced out of school by the end of this year because of cuts to education funding. To address this education crisis, we need to change our mindset from one of donation to one of service.

南アフリカのナイズナに素晴らしい事例があります。そこでは、ロータリークラブが教育分野で持続可能なインパクトを生み出しています。

We have a great example to follow in Knysna, South Africa, where Rotary clubs are creating a lasting impact in education.

ナイズナ・ロータリークラブは 2019 年、地域のパートナーと協力し、2025 年までに地域のすべての子どもが質の高い幼児教育を受けられるようにする方法を模索しました。地域社会からの協力も得て、問題の理解に努め、行動を起こしました。

The Rotary Club of Knysna came together with local partners in 2019 to find out what it would take to ensure that all children in their community had access to quality early childhood education by 2025. The club involved people in the community, worked to understand the problem, and got to work.

その結果生まれたプロジェクトは、恵まれない地域の女性たちの力を解き放ち、幼児教育センターの開設と運営を実現させました。今日、このプロジェクトは何千もの子どもと家族を支援しています。今後何世代にもわたり、教育を提供し続けるでしょう」

The resulting project unlocked the power of women in underserved communities to open and manage early childhood education centers. Today, the project has reached thousands of children and families, and it will continue to provide education in those communities for generations.

このインパクトを世界のほかの地域でも再現できれば、地域社会から信頼と評価を得ることができます。We can re-create this kind of impact in other parts of the world, and in doing so, we can earn the trust and recognition of our neighbors in the communities we serve.

そして、より多くの地域社会がロータリーを信頼すれば、入会したいという人が増えます。しかし、まずはそのような人びとを受け入れなければなりません。

And when more communities trust Rotary, more people want to join. But we must let them in first.

当たり前のように聞こえるかもしれませんが、これは私たちが長年苦勞している課題です。若きローターアクターとしてロータリーに入会しようとした時、私は抵抗に遭いました。

That might sound obvious, but it is something we have struggled with for some time. You see, when I tried to join Rotary as a young Rotaractor, I faced resistance.

ある日、私はクラブの昼食例会に行きました。以前にも招待を受けて参加したことがありました。
One day I just showed up at a club lunch meeting. As a matter of fact, I had been there before, but only at their invitation.

若いローターアクターだった私を見て、そのクラブの会長は「ここで何をしているんだ？」と言いました。

The president looked at me, a young Rotaractor, and said, “What are you doing here?”

ロータリーに入会するためだと、私は答えました。会場にいた全員が振り向き、私を見ました。
I told them I was there to join Rotary. Everyone in the room turned their heads to look at me.

彼はこう言いました。「何という厚かましさだ！ただ入会できるわけがないだろう。招待が必要だ」と。
He said, “What audacity! You cannot just join. You need an invitation.”

そこであきらめることもできましたが、私はこう言い返しました。「子どもが親の家に入るのに招待が必要だとは知りませんでした」

I could have walked away. Instead, I said, “I didn’t know a child needed an invitation to enter his parents’ home.”

会場が沈黙に包まれる中、ソジ・フォウォデさんというロータリアンがこう声を上げました。「インカ、私が君を推薦するよ」

As silence spread across the room, one Rotarian, Soji Fowode, spoke up. “Yinka, I will sponsor you.”

こうして私はロータリアンになったのです。

And that’s how I became a Rotarian.

しかし、もしソジさんが声を上げてくれなかったら？私が会員になることはなく、今日こうして皆さまの前に立つこともなかったでしょう。

But what if Soji had remained silent? I might never have become a member, and I might not be standing before you today.

当時よりは良くなりましたが、一部のクラブは、世界をオープンに受け入れるどころか、今も閉ざされたままです。

Rotary has changed since then. But some clubs still hide behind closed doors instead of embracing the world with open arms.

若い人の意見が尊重されなかったり、考えや背景が異なる人が歓迎されなかったりすることがあります。このような状況では、入会する見込みのある人びとを入会前に失ってしまうことになるのです。

Young people’s views are not always respected. People from different backgrounds or with different ideas are not always made to feel welcome. And when that happens, we lose potential members before they even get started.

ロータリーにはもっと多くの会員が必要です。理事会は、2030年までにロータリアンを125万人、ローターアクターを12万5千人にするという会員増強目標を掲げています。この目標の達成は、私たち全員から始まります。

And we need more members. The Board of Directors has set a goal of increasing membership to 1.25 million Rotarians and 125,000 Rotaractors by our 125th anniversary in 2030. Reaching that goal begins with all of us.

ですから、この国際協議会の開幕にあたり、皆さまには、人びとをどのように迎え入れるかを考えていただきたいと思います。例会や奉仕プロジェクトでの皆さまの態度ひとつで、誰かのロータリーのストーリーが始まるかもしれないし、終わるかもしれないのです。

So, as we begin this International Assembly, I encourage you to think about how we welcome others. You never know whose Rotary story might begin — or end — based on the way you make them feel at a meeting or service project.

これが、私たちが目標を達成する方法です。皆さまが地区の目標達成を導けば、ロータリー全体の目標を共に達成できます。しかし、地区の目標が何であれ、特に会員増強については、ご自分のベストを超えていただきたいと思います。

That's how we'll reach our goals. When you lead your district to reach its goals, together we will all reach ours. But whatever your goal, particularly with membership, I encourage you to do better than your best.

従来、最も多くの資金を集め、最も多くの会員を集め、最も大規模なプロジェクトを実施するクラブが称賛されてきました。

Traditionally, we celebrate clubs that raise the most funds, attract the most members, or run the biggest projects.

これは重要なことです。ただし、最も健全な競争は、クラブ間ではなく、過去と現在との間であるべきです。

This is important. The healthiest competition should not be between clubs, but between our past and present.

過去 5 年～7 年を振り返っていただくよう、それぞれの地区とクラブをお願いします。会員増加で最高を記録した年度はいつでしたか？ファンドレイジングで最高を記録した年度はいつでしたか？最も大きなインパクトをもたらしたプロジェクトは何でしたか。

I want to challenge each district and club to look back at the last five to seven years. What was your best year for membership growth? What was your best year for fundraising? What was your highest-impact project?

それらの年度がわかったら、その最高記録を超えていただきたいと思います。

Once you find your best year, I challenge you to do better than your best.

皆さまは、人生のうち 1 年間を地区ガバナーとして過ごします。皆さまがリーダーを務めるこの 1 年を振り返った時、人びとにどのような年度であったと言ってもらいたいですか？人びとがいかに多くのことを覚えているかに驚くでしょう。

You will spend a year of your life as district governor. What do you want people to say when they look back at your year as a leader? You'll be surprised how much they will remember.

最高だった年度の入会者が 10 名だったなら、少なくとも 11 名を目指すべきです。数年前に 5 万ドルを募金したなら、次年度は 5 万 5 千ドルを目指してみてください。ほかよりも優れていることを証明するためではなく、自分たちが最高の形になるためです。

If a club inducted 10 new members in its best year, it should aim for at least 11. If members raised \$50,000 a few years earlier, see if they can raise \$55,000 this year. Not to prove they're better than anyone else, but to become the best version of themselves.

こんな格言あります：

「グッド」から「ベター」、そして「ベスト」へ。

歩みを止めてはならない。

「グッド」が「ベター」になり、「ベター」が「ベスト」になるまでは。

There's a saying:

Good, better, best.

Never let it rest.

Till the good gets better and the better gets best.

この考え方は、クラブや地区に当てはまるのと同様、私たち自身にも当てはまります。「変化」と「インパクト」を常に意識するマインドセットが必要です。

That same thought applies just as much to ourselves as it applies to our clubs and districts. We need to create a change-and-impact mindset.

「変化」と「インパクト」は同じではないということを覚えておくことが大切です。変化は始まりに過ぎません。インパクトこそが永続するのです。

It's important to remember change and impact are not the same. Change is only the beginning. Impact is what endures.

ロータリーの大規模プログラム補助金による「健康な家族のための協力」が数年間実施されているナイジェリアでの事例を紹介します。

Let me share an example from Nigeria, where Rotary's program of scale, Together for Healthy Families, has been at work for years.

プログラム開始から間もない頃、私は試験的都市にある保健センターを訪問しました。自分の目で見たかったのです。

In the early days of the program, I visited a health center in one of the pilot cities. I wanted to see for myself what was happening.

主任医師は、私がロータリー会員であるということだけ知っていました。彼は私を温かく迎え、約18カ月前からロータリーと協力していること、協力の開始後間もなく乳児死亡率と妊産婦死亡率が急激に低下したことを話してくれました。

The chief medical officer didn't know who I was — only that I was a member of Rotary. He welcomed me warmly. He told me that they had started working with Rotary about 18 months earlier. Soon, infant and maternal deaths plummeted.

ロータリーが介入する前は、多くの女性が妊婦健診を避けていました。しかし、健診は母子ともに安全な出産に欠かせません。ロータリーの支援により、妊婦が健診に通うシステムが整い、地域社会からの協力も得られました。受診率がアップし、死亡率が下がりました。

Before Rotary's intervention, many women avoided prenatal care, which is essential to ensuring a safe birth for both mother and child. After working with Rotary, systems were put in place to help expectant mothers receive prenatal care. The community was involved. Attendance went up. Mortality went down.

医師と話した後、私は、このプロジェクトが今後数十年にわたりナイジェリア全土で命を救い続けるであろうことを、はっきりと見ることができました。これこそが、私が「持続可能なインパクト」と呼ぶものです。

And after I spoke with that doctor, I could see clearly how that project would transform lives across Nigeria for decades. That is what I mean when I say "lasting impact."

ロータリー会員である私たちは、より良い未来というビジョンを共有しています。それは、ポリオのない世界、平和な世界、誰もが質の高い教育を受けられる世界です。

As members of Rotary, we share a vision of a better future: a world free of polio, a world at peace, a world where everyone has access to a quality education.

そのビジョンを現実にするには、自身の内なる変化を意識し、解き放たなければなりません。「成果」だけでなく、「インパクト」を重視すべきです。

To make this vision a reality, we must acknowledge and unleash the change within ourselves. We must focus not only on outcomes but on impact.

ティアさんがロータリークラブの夕食に招待されたことの「成果」は、彼女は孤独を感じなくなったことです。しかし、その「インパクト」は、彼女とクラブの仲間が生涯にわたって希望とコミュニティ意識を持ち続けることです。

An outcome of Tia's Rotary club inviting her to dinner was that she no longer felt alone. But the impact is the hope and sense of community that she and her fellow club members will carry with them for the rest of their lives.

ナイジェリアでの「健康な家族のための協力」の「成果」は、乳児と妊産婦死亡率の低下です。しかし、その「インパクト」は、今日だけでなく、世代を超えてずっと、子どもたちが母親の愛情と導きのもとで育つということです。

In Nigeria, an outcome of Together for Healthy Families is lower infant and maternal mortality rates. But the impact is the children who will grow up with the love and guidance of their mothers, not only today, but for generations.

私たちは、2030年の会員増強目標を必ずや達成します。その達成による「成果」は、世界のロータリー会員が増えることであり、ロータリーがある場所では良いことが起こることを私たちは知っています。その「インパクト」は、今後も長年にわたり、より強く効果的なロータリーが築かれることです。

We will reach our 2030 membership goals. And when we do, an outcome will be more Rotary members around the world. And we know that, wherever Rotary goes, good things follow. And that impact will be a stronger, more effective Rotary and a better world for years to come.

友人の皆さま、その未来は私たちから始まります。しかし、それは私たちのロータリーでの活動が終わった後もずっと続かなければなりません。この理由により、2026-27年度の会長メッセージは「持続可能なインパクトを生み出そう」です。

My friends, that future begins with us. But it must endure long after our work with Rotary ends. And that is why the presidential message for 2026-27 is Create Lasting Impact.

持続可能なインパクトを生み出す方法は数多くあります。世界的には、ポリオ根絶という約束を果たすこと、そしてロータリー平和センターの恩恵を最大限に活かすことを意味します。

There are many ways to Create Lasting Impact. Across the globe, it means we must deliver on our promise to eradicate polio and leverage the full benefit of our Rotary Peace Centers.

クラブと地区では、より多くの人を迎え入れ、2030年会員増強目標の達成に向けて役目を果たすことを意味します。

In your clubs and districts, it means welcoming more people and doing our part to meet our 2030 membership goal.

そして皆さまは、人びとが好奇心を持ち、問いかけをし、ロータリーファミリーに与えられた無限の可能性を受け入れて自分自身の中に持続可能なインパクトを生み出せるよう、インスピレーションを与えることができます。

And you can inspire the Rotary world to Create Lasting Impact in ourselves — by being curious, asking questions, and embracing the infinite opportunities available to our Rotary family.

結果を出し、自分の中に持続可能なインパクトを生み出すことへの意欲をクラブと会員にどう喚起できるかを考えてください。

Ask yourselves how you will inspire your clubs or your members to deliver results and create lasting impact in themselves.

進歩は自ずと起きるものではありません。それ自身の内なる変化から始まります。

Progress is not automatic. It begins with change within us.

親愛なる地区ガバナーエレクトの皆さま、成功とは向こうからやって来るものではありません。自分でつかみに行かなければならないのです。

My dear DGEs, success will not find you. You must seek it out.

自分を変えられれば、クラブと地区を変えられます。地区を変えられれば、地域社会を変えられます。そして、地域社会を変えられれば、世界で、地域社会で、自分自身の中で、持続可能なインパクトを生み出すことができます。

When we change ourselves, we change our clubs and districts. When we change our districts, we change the communities we serve. And when we change our communities, we create lasting impact across the globe, in our communities, and in ourselves.

朋友の皆さま、ありがとうございます。国際協議会へようこそ。

Thank you, my dear friends, and welcome to your International Assembly.



ロータリーのビジョン声明

私たちは世界で、地域社会で
そして自分自身の中で
持続可能な良い変化を生むために
人びとが手を取り合って
行動する世界を目指しています

ポリオ根絶まであと一步のところまできたロータリーは、次なる課題に取り組む心構えができています。より多くの仲間を迎え入れ、より大きなインパクトをもたらし、世界に変化を生み出すための新たなビジョンの実現に向けて、行動を起こす時が来ています。

国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを達成するため、今後5年間の活動を方向づける4つの優先事項が定められました。

ロータリーの戦略的優先事項と目的

より大きな インパクトをもたらす

- ポリオを根絶し、残された資産を活用する
- ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
- 活動成果を挙げ、それを測る能力を高める

参加者の 基盤を広げる

- 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- ロータリーへの新しい経路を創り出す
- ロータリーの開放性とアピール力を高める
- インパクトとブランドに対する認知を築く

参加者の積極的な かかわりを促す

- クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
- 価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する
- 個人的／職業的なつながりを築くための新たな機会を提供する
- リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する

適応力を高める

- 研究と革新、および進んでリスクを負うことへの意思を奨励する文化を築く
- ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- 意思決定における多様な考え方を育むために、ガバナンスを見直す

ロータリーの中核的価値観

今日の世界は、1905年の世界と同じではありません。人口動態が変わり、変化のスピードが加速し、テクノロジーによってつながりや奉仕の新たな機会が生み出されています。不変なのは、ロータリーを定義づける下記の価値観に対するニーズです。

**親睦
高潔性
多様性
奉仕
リーダーシップ**

過去を敬い、未来を見据えながら、私たちは進化を遂げ、ロータリーを時代に即した組織とするだけでなく、繁栄させることができます。



rotary.org/actionplan

ロータリー行動計画



私たちは世界で、地域社会で
そして自分自身の中で
持続可能な良い**変化を生むために**
人びとが手を取り合って
行動する世界を目指しています

より意義あるつながりを育み、奉仕を通じてより持続可能な変化をもたらすためにロータリーを導くのが、私たちの戦略計画である「ロータリー行動計画」です。この行動計画の四つの優先事項を指針とすることで、より健全なクラブをつくり、すべての人が積極的に参加できる体験を提供し、行動を通じて持続的な変化を生むために人びとを結びつけるという国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを実行することとなります。

より大きな
インパクト
をもたらす

参加者の
基盤を
広げる

参加者の積極的な
かかわりを
促す

適応力を
高める

- ポリオを根絶し、残された遺産を活用する
- ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
- 活動成果を挙げ、それを測る能力を高める
- 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- 参加者がロータリーを体験する新しい方法を創り出す
- クラブの柔軟性とアピール力を高める
- インパクトとブランドに対する理解を築く
- クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
- 個々の参加者をよりよく理解し、サポートする
- 個人的／職業的なつながりを築く新たな機会を提供する
- リーダーシップ育成とスキル開発のための学びの機会を提供する
- 研究と革新、およびリスクをいとわない文化を築く
- ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- 意思決定におけるより多様な考え方を育む

国際ロータリー第2840地区

2026-2027年度 ガバナー プロフィール

竹中 隆

(高崎北ロータリークラブ)



生年月日 1961 年 12 月 24 日
住 所 群馬県高崎市
職 業 株式会社 竹中組 代表取締役社長
学 歴 早稲田大学 政治経済学部 卒業
公 職 2014 年～ 群馬経済同友会 幹事
2019 年～ 一般社団法人 高崎法人会 監事
2021 年～ 一般社団法人 群馬県経営者協会 常任評議員
2023 年～ 一般社団法人 群馬ニュービジネス協議会 副会長

ロータリー歴

【クラブ】 1996 年 7 月 高崎北ロータリークラブ 入会
2012-2013 年度 高崎北ロータリークラブ 幹事
2017-2018 年度 高崎北ロータリークラブ 会長
【地 区】 2004-2005 年度 社会奉仕・環境保全委員会 委員
2010-2011 年度 IT 委員会 委員
2011-2012 年度 地区副幹事 (安藤ガバナー年度)
2019-2020 年度 国際大会推進委員会 副委員長
2020-2021 年度 国際大会推進委員会 委員長
2021-2022 年度 公共イメージ委員会 委員長
2022-2023 年度 国際大会推進委員会 委員長
2023-2024 年度 ガバナーノミニー
地区戦略計画委員会委員、地区三役員連絡会議議員
2024-2025 年度 ガバナーエレクト
地区運営連絡会議副議長
地区戦略計画委員会副委員長、会員組織強化委員会副委員長
2025-2026 年度 ガバナー

ロータリー財団 メジャードナー (レベル 2)

ガバナーから国際ロータリー第2840地区会員の皆様へ 2026

国際ロータリー第 2840 地区

2026-2027 年度 ガバナー 竹中 隆

はからずも 2 年続けてガバナーを務めさせていただくこととなりました。

前年度、ガバナーとして、クラブ、会員の皆様へ、それぞれの経験や実践の積み上げの必要性を訴えさせていただきました。二年目のガバナー年度を迎えるにあたり、前年度から何を積み上げ、何を加えるかが、最大の悩みとなりました。

前年度、マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ 2024-25 年度会長エレクト、フランチェスコ・アレツツォ 2025-2026 年度会長から“Unite for Good 「よいことのために手を取りあおう」”、そして今年度、オンラインカ・ハキーム・ババロラ 2026-2027 年度会長から“Create Lasting Impact 「持続可能なインパクトを生み出そう」”、RI 会長メッセージとして、ロータリー、ロータリアンが向かう道を示されました。

“Unite”と“Lasting”は、ロータリーのビジョン声明の中に見られるワードです。

“Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change — across the globe, in our communities, and in ourselves.「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」”

このビジョン声明に、ロータリーの理念、行動の全てが表されていると感じています。

ロータリーは、それぞれの地域で、地域の課題の解決を目指さなければなりません。ロータリーで示される成功例は、遠い地域の深く重い課題の根源に目を向けたものが多いと思います。私たちの地域の課題は何でしょう。その課題に気づき、その現象の解決に向け行動するだけでなく、根本的な原因にも目を向けることが必要です。

ロータリーの使命の中に、“平和を推進する”とあります。

平和とはどのような状態をいうのでしょうか。

平和について考えるとき、平和学における興味深い定義があります。

平和学の創始者であるヨハン・ガルトゥングは、平和を「暴力の不在」と定義しました。そして、消極的平和と積極的平和という考え方も示しました。消極的平和とは直接的な暴力（戦争など）がない状態を指し、積極的平和とは直接的暴力に加えて、貧困、差別、搾取といった構造的暴力や、それらを正当化する文化的暴力もない状態であるとしています。

ロータリーでは、平和を、それぞれの尊厳が保たれた状態と考えるようです。

フランチェスコ・アレツツォ会長は「信頼+理解+正義が存在する状態」「それぞれの文化的アイデンティティが保たれた状態」であるとされ、個人の尊厳の大切さ、そして、そうでない場合には「奪われた尊厳を取り戻す」ための行動が重要であると説かれました。

私達は、その実現、その目的に近づくために行動しています。

私達、ロータリアンが、クラブで、個人で行なっている行動、私たちの振る舞いが、ロータリーの求める平和につながっていることを信じて、行動していきましょう。

ババロラ会長エレクトは、私たちの行動から生まれるインパクトを意識するよう呼びかけられています。インパクトとは、“ロータリーの活動によってもたらされる長期的で好ましい変化”であるとされています。変革理論に基づく“インパクトを実現させるための「積み木」”によると

投入リソース → 結果 → 成果 → インパクト

とプロジェクトの各段階を位置付けています。

ロータリーの求めるインパクトと少し違うかもしれませんが、私は、インパクトとは、プロジェクトの実施、完了を経て、直接携わらなかった人々の心の中やその地域に全体における変化、気づきや思いが広がることなのではないかと解釈しています。

もう一つ、ババロラ会長は、より歓迎的な姿勢をと述べられました

“DEI”から“参加促進”へキーワードは変わりましたが、多様な価値観を認め、否定せず、お互いを認め合う姿勢が必要です。まさに、インクルーシブ！です。積極的に賛同する必要はないかもしれませんが、否定はしない、そういう価値観もあるのだと思うことが大切なのでしょう。

ロータリーの基本はクラブにあると言われます。クラブを形成しているのは会員です。

ロータリーに入会したからといって、ロータリアンなのでしょうか。ロータリーの目的、ロータリーのビジョンを理解し、実践、行動することによって、ロータリアンとなっていくのではないのでしょうか。そして、会員がロータリアンとしてのプライドを持つことが最も大切だと考えています。

2026-2027 年度も、地区内会員の皆様には、語る、語り合うことを意識してロータリー活動をしていただきたいと考え、地区スローガンを「**ロータリーを語ろう 2.0+**」とさせていただきます。

語り合っていただくキーワードは、“**帰属意識**” “**インパクト**” “**ビジョン**” “**ミッション**” “**平和**”とさせていただきます。

帰属意識から参加促進へ。インパクトとは。クラブのビジョン。会員それぞれのミッション。より深く、より熱く、ロータリーを語ってください。そして、我々の地域における活動がロータリーの最終目標である平和へと繋がるイメージを膨らませてみましょう。

“+”を加えたのは、語るから参加。参加を促すだけでなく、参加者の意識を変えられるよう働きかける。地域を巻き込む、地域への広がり意識する。これらへの展開を願うためです。

ガバナーのミッションは、クラブ、会員を鼓舞することであると考えます。地区内の会員が、クラブを愛し、クラブの仲間との出会いを喜び、活動を楽しむ。それに改めて気づき、それを求めて活動してもらえるように、会員に語りかけ続け、環境を整えられるようサポートいたします。

「会員を増やしてください」「寄付をしてください」とお願いするより、もっと本質的な、大切なことだと思います。そう思って、気づいてもらうことによって、活気あるクラブ、会員の充実したロータリーライフに繋がると信じています。

ババロラ会長は、「自分を変えられれば、クラブと地区を変えられます。地区を変えられれば、地域社会を変えられます。そして、地域社会を変えられれば、世界で、地域社会で、自分自身の中で、持続可能なインパクトを生み出すことができるのです」と訴えています。

私たちも、次世代のために、共に、皆で手を取りあい、より良い世界、より良い地域社会を築くことを、目指しましょう。

国際ロータリー第2840地区 第5期 地区戦略計画(2026-2029年)(案)

1. はじめに：第1期から第4期までの変遷と第5期の意義

国際ロータリー第2840地区は、第1期から第4期にわたる戦略計画の遂行を通じ、クラブと地区が一体となって地域社会に永続的な変化をもたらす奉仕の歴史を積み重ねてきました。私たちは100年以上にわたり、職業人としての高い倫理基準と奉仕の理念を中核として継承・発展させてきた誇り高い組織です。

第5期地区戦略計画（2026 - 2029 年）は、これまでの DLP と CLP による元気なクラブづくりという強固な基盤の上に、変化の速度が増す現代社会への「適応力」を高め、組織の持続可能性を確固たるものにすることを目的としています。

人口構成の変化やテクノロジーの進化を柔軟に受け入れ、奉仕の理念とその実践を次世代へと繋ぐことは、健全なクラブと地区を維持するために不可欠なプロセスです。私たちはこれまでの地区運営の歴史を踏まえながら未来を積極的に受け入れ、地域社会に永続的な変化をもたらすための持続可能なアプローチを追求します。

2. ビジョン：革新とパートナーシップで未来を拓く

地域と共に「変化」を生み出す持続可能なクラブの実現

第2840地区は、これまでの伝統を尊びつつも、硬直化した形式にとらわれない「革新(Innovation)」を恐れません。地域社会の真のニーズを汲み取り、多様な団体やローターアクトとの強固な「パートナーシップ」を築くことで、一過性の奉仕に留まらない、永続的なインパクトを社会にもたらしめます。

「変化」をもたらす源泉は、私たち自身の中にあります。「人づくりは自分づくり」を原点とし、会員一人ひとりが成長し、多様な価値観を尊重し合うことでクラブはより魅力的な場所となります。若い世代の感性を取り入れ、組織に新しい風を吹き込むことで、10年後、20年後も地域に必要とされ続ける「持続可能なクラブ」として、私たちは共に未来を切り拓いていきます。

3. 優先事項に基づく具体的行動計画

ロータリーの行動計画の四つの優先事項に基づき、第2840地区内クラブの地域における存在価値を最大化する具体的行動を展開します。

3.1 より大きなインパクトをもたらす

奉仕プロジェクトの成果を測定・分析する能力を高めることで、プロジェクトの質を向上させ、永続的な変化を証拠に基づいて実証します。世界規模の優先事項であるポリオ根絶活動を完遂するため地区を挙げた寄付と啓発活動を継続し、その過程で得られたパートナーシップの知見を他の重点分野にも活用します。地域社会の真のニーズを反映した奉仕活動を実施し、そのインパクトをデータで示すことで、ロータリーの価値を社会に広く伝播させます。

3.2 参加者の基盤を広げる

多様な層を惹きつけるため、戦略期間内に会員純増 100 名及びクラブの新設を必達目標として掲げます。この目標達成のため、RI 細則に規定された「衛星クラブ (Satellite Club)」の設置や、主にオンラインで活動する「オンラインクラブ」の形態を積極的に導入し、多様なライフスタイルに対応した入会の機会を提供します。年齢、ジェンダー、背景の多様性を尊重した会員基盤を構築し、ロータリーブランドへの理解を高めることで、行動を起こす人びとのコミュニティを拡大します。

3.3 参加者の積極的なかわりを促す

全参加者が「期待を超える体験」を得られるよう、一人ひとりのニーズを深く理解し、パーソナルな成長とプロフェッショナルなつながりを築く機会を最大化します。具体的には、地区主催のリーダーシップ育成セミナーやラーニングの機会を拡充し、会員が組織にとどまり続けたいと思える価値ある体験を提供します。参加型活動を通じて、会員間の親睦を深め、奉仕への意欲を維持・向上させる環境を整備します。

3.4 適応力を高める

地区の運営・統括構造を合理化し、組織のスリム化を図り、より効率的で柔軟な意思決定プロセスを構築します。意思決定の場において多様な考え方を育むとともに、DX を最大限に活用して事務作業を迅速化・簡素化します。変化する社会環境に迅速に適応するため、組織の柔軟なガバナンスを実現します。

3.5 財団・米山への協力

第 2840 地区は、奉仕活動の源泉である以下の寄付目標を掲げ、全会員の協力により達成を目指します。

- ・ ロータリー財団への支援
 - 年次基金への寄付 : 1 人あたり 150 ドル以上
 - ポリオプラスへの寄付 : 1 人あたり 30 ドル以上
- ・ 米山記念奨学会への支援
 - 普通寄付および特別寄付 : 1 人あたり 16,000 円以上

国際ロータリー第2840地区 2026-2027年度 地区運営方針

ガバナー、地区としては、

1. クラブの視点、会員の視点の理解、共有し、クラブや会員にとって、価値ある存在となるよう双方向の情報交換を行い、地区運営に反映いたします。
2. ローターアクトクラブを含む、新クラブの設立に取り組みます。
3. ロータリーへの信頼が高まり、ロータリーの高い価値観が評価され続けるよう、ロータリーのリブランディングを目指した計画の策定をいたします。
4. 現在、財団系委員会で提供していますが、クラブ、地区の事業の立案、実施に資する情報ツールとして「地区リソースネットワーク」の充実を図ります。

クラブに対しては、

1. クラブビジョンの策定を促し、併せてビジョンに基づいた戦略計画となるよう促します。
2. クラブ戦略計画の実践を通じて
 - ・クラブを継続させるために必要な会員規模、予算規模の確認
 - ・クラブを発展させるために必要な基盤の拡大に向けての方針の策定
 - ・クラブで実施している奉仕活動が、クラブ、会員、地域にとって価値ものであるか、地域社会へインパクトをもたらすものであるかの検証
 - ・価値ある奉仕を実行するために必要な資金確保のための財団寄付等の目標設定
 - ・会員を増強するために、地域における良い評判形成の方策の検討
 - ・クラブ戦略計画のクラブビジョンに基づいたブラッシュアップ、更新
 - ・クラブの将来へ向けた目標、目的のクラブ全会員での共有
 - ・ロータリー以外の協力者とのパートナーシップの構築
 - ・クラブの成果、実績課題解決のプロセスの蓄積
 - ・会員の家族のクラブ事業への参加促進
 - ・クラブ優秀賞の受賞
 - ・ロータリー財団補助金の活用を働きかけます。これらは、クラブ全会員が認める手続きを経ることが重要です。
3. 1のクラブ全員が共有したこれらの目標を、3-Year Rolling Goals、クラブセントラル等をツールとして推進すること、クラブ行動計画推進者による進捗状況の確認を促します。

会員には、以下のことをお願いします。

1. 会員としての個人のミッションの確立
2. 自身のロータリー、クラブへの帰属意識の再確認、強化
3. 各会員の活動の記録、目標設定、進捗の確認ツールとしての My Rotary への登録
4. My Rotary のラーニングセンターによるロータリー知識、情報の取得
5. 家族のクラブ事業への参加

ガバナー補佐には、以下のことをお願いします。

1. クラブと地区の懸け橋となり、クラブの発展、継続を支えること

2. 分区の中期ビジョン、戦略計画検討の取りまとめ

3. クラブへの依頼事項を、分かりやすく、丁寧に伝えることと合わせて、それらをクラブと共に推進すること

4. 新クラブ設立に向けた、分区内の情報の収集

地区委員会へは、

1. 以下の事項を意識した事業計画の推進をお願いします。

- ・他の関連する委員会との連携の強化
- ・クラブ、クラブ委員会への地区プログラムの目的、活動の発信による価値の共有
- ・プロジェクトを実施する上で、それがクラブ、会員にどんなリターンをもたらすか
- ・委員会活動の成果をどうインパクトのあるものにしていくか
- ・ロータリー以外の協力者とのパートナーシップをいかに構築するか

2. 委員会を以下の視点を持って運営することも、あわせてお願いします。

- ・委員会内における過去の成果等をどう蓄積し、繋いでいくか
- ・委員会の運営をどのようにマネジメントするか

地区数値目標

基本的には、クラブが決定し、3-Year Rolling Goals、クラブセントラルに掲げた数値目標を確実に達成することをお願いします。ただし、クラブの目標が以下の数値を下回っている場合は、以下の数値に目標を置き換えてください。

- ・会員増強 各クラブ会員純増 2名
- ・寄付
ロータリー財団 年次寄付 150ドル以上/人
ポリオプラス 30ドル以上/人
米山記念奨学会（普通寄付・特別寄付合計で） 16,000円以上/人
- ・My Rotary の登録 90%

地区青少年プロジェクトへの特別寄付のお願い

青少年交換、インターアクト、RYLAに加え、ローターアクトの地区青少年関係のプロジェクトに、地区内会員から地区分担金として広く資金をいただいています。

コロナ禍を過ぎ各プロジェクトの活動が活発になり、資金が不足してきています。これらのプロジェクトは、地区内全クラブが関わっておらず、まだまだ、その価値は浸透していません。一律分担金の増額をお願いするには、ご理解をいただかなくてはなりません。

そこで、全会員の皆様に青少年プロジェクトへのご理解をいただく働きかけをさせていただくのと並行して、「地区青少年プロジェクトへの特別寄付」をお願いさせていただこうと考えました。

一口2,000円とし、地区内全会員へお声がけさせていただき、いただいた寄付金は、青少年奉仕プログラムの各委員会と調整のうえ活用させていただきます。

クラブ優秀賞並びにガバナー賞へのエントリーのお願い

クラブの活動を一層活発なものにしていただく目標の一つとして、クラブ優秀賞獲得へ向けた登録、ガバナー賞への挑戦をお願いします。

クラブ優秀賞

クラブ優秀賞（旧「ロータリー賞」）は、各年度のクラブの優れた取り組みを表彰するものです。クラブ優秀賞の目標に向けた取り組みは、クラブで会員の参加を促し、より大きなインパクトをもたらす、地域社会におけるクラブの存在意義を保ち、効率的に運営するための一助となります。人びとを温かく迎え、参加を促すクラブは、会員によりよい体験を提供できるだけでなく、ロータリーの価値観を反映していると言えます。クラブがクラブ優秀賞の目標に取り組むことで、ロータリーの力強さを保ち、次世代にとってふさわしい文化を育むことができます。

ロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブは、ロータリーとクラブを強化することを目的とした各種目標を達成することで、クラブ優秀賞を受賞することができます。目標には、会員増強、持続可能なプロジェクトにおける会員の積極的参加、ロータリー財団への寄付、地域社会でのロータリーの認識向上、戦略計画の更新などが含まれます。

・クラブ優秀賞（ロータリークラブ）

クラブ優秀賞の目標は、ロータリークラブ・セントラルから確認できます。クラブ優秀賞を達成するには、すべての目標を確認してその中から少なくとも半分を選択し、それらを達成した上で、ロータリークラブ・セントラルからその達成をご報告ください。

達成はすべて、2027年6月30日までにロータリークラブ・セントラルから報告する必要があります。

ロータリークラブ・セントラルを開いたら、「目標設定・確認センター」をクリックし、年度を選び、「すべて」をクリックしてください。

目標	目標の詳細
会員増強	ロータリー年度末までに達成したいクラブ会員総数
会員と参加促進	会員とその他の参加者のニーズがクラブ細則に反映されている
奉仕活動への参加	本ロータリー年度にクラブの奉仕活動に参加する会員の数
新会員の推薦	本ロータリー年度に新会員を推薦する現会員の数
ロータリー行動グループへの参加	本ロータリー年度に少なくとも1つのロータリー行動グループのメンバーとなっている会員の数
リーダーシップ育成への参加	本ロータリー年度にリーダーシップ養成プログラム／活動に参加する会員の数
地区大会への参加	地区大会に出席する会員の数

目標	目標の詳細
ロータリー親睦活動グループへの参加	本ロータリー年度にロータリー親睦活動グループのメンバーとなっている会員の数
地区研修への参加	地区で行われる研修／セミナー／協議会などに出席するクラブ委員会委員長の数
年次基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団年次基金への寄付総額
ポリオプラス基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団ポリオプラス基金への寄付総額
大口寄付	本ロータリー年度に寄せられる一括 10,000 ドル以上の寄付の件数
遺贈友の会会員	遺産計画を通じてロータリー財団に 10,000 ドル以上の寄付を誓約することを、初めて本ロータリー年度にロータリー財団に通知する個人・夫婦の数
ベネファクター	遺言またはそのほかの遺産計画に財団恒久基金を指定して寄付することをロータリー財団に通知または恒久基金に 1,000 ドル以上を寄付して、新たにベネファクターとなる個人・夫婦の数
奉仕プロジェクト	本ロータリー年度にクラブが実施する奉仕プロジェクトの数
ローターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブがスポンサーする新ローターアクトクラブと既存ローターアクトクラブの数
インターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブがスポンサーする新インターアクトクラブと既存インターアクトクラブの数
来訪する青少年交換学生	本ロータリー年度にバーチャルまたは対面形式でクラブが受け入れる青少年交換学生の数
派遣する青少年交換学生	本ロータリー年度にバーチャルまたは対面形式でクラブが派遣する青少年交換学生の数
RYLA 参加者	本ロータリー年度に直接対面式またはバーチャル形式でクラブが支援する RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）参加者の数
クラブ戦略計画	クラブにはクラブ独自の戦略計画（長期計画）があるか
インターネット上の存在感	インターネット上にあるクラブの情報は現在の活動を正確に反映しているか
親睦のための活動	本ロータリー年度、例会以外に親睦を目的としてクラブが実施した活動の回数
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度中、クラブのウェブサイトとソーシャルメディアアカウントを月に何回更新するか

目標	目標の詳細
クラブのプロジェクトのメディア掲載	本ロータリー年度にクラブのプロジェクトを取り上げるメディア記事の数
ロータリー作成の公式推進用資料の使用	本ロータリー年度に地域社会でロータリーを紹介するために、国際ロータリーから提供される広告と公共奉仕資料（ブランドリソースセンターから入手可能な放送用ビデオ、印刷広告、その他の公式資料）使用した回数

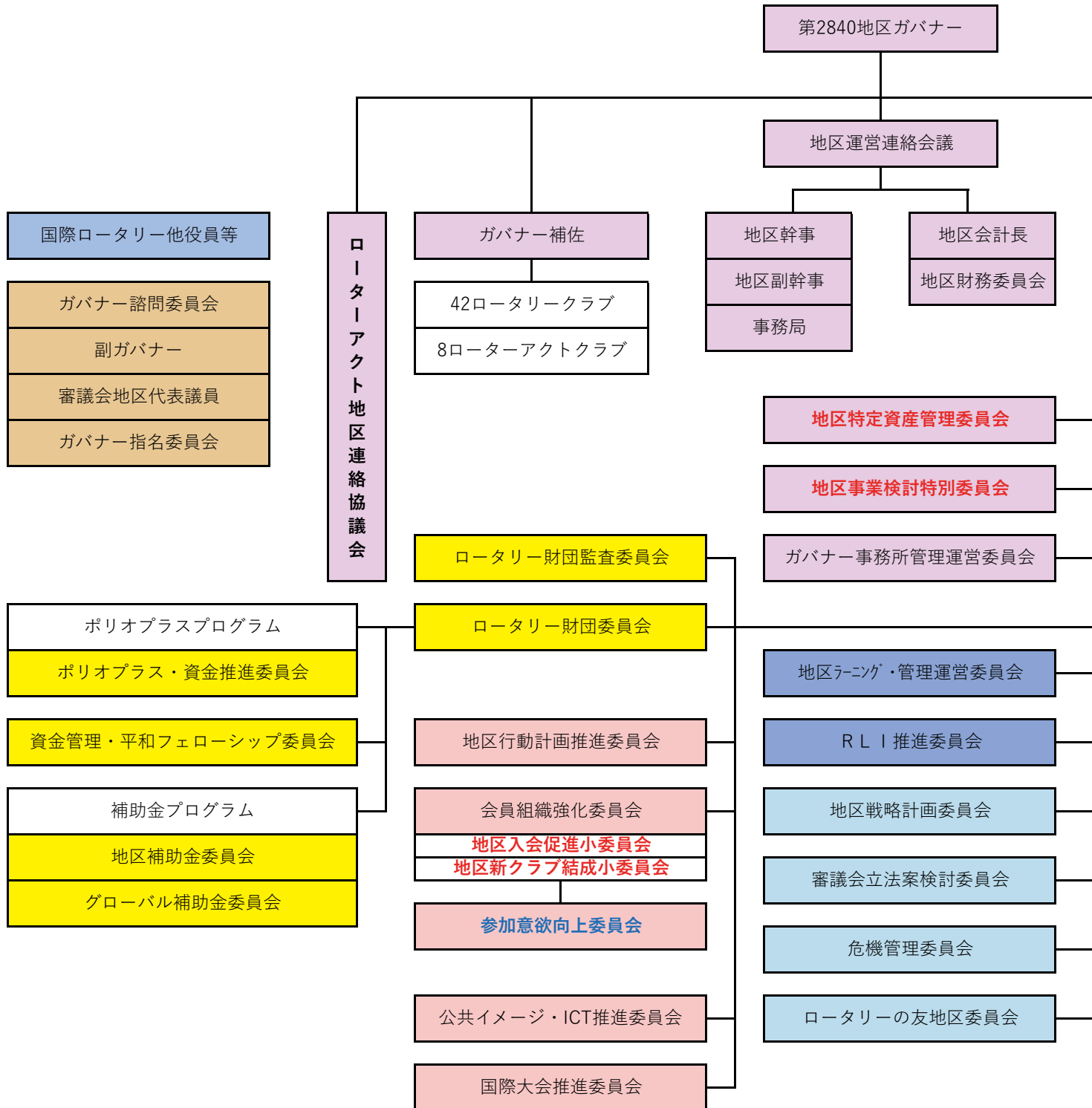
ガバナー賞

2026-2027 年度に実施されました各クラブの事業の中から、特に国際社会や地域社会への貢献、公共イメージの向上、クラブの会員基盤強化に寄与されました事業に対しましてガバナー賞の贈呈をさせていただきます。

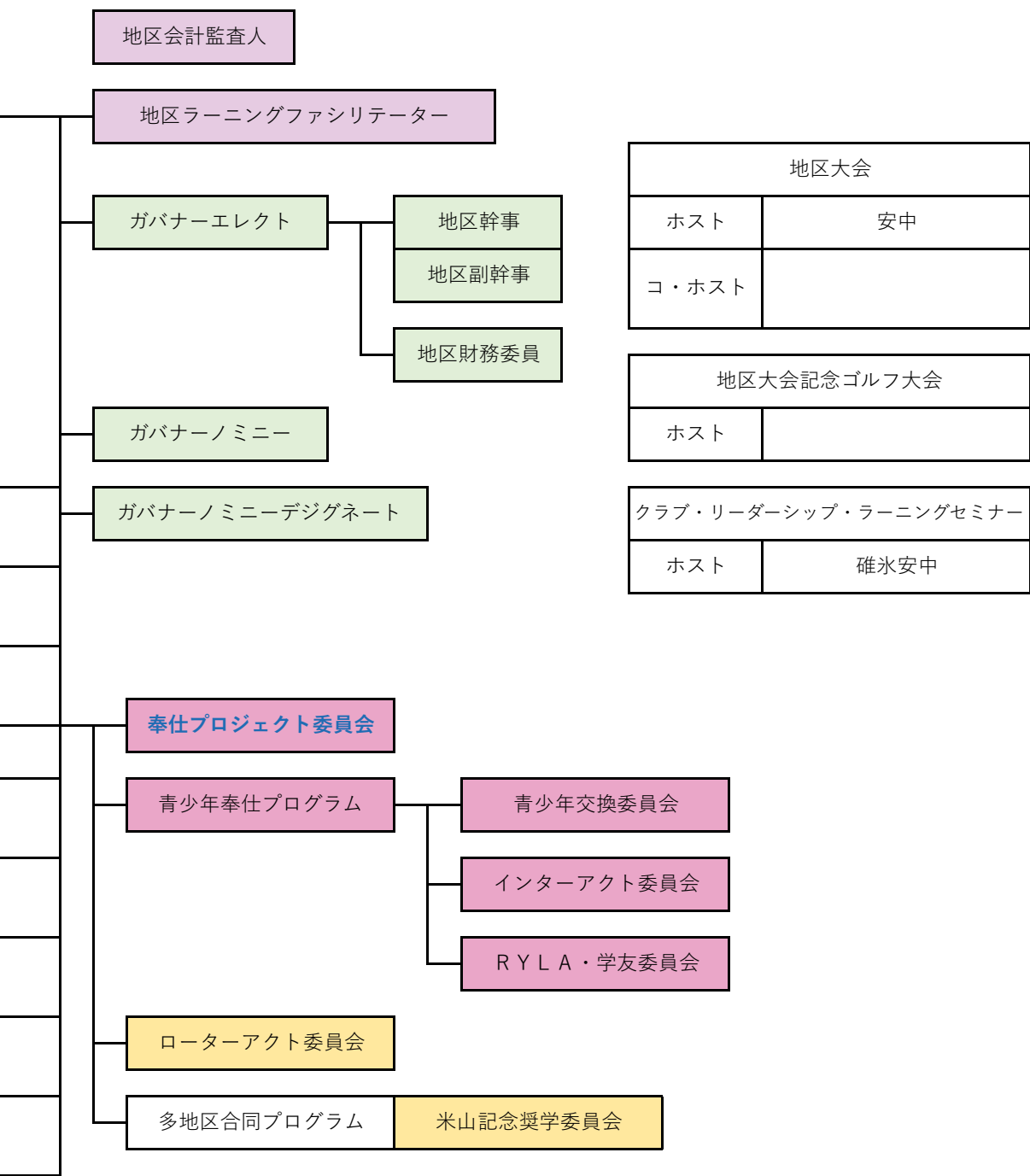
最終的な締め切りを 2027 年 6 月 10 日とさせていただきますが、2026 年 8 月 31 日までに、所定のエントリー用紙にて予めエントリーしていただき、その目標の達成に向かって、活発なクラブ活動をお願い申し上げます。

《ガバナー賞》	I 奉仕活動部門	最優秀賞・優秀賞
	II 公共イメージ向上部門	最優秀賞・優秀賞
	III 会員基盤向上部門	最優秀賞・優秀賞

2026-2027年度 国際ロータリー



第2840地区 地区組織図



2026-2027年度 国際ロータリー

国際ロータリー他役員等	
国際ロータリー第1地域ロータリー会員増強コーディネーター	田中 久夫 (高 崎)
RLI 日本支部委員長	本田 博己 (前 橋)
(一社) ロータリーの友事務所編集担当理事	本田 博己 (前 橋)
(公財) ロータリー米山記念奨学会常務理事	田中 久夫 (高 崎)
(公財) ロータリー米山記念奨学会評議員	森田 高史 (伊勢崎)

ガバナー諮問委員会
清 章司 (藤 岡)
森田 均 (渋 川)
山崎 學 (高崎南)
曾我 隆一 (前 橋)
横山 公一 (沼 田)
松倉 紘洋 (富 岡)
牛久保哲男 (伊勢崎)
福田 一良 (前橋西)
安藤震太郎 (高崎北)
本田 博己 (前 橋)
竹内 正幸 (太 田)
生方 彰 (沼田中央)
田中 久夫 (高 崎)
宮内 敦夫 (館 林)
森田 高史 (伊勢崎)
山田 邦子 (前 橋)
足立 進 (前橋東)
中野 正美 (太 田)
保坂 充勇 (沼 田)
森 末廣 (桐 生)
担) 高橋 豊 (安 中)
副ガバナー
森 末廣 (桐 生)
審議会地区代表議員
代) 足立 進 (前橋東)

ガバナー指名委員会
長) 中野 正美 (太 田)
副) 保坂 充勇 (沼 田)
山田 邦子 (前 橋)
足立 進 (前橋東)
森 末廣 (桐 生)
ガバナー補佐
第1 菊川 善明 (前 橋)
第2A 草刈 晋一 (桐生赤城)
第2B 大木 孝之 (伊勢崎東)
第3 井汲 憲治 (高崎ソフォニー)
第4A 荻原 丈始 (新 田)
第4B 小暮 雅丈 (館 林)
第5 齋藤 清海 (渋 川)
第6 小貫智太郎 (藤岡南)
RAC 青山 豊 (桐生西)
地区運営連絡会議
長) 竹中 隆 (高崎北)
副) 湯澤 晃 (前橋北)
森 末廣 (桐 生)
GN ()
櫻井 正晴 (安 中)
樋口 哲雄 (高崎北)
廣木 晴久 (前橋北)
小坂橋 桂 (安 中)
平田 稔 (高崎北)
荻野 純一 (前橋北)
担) 櫻井 正晴 (安 中)
ローターアクト地区連絡協議会
ア) 青山 豊 (桐生西)
長) 飯塚もも子 (高崎北 RAC)
副) 羽鳥 昇汰 (伊勢崎 RAC)
信澤祐太郎 (沼田 RAC)
横山 広樹 (前橋 RAC)
堀江 翔太 (沼田 RAC)
片桐 正人 (前橋 RAC)
加藤 智之 (前橋南 RAC)
栗崎 紀誠 (桐生 RAC)
ゲン・ヴァン・ナン (桐生西 RAC)
松崎 真佑 (伊勢崎 RAC)
ゲン・ゴック・フエン (高崎北 RAC)
竹部 将史 (太田 RAC)
中澤 翔 (沼田 RAC)
担) 飯島 岳史 (安 中)

地区ガバナー
竹中 隆 (高崎北)
地区ラーニングファシリテーター
田中 久夫 (高 崎)
地区幹事
代) 櫻井 正晴 (安 中)
次) 廣木 晴久 (前橋北)
前) 樋口 哲雄 (高崎北)
地区副幹事
相川 北斗 (安 中)
新井 祥文 (安 中)
飯島 岳史 (安 中)
大谷 栄義 (安 中)
小日向和博 (安 中)
川島 博 (安 中)
久保 直彦 (安 中)
坂上 順一 (安 中)
櫻井 誠 (安 中)
佐藤 宗孝 (安 中)
高橋 豊 (安 中)
田村 光三 (安 中)
前島 正樹 (安 中)
松岡 将之 (安 中)
三浦 雄人 (安 中)
三澤 俊之 (安 中)
事務局
入山こず江
佐藤由紀恵
地区会計長
小坂橋 桂 (安 中)
地区財務委員会
2年 小坂橋 桂 (安 中)
1年 平田 稔 (高崎北)
3年 荻野 純一 (前橋北)
地区会計監査人
桂川 淳 (高崎東)
ガバナー事務所管理運営委員会
長) 足立 進 (前橋東)
副) 森 末廣 (桐 生)
櫻井 正晴 (安 中)
小坂橋 桂 (安 中)
樋口 哲雄 (高崎北)
廣木 晴久 (前橋北)
GN 地区幹事 ()

地区特定資産管理委員会
長) 森田 高史 (伊勢崎)
副) 平田 稔 (高崎北)
足立 進 (前橋東)
森 末廣 (桐 生)
担) 小坂橋 桂 (桐 生)
地区事業検討特別委員会
長) 森田 高史 (伊勢崎)
副) 森 末廣 (桐 生)
竹中 隆 (高崎北)
湯澤 晃 (前橋北)
GN ()
中野 正美 (太 田)
保坂 充勇 (沼 田)
松崎 真祐 (伊勢崎 RAC)
担) 櫻井 正晴 (安 中)
地区ラーニング・管理運営委員会
長) 田中 久夫 (高 崎)
副) 森田 高史 (伊勢崎)
副) 中野 正美 (太 田)
森 末廣 (桐 生)
湯澤 晃 (前橋北)
GN ()
小磯 正康 (前橋中央)
新井 良和 (伊勢崎)
飯田 知義 (大 泉)
津久井 功 (沼 田)
担) 小日向和博 (安 中)
RLI 推進委員会
ア) 竹内 正幸 (太 田)
長) 新井 良和 (伊勢崎)
副) 原 敬 (伊勢崎)
林 史泰 (高崎北)
担) 三澤 俊之 (安 中)
地区戦略計画委員会
長) 保坂 充勇 (沼 田)
副) 森 末廣 (桐 生)
副) 竹中 隆 (高崎北)
副) 湯澤 晃 (前橋北)
GN ()
櫻井 正晴 (安 中)
廣木 晴久 (前橋北)
津久井 功 (沼 田)
飯塚もも子 (高崎北 RAC)
担) 三澤 俊之 (安 中)

審議会立法案検討委員会
ア) 曾我 隆一 (前 橋)
ア) 本田 博己 (前 橋)
長) 足立 進 (前橋東)
副) 中野 正美 (太 田)
竹中 隆 (高崎北)
菊川 善明 (前 橋)
草刈 晋一 (桐生赤城)
大木 孝之 (伊勢崎東)
井汲 憲治 (高崎ソフォニー)
荻原 丈始 (新 田)
小暮 雅丈 (館 林)
齋藤 清海 (渋 川)
小貫智太郎 (藤岡南)
青山 豊 (桐生西)
担) 櫻井 誠 (安 中)
危機管理委員会
長) 足立 進 (前橋東)
副) 山田 邦子 (前 橋)
新井 聡 (前橋西)
田原 明岬 (伊勢崎南)
藤澤 真史 (桐生赤城)
青山 豊 (桐生西)
矢内 良春 (伊勢崎南)
担) 新井 祥文 (安 中)
ロータリーの友地区委員会
長) 後藤 圭一 (桐 生)
副) 樋口 哲雄 (高崎北)
櫻井 正晴 (安 中)
廣木 晴久 (前橋北)
担) 新井 祥文 (安 中)
ロータリー財団監査委員会
長) 保坂 充勇 (沼 田)
副) 桂川 淳 (高崎東)
ロータリー財団委員会
ア) 森田 高史 (伊勢崎)
長) 小林 洋樹 (前 橋)
副) 石井 英智 (前橋南)
水石 清治 (沼 田)
上柿 敬一 (伊勢崎中央)
唐沢 健二 (中之条)
石川 好男 (太 田)
片桐 正人 (前橋 RAC)
担) 佐藤 宗孝 (安 中)

・代 代表
・補 代表補欠
・前 前年度
・次 次年度

・ア) アドバイザー
・長) 委員長又は議長
・副) 副委員長又は副議長
・署) 署名人
・担) 担当副幹事

第2840地区 地区委員会委員名簿

ポリオプラス・資金推進委員会		
長)	水石 清治	(沼 田)
副)	町田 久	(渋 川)
	鷹巣 修	(伊勢崎南)
	宮武 優	(高崎北)
	河内 良範	(桐生西)
担)	坂上 順一	(安 中)
資金管理・平和フェロシップ委員会		
長)	上柿 敬一	(伊勢崎中央)
副)	福島 敬仁	(伊勢崎南)
	栗原 弘充	(伊勢崎中央)
署)	町田 久	(渋 川)
署)	鷹巣 修	(伊勢崎南)
担)	松岡 将之	(安 中)
地区補助金委員会		
長)	唐沢 健二	(中之条)
副)	草刈 晋一	(桐生赤城)
	菊川 善明	(前 橋)
	石井 英智	(前橋南)
	橘田 敦士	(前橋南)
	山形 剛	(桐生西)
	下田 仁	(伊勢崎)
	宮田 典洋	(伊勢崎中央)
	中西 力太	(伊勢崎東)
	小此木能信	(高 崎)
	小林 匡美	(高崎南)
	加瀬 揚彦	(館林東)
	原 直道	(渋 川)
	片桐 正人	(前橋 RAC)
担)	松岡 将之	(安 中)
グローバル補助金委員会		
長)	石川 好男	(太 田)
副)	菊池 千恵	(前 橋)
	Randolph 留利子	(桐 生)
	吉田 尚弘	(伊勢崎中央)
	小河原義光	(高 崎)
	木村めぐみ	(高崎ソフォニー)
担)	松岡 将之	(安 中)
地区行動計画推進委員会		
長)	田中 久夫	(高 崎)
副)	保坂 充勇	(沼 田)
副)	森 末廣	(桐 生)
副)	湯澤 晃	(前橋北)
	GN	()
担)	櫻井 正晴	(安 中)

会員組織強化委員会		
長)	中野 正美	(太 田)
副)	湯澤 晃	(前橋北)
	菊川 善明	(前 橋)
	草刈 晋一	(桐生赤城)
	大木 孝之	(伊勢崎東)
	井汲 憲治	(高崎ソフォニー)
	荻原 丈始	(新 田)
	小暮 雅丈	(館 林)
	齋藤 清海	(渋 川)
	小貫智太郎	(藤岡南)
	青山 豊	(桐生西)
担)	坂上 順一	(安 中)
地区入会促進小委員会		
長)	関口 朋克	(高崎セントラル)
地区新クラブ結成小委員会		
長)	広瀬 雅美	(高 崎)
参加意欲向上委員会		
ア)	山田 邦子	(前 橋)
長)	星野 儷日	(桐生南)
副)	下田 恭子	(伊勢崎中央)
	島田 峰子	(伊勢崎東)
	高橋寿美江	(高崎ソフォニー)
	春山 和久	(渋川みどり)
	中澤 翔	(沼田 RAC)
担)	相川 北斗	(安 中)
公共イメージ・ICT 推進委員会		
長)	田嶋 宏樹	(前橋南)
副)	前田 修	(前 橋)
副)	塩谷 勝利	(前橋北)
	美原 貫	(伊勢崎中央)
	佐藤 弘之	(高 崎)
	佐藤 健二	(高崎北)
	茂木 光男	(高崎東)
	長柄 光則	(館 林)
	田中 正弘	(藤 岡)
	今井 朱里	(沼田 RAC)
担)	田村 光三	(安 中)
国際大会推進委員会		
長)	小林 聡	(桐生西)
	園部 泰士	(伊勢崎中央)
	村上 文治	(高 崎)
	清水 剛	(高崎北)
	西野 宏	(高崎ソフォニー)
	関井 宏一	(館 林)
担)	田村 光三	(安 中)

奉仕プロジェクト委員会		
ア)	山田 邦子	(前 橋)
長)	島田 渉	(前橋南)
副)	高橋 昭紀	(沼田中央)
副)	戸塚 和昭	(前橋東)
	石原 保幸	(前橋東)
	大木 孝之	(伊勢崎東)
	高井俊一郎	(高 崎)
担)	坂上 順一	(安 中)
青少年奉仕プログラム		
ア)	保坂 充勇	(沼 田)
青少年交換委員会		
長)	新井 聡	(前橋西)
副)	舟木 諒	(前橋西)
副)	宇田 榮二	(渋 川)
	GN	()
	有路 祐樹	(前橋北)
	久保 貴則	(伊勢崎)
	菊池 文也	(伊勢崎中央)
	飯島 芳臣	(高崎ソフォニー)
		(4A)
	中山 雅之	(安 中)
担)	飯島 岳史	(安 中)
インターアクト委員会		
長)	田原 明岬	(伊勢崎南)
副)	坂田 晴彦	(桐生南)
	牧野 英輔	(高 崎)
	吉井 幸広	(前橋東)
担)	川島 博	(安 中)
RYLA・学友委員会		
ア)	山田 邦子	(前 橋)
長)	藤澤 真史	(桐生赤城)
副)	村上 大樹	(伊勢崎東)
		(6)
	串田 洋介	(高崎北)
	秋山 哲也	(渋 川)
	新井 聡	(前橋西)
	青山 豊	(桐生西)
	田原 明岬	(伊勢崎南)
	矢内 良春	(伊勢崎南)
	横山 広樹	(前橋 RAC)
担)	川島 博	(安 中)
ローターアクト委員会		
長)	青山 豊	(桐生西)
副)	古澤 泰明	(前橋南)
	青木 亮太	(前橋南)
	小倉 仁	(沼 田)
	飯塚もも子	(高崎北 RAC)
担)	飯島 岳史	(安 中)

米山記念奨学委員会		
ア)	竹内 正幸	(太 田)
長)	矢内 良春	(伊勢崎南)
副)	川嶋 潤	(前橋東)
副)	西田俊太郎	(沼 田)
副)	森岡 敦史	(富岡中央)
	植木 信行	(前橋西)
	高見 正	(前橋北)
	大友 一之	(桐 生)
	長谷川修志	(伊勢崎中央)
	小保方由紀子	(高 崎)
	井上 幸己	(高崎北)
	石川るみ子	(太 田)
	小笠原尊正	(太田南)
	飯塚 一成	(館 林)
	齊藤 一則	(館 林)
	青木 貴幸	(渋 川)
	古池 好幸	(沼田中央)
	小林 政貴	(渋川みどり)
	和田 雅之	(碓氷安中)
	黒澤 秋彦	(富岡かぶら)
担)	川島 博	(安 中)
ガバナーエレクト		
	湯澤 晃	(前橋北)
ガバナーノミニ		
		()
地区幹事		
	廣木 晴久	(前橋北)
地区財務委員		
	荻野 純一	(前橋北)
地区副幹事		
	天田 洋平	(前橋北)
	上村 哲郎	(前橋北)
	萩原 勝	(前橋北)
	門倉 正	(前橋北)
	川口 武志	(前橋北)
	神澤 敏夫	(前橋北)
	熊木 朋史	(前橋北)
	小林 真人	(前橋北)
	齋藤 慎佳	(前橋北)
	佐藤 敬	(前橋北)
	清水 博志	(前橋北)
	大門 龍一	(前橋北)
	高見 正	(前橋北)
	立見 公一	(前橋北)
	田中 順路	(前橋北)
	中村 哲也	(前橋北)
	半澤 冬樹	(前橋北)
	横澤 勝	(前橋北)

収 支 予 算 書 (案)

国際ロータリー第2840地区・自2026年7月1日 至2027年6月30日

(単位：円・人)

科 目		本年度予算案①		前年度予算額②	増減額①－②			備 考
款	項	款	項			金額	人数	
収 入 の 部	1. 地区事業資金	10,759,000		10,677,800	81,200	5,300	2,030	一人当たり分担金合計 5,300
	(1) 青少年交換資金		3,349,500	3,248,000	101,500	1,650	2,030	(1,600+50) × 2,030人
	(2) インターアクト振興資金		2,842,000	2,842,000	0	1,400	2,030	1,400 × 2,030人
	(3) ローターアクト振興資金		1,319,500	1,258,600	60,900	650	2,030	(620+30) × 2,030人
	(4) RYLA活動資金		1,218,000	1,258,600	△ 40,600	600	2,030	(620-20) × 2,030人
	(5) 公共イメージ振興基金		1,421,000	1,461,600	△ 40,600	700	2,030	(720-20) × 2,030人
	(6) 米山記念奨学生振興資金		406,000	406,000	0	200	2,030	200 × 2,030人
	(7) 寄付金収入その他		203,000	203,000	0	100	2,030	100 × 2,030人
	2. 地区活動資金	25,172,000		25,375,000	△ 203,000	12,400		一人当たり分担金合計 12,400
	(1) 地区大会開催資金		7,917,000	8,120,000	△ 203,000	3,900	2,030	(4,000-100) × 2,030人
	(2) ガバナー他活動資金		17,255,000	17,255,000	0	8,500	2,030	8,500 × 2,030人
	3. 地区事務所運営資金等	15,834,000		15,631,000	203,000	7,800		一人当たり分担金合計 7,800
	(1) 地区事務所運営・地区積立預金資金		15,834,000	15,631,000	203,000	7,800	2,030	(7,700+100) × 2,030人
	4. その他	1,013,548		1,110,000	△ 96,452	25,500		一人当たり分担金合計 25,500
	(1) R I 助成金		1,003,548	1,100,000	△ 96,452			参考 前年度分担金合計 25,460
	(2) 受取利息		9,000	9,000	0			
	(3) 雑収入		1,000	1,000	0			
当年度収入合計 (A)		52,778,548	52,778,548	52,793,800	△ 15,252			
前年度繰越収支差額 (※ 1)		10,730,610		9,969,050	761,560			
収入合計 (B)		63,509,158	52,778,548	62,762,850	746,308			
支 出 の 部	1. 地区事業資金	10,556,000		10,474,800	81,200			
	(1) 青少年交換事業		3,349,500	3,248,000	101,500			交換学生授業料、歓送迎会費用他
	(2) インターアクト振興事業		2,842,000	2,842,000	0			年次大会、台湾交流歓迎会・さよならパーティ他
	(3) ローターアクト振興事業		1,319,500	1,258,600	60,900			年次大会、他地区合同行事、他地区年次大会登録料他
	(4) RYLA活動事業		1,218,000	1,258,600	△ 40,600			
	(5) 公共イメージ振興事業		1,421,000	1,461,600	△ 40,600			上毛新聞掲載費用等
	(6) 米山記念奨学生振興事業		406,000	406,000	0			米山奨学生親睦費用
	2. 地区活動資金	25,532,000		25,635,000	△ 103,000			
	(1) ガバナー活動費		17,912,000	18,565,000	△ 653,000			
	① 地区大会開催費		7,917,000	8,120,000	△ 203,000			地区大会開催費用
	② ガバナー公式訪問補助金		420,000	430,000	△ 10,000			10,000円×42クラブ
	③ インターアクト年次大会協力金		150,000	150,000	0			年次大会協力金
	④ ローターアクト年次大会協力金		175,000	175,000	0			年次大会協力金
	⑤ 各種セミナー開催費		2,400,000	2,520,000	△ 120,000			会場費、看板、音響等
	⑤-1 地区リーダーシップセミナー		100,000	120,000	△ 20,000			登録料有り
	⑤-2 新会員セミナー		100,000	50,000	50,000			登録料有り
	⑤-3 R財団セミナー		0	0	0			登録料有り
	⑤-4 米山記念奨学セミナー		50,000	50,000	0			登録料有り
	⑤-5 R L I 研修セミナー		700,000	650,000	50,000			登録料有り
	⑤-6 I M研修セミナー		800,000	800,000	0			100,000円×8分区
	⑤-7 補助金管理セミナー		50,000	250,000	△ 200,000			登録料有り
	⑤-8 参加促進セミナー		100,000	150,000	△ 50,000			登録料有り
	⑤-9 危機管理セミナー		50,000	50,000	0			
	⑤-10 奉仕プロジェクトセミナー		100,000	0	100,000			
	⑤-11 公共イメージ・ICTセミナー		100,000		100,000			
	⑤-12 クラブ活性化ワークショップ		200,000	250,000	△ 50,000			登録料有り
	⑤-13 環境保全実践活動費		50,000	150,000	△ 100,000			
	⑥ 地区会合費		800,000	850,000	△ 50,000			会場費他
	⑥-1 ガバナー補佐会議		50,000	100,000	△ 50,000			
	⑥-2 ガバナー補佐・委員長合同会議		150,000	150,000	0			
	⑥-3 現新地区役員合同会議		500,000	500,000	0			
	⑥-4 幹事会		50,000	50,000	0			
	⑥-5 財務委員会		50,000	50,000	0			

支 出 の 部	⑦	ガバナー活動費		1,750,000	1,850,000	△ 100,000	
	⑦- 1	各種会合登録費		500,000	600,000	△ 100,000	各クラブ周年行事、IM、RYLA他会合登録料等
	⑦- 2	各種表彰費		350,000	350,000	0	地区大会における表彰費用等
	⑦- 3	その他ガバナー活動費		900,000	900,000	0	各クラブ訪問、その他行事の登録料等
	⑧	ガバナー補佐活動費		1,840,000	1,880,000	△ 40,000	40,000円×42クラブ+20,000円×8RAクラブ
	⑨	報告書作成費		200,000	250,000	△ 50,000	年次報告書の作成
	⑩	R I 関係各種登録料		100,000	100,000	0	財団地域セミナー、RYLA研究会等費用
	⑪	委員会活動費		2,160,000	2,240,000	△ 80,000	会場費等
	⑪- 1	ガバナー諮問委員会		500,000	550,000	△ 50,000	
	⑪- 2	その他委員会活動費（※ 2）		1,660,000	1,690,000	△ 30,000	各委員会会合費
	(2)	ガバナーエレクト活動費		7,450,000	6,900,000	550,000	
	①	国際協議会		1,000,000	1,000,000	0	参加費用他
	②	国際大会		1,000,000	500,000	500,000	参加費用他
	③	ガバナー補佐会議		200,000	350,000	△ 150,000	会場費他
	④	ガバナー補佐・委員長合同会議		300,000	300,000	0	会場費他
	⑤	委員会事業計画協議会		50,000	50,000	0	会場費他
	⑥	地区チーム・ラーニングセミナー		300,000	400,000	△ 100,000	会場費他
	⑦	会長エレクト次年度幹事ラーニングセミナー		1,000,000	1,000,000	0	登録料有り 会場費他
	⑧	クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー		800,000	800,000	0	登録料有り 会場費他
	⑨	クラブ管理運営セミナー		100,000	100,000	0	
	⑨	印刷費		1,400,000	1,400,000	0	会員必携、PELS・SELS印刷費用他
	⑩	地区バッチ製作費		400,000	100,000	300,000	製作費（同一バッチ使用）
	⑪	各種会合登録費		500,000	500,000	0	各クラブ訪問、周年行事等
	⑫	その他ガバナーエレクト活動費		400,000	400,000	0	
	(3)	ガバナーノミニー活動費		170,000	170,000	0	
	①	印刷費		20,000	20,000	0	名刺他
	②	その他ガバナーノミニー活動費		150,000	150,000	0	各種登録料他
	3.	地区事務所運営資金	16,080,900	16,080,900	15,980,900	100,000	
	(1)	全国組織分担金		1,278,900	1,278,900	0	
	①	ガバナー会議運営協力金		466,900	466,900	0	230円 2,030人
	②	日本青少年交換他地区合同機構維持協力金		406,000	406,000	0	200円 2,030人
	③	ロータリー文庫協力金		406,000	406,000	0	200円 2,030人
	(2)	ガバナー事務所運営費		14,802,000	14,702,000	100,000	
	①	会議費		150,000	200,000	△ 50,000	
	②	労務費		7,800,000	7,600,000	200,000	事務局人件費
	③	地区HP・月信関係費		1,200,000	1,200,000	0	HP、ガバナー月信、掲載費用他
	④	地区補助金申請・報告システム保守費		400,000	400,000	0	地区補助金申請・報告メンテナンス費用他
	⑤	旅費交通費		300,000	300,000	0	事務局員通勤手当他
	⑥	通信費		700,000	700,000	0	電話、INT手数料、郵送料他
	⑦	事務所賃貸料		1,452,000	1,452,000	0	事務所賃借料、駐車料
	⑧	水道光熱費		400,000	400,000	0	電気、水道料金等
	⑨	印刷費		1,800,000	2,000,000	△ 200,000	複合機カウンター料他印刷費用
	⑩	事務用品費		300,000	200,000	100,000	用紙代他
	⑪	雑費		300,000	250,000	50,000	警備保障、新聞、振込料他
	4.	予備費	9,648	9,648	103,100	△ 93,452	
	(1)	予備費		9,648	103,100	△ 93,452	
	5.	地区積立預金支出	600,000	600,000	600,000	0	
	(1)	規定審議会補助金積立預金支出		300,000	300,000	0	
	(2)	災害対策積立預金		300,000	300,000	0	
		当年度支出合計（C）	52,778,548		52,793,800	△ 15,252	
		当年度収支差額（A）－（C）	0		0	0	
		次年度繰越収支差額	10,730,610		9,969,050	761,560	
		合 計	63,509,158		62,762,850	746,308	

（※ 1）前年度繰越収支差額は未確定であり、2025年6月30日残高を記載しております。

（※ 2）その他委員会活動費の内訳書（案）参照

その他委員会活動費の内訳書(案)

国際ロータリー第2840地区・自2026年7月1日 至2027年6月30日

(単位:円)

委員会	本年度予算	前年度予算	増減額
1 ガバナー指名委員会	20,000	30,000	△ 10,000
2 地区ラーニング・管理運営委員会	30,000	50,000	△ 20,000
3 危機管理委員会	20,000	20,000	0
4 審議会立法案検討委員会	20,000	20,000	0
5 地区運営委員会	20,000	20,000	0
地区特定資産管理委員会	30,000	0	30,000
地区事業検討特別委員会	30,000	0	30,000
6 ガバナー事務局管理運営委員会	20,000	20,000	0
7 地区戦略計画策定委員会	20,000	20,000	0
8 地区行動計画推進委員会	20,000	20,000	0
9 R L I 推進委員会	20,000	20,000	0
10 ロータリーの友地区委員会	50,000	30,000	20,000
11 会員組織強化委員会	100,000	30,000	70,000
12 参加推進委員会	50,000	70,000	△ 20,000
13 公共イメージ・ICT	100,000	100,000	0
14 国際大会推進委員会	20,000	50,000	△ 30,000
15 青少年奉仕プロジェクト委員会	250,000	250,000	0
① 職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会	30,000	30,000	0
② 青少年交換委員会	120,000	120,000	0
③ インターアクト委員会	70,000	70,000	0
④ R Y L A・学友委員会	30,000	30,000	0
16 ローターアクト委員会	50,000	70,000	△ 20,000
17 米山記念奨学委員会	150,000	150,000	0
18 ロータリー財団委員会	620,000	700,000	△ 80,000
① ポリオプラス・資金推進委員会	50,000	100,000	△ 50,000
② 資金管理・平和フェロシップ委員会	50,000	50,000	0
③ 地区補助金委員会	420,000	430,000	△ 10,000
④ グローバル補助金委員会	100,000	120,000	△ 20,000
19 ロータリー財団監査委員会	20,000	20,000	0
合 計	1,660,000	1,690,000	△ 30,000

特別会計予算(案)

国際ロータリー第2840地区・自2026年7月1日 至2027年6月30日

(単位：円)

特別会計	前年度繰越金	本年度予算		次年度繰越金
		収入	支出	
1 第2840地区創立積立預金会計	14,301,674	14,000	0	14,315,674
内訳 受取利息		14,000		
2 リスク管理積立預金会計	5,009,272	5,000	0	5,014,272
内訳 受取利息		5,000		
3 災害対策積立預金会計	14,627,797	315,000	0	14,942,797
内訳 一般会計繰入金		300,000		
受取利息		15,000		
4 特別事業積立預金会計	11,895,399	0	0	11,895,399
内訳 受取利息		12,000		
5 規定審議会補助金積立預金会計	0	300,000	0	300,000
内訳 一般会計繰入金		300,000		
受取利息		0		
合計	45,834,142	634,000	0	46,468,142

(※1) 前年度繰越金は未確定であり、2025年6月30日残高を記載しております。

第2840地区 2026－2027年度 地区役員名簿

	ガバナー			
	たけ	なか	たかし	
	竹	中	隆	(高崎北 RC)
TEL : 027-322-2893 FAX : 027-322-4466				

	ガバナー 諮問委員会委員			
	うしく	ぼ	てつ	お
	牛久保	哲	男	(伊勢崎 RC)
E-mail:goldfinger.007@gmail.com				

	ガバナー 諮問委員会委員			
	きよし	あき	つぐ	
	清	章	司	(藤岡 RC)
TEL : 0274-22-3981 FAX : 0274-22-8841				

	ガバナー 諮問委員会委員			
	ふく	だ	かず	よし
	福	田	一	良
TEL : 027-221-6868 FAX : 027-221-7444				

	ガバナー 諮問委員会委員			
	もり	た	ひとし	
	森	田	均	(渋川 RC)
TEL : 027-224-8860 FAX : 027-224-8134				

	ガバナー 諮問委員会委員			
	あん	どう	しん	たろう
	安	藤	震	太郎
TEL : 027-364-7110 FAX : 027-364-7130				

	ガバナー 諮問委員会委員			
	やま	ぎき	まなぶ	
	山	崎	學	(高崎南 RC)
TEL : 027-347-1177 FAX : 027-347-2850				

	ガバナー 諮問委員会委員・審議会立法案検討委員会アドバイザー			
	ほん	だ	ひろ	き
	本	田	博	己
TEL : 027-251-8960 FAX : 027-253-8960				

	ガバナー 諮問委員会委員・審議会立法案検討委員会アドバイザー			
	そ	が	りゅう	いち
	曾	我	隆	一
TEL : 027-221-2424 FAX : 027-221-2311				

	ガバナー 諮問委員会委員・RLI推進委員会アドバイザー・米山記念奨学委員会アドバイザー			
	たけ	うち	まさ	ゆき
	竹	内	正	幸
TEL : 0276-45-1408 FAX : 0276-48-5595				

	ガバナー 諮問委員会委員			
	よこ	やま	こう	いち
	横	山	公	一
TEL : 0278-22-0387 FAX : 0278-22-7464				

	ガバナー 諮問委員会委員			
	うぶ	かた	あきら	
	生	方	彰	
TEL : 0278-22-5555 FAX : 0278-24-1620				

	ガバナー 諮問委員会委員			
	まつ	くら	こう	ゆう
	松	倉	紘	洋
TEL : 0274-63-7284 FAX : 0274-62-0972				

	地区ラーニングファシリテーター・ガバナー 諮問委員会委員・地区ラーニング・管理運営委員会委員長・地区行動計画推進委員会委員長			
	た	なか	ひさ	お
	田	中	久	夫
TEL : 027-364-3500 FAX : 027-364-3501				

第2840地区 2026－2027年度 地区役員名簿

	ガバナー諮問委員会委員
	みや うち あつ お 宮 内 敦 夫(館林RC)
	TEL：0276-82-1499 FAX：0276-82-0784

	ガバナーエレクト・地区運営連絡会議副議長・地区事業検討特別委員会委員・地区ラーニング・管理運営委員会委員・地区戦略計画委員会副委員長・地区行動計画推進委員会副委員長・会員組織強化委員会副委員長
	ゆ ざわ こう 湯 澤 晃(前橋北RC)
	TEL：027-260-9555 FAX：027-224-6653

	ガバナー諮問委員会委員・地区特定資産管理委員会委員長・地区事業検討特別委員会委員長・地区ラーニング・管理運営委員会副委員長・ロータリー財団委員会アドバイザー
	もり た たか し 森 田 高 史(伊勢崎RC)
	TEL：0270-25-1441 FAX：0270-24-8237

	ガバナー諮問委員会委員・ガバナー指名委員会委員・危機管理委員会副委員長・参加意欲向上委員会アドバイザー・奉仕プロジェクト委員会アドバイザー・RYLA・学友委員会アドバイザー
	やま だ くに こ 山 田 邦 子(前橋RC)
	TEL：027-234-6001 FAX：027-234-6011

	ガバナー諮問委員会委員・審議会地区代表議員・ガバナー指名委員会委員・ガバナー事務所管理運営委員会委員長・地区特定資産管理委員会委員・審議会立法案検討委員会委員長・危機管理委員会委員長
	あ だち すすむ 足 立 進(前橋東RC)
	TEL：027-231-9612 FAX：027-234-9308

	ガバナー諮問委員会委員・ガバナー指名委員会委員長・地区事業検討特別委員会委員・地区ラーニング・管理運営委員会副委員長・審議会立法案検討委員会副委員長・会員組織強化委員会委員長
	なか の まさ み 中 野 正 美(太田RC)
	TEL：0276-37-5800 FAX：0276-37-5813

	ガバナー諮問委員会委員・ガバナー指名委員会副委員長・地区事業検討特別委員会委員・地区戦略計画委員会委員長・ロータリー財団監査委員会委員長・地区行動計画推進委員会副委員長・青少年奉仕プログラムアドバイザー
	ほ さか みつ お 保 坂 充 勇(沼田RC)
	TEL：0278-24-1871 FAX：0278-23-1335

	副ガバナー・ガバナー諮問委員会委員・ガバナー指名委員会委員・地区運営連絡会議議員・ガバナー事務所管理運営委員会副委員長・地区特定資産管理委員会委員・地区事業検討特別委員会副委員長・地区ラーニング・管理運営委員会委員・地区戦略計画委員会副委員長・地区行動計画推進委員会副委員長
	もり すえ ひろ 森 末 廣(桐生RC)
	TEL：0277-40-2621 FAX：0277-32-5051

第2840地区 2026－2027年度 地区役員名簿

	第1分区分ガバナー補佐・審議会立法案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員・地区補助金委員会委員
	きく かわ よし あき 菊 川 善 明(前橋RC)
	TEL：027-224-8686 FAX：027-224-8879

	第2分区分Aガバナー補佐・審議会立法案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員・地区補助金委員会副委員長
	くさ どころ しん いち 草 処 晋 一(桐生赤城RC)
	TEL：0277-74-1682 FAX：0277-74-4840

	第2分区分Bガバナー補佐・審議会立法案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員
	おお ぎ たか ゆき 大 木 孝 之(伊勢崎東RC)
	TEL：0270-25-5945 FAX：0270-25-5945

	第3分区分ガバナー補佐・審議会立法案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員
	い くみ のり はる 井 汲 憲 治(高崎シフォンRC)
	TEL：027-361-8783 FAX：027-361-1346

	第4分区分Aガバナー補佐・審議会立法案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員
	おぎ わら たけ し 萩 原 丈 始(新田RC)
	TEL：0276-56-6161 FAX：0276-56-3820

	第4分区分Bガバナー補佐・審議会立法案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員
	こ ぐれ まさ たけ 小 暮 雅 丈(館林RC)
	TEL：0276-73-6391 FAX：0276-75-0127

	第5分区分ガバナー補佐・審議会立法案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員
	さい とう きよ み 齋 藤 清 海(渋川RC)
	TEL：0279-23-0615 FAX：0279-24-1951

	第6分区分ガバナー補佐・審議会立法案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員
	お ぬき とも たろう 小 貫 智 太 郎(藤岡南RC)
	TEL：0274-22-2096 FAX：0274-24-4974

	ロータリーアクトクラブ担当ガバナー補佐・危機管理委員会委員・ロータリーアクト委員会委員長・ロータリーアクト連絡協議会アドバイザー・審議会立法案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員・RYLA・学友委員会委員
	あお やま ゆたか 青 山 豊(桐生西RC)
	TEL：0277-72-1221 FAX：0277-72-1256

	地区幹事(代表)・地区運営連絡会議議員・地区戦略計画委員会委員・ガバナー事務所管理運営委員会委員・ロータリーの友地区委員会委員
	さくら い まさ はる 櫻 井 正 晴(安中RC)
	TEL：027-388-8211 FAX：027-388-8212

	地区幹事(前年度)・地区運営連絡会議議員・ガバナー事務所管理運営委員会委員・ロータリーの友地区委員会副委員長
	ひ ぐち てつ お 樋 口 哲 雄(高崎北RC)
	TEL：027-361-1690 FAX：027-361-7781

	地区幹事(次年度)・地区運営連絡会議議員・ガバナー事務所管理運営委員会委員・地区戦略計画委員会委員・ロータリーの友地区委員会委員
	ひろ き はる ひさ 廣 木 晴 久(前橋北RC)
	TEL：027-252-7500 FAX：027-252-7515

	地区会計長・地区財務委員会委員(2年)・地区運営連絡会議議員・ガバナー事務所管理運営委員会委員
	こ い いたばし かつら 小 板 橋 桂(安中RC)
	TEL：027-385-0118 FAX：027-385-0406

	地区財務委員会委員(1年)・地区運営連絡会議議員・地区特定資産管理委員会副委員
	ひら た み の る 平 田 稔(高崎北RC)
	TEL：027-382-2537 FAX：027-382-2537

	地区財務委員会委員(3年)・地区運営連絡会議議員
	おぎ の じゅん いち 萩 野 純 一(前橋北RC)
	TEL：027-288-0996 FAX：027-288-0997

	地区ラーニング・管理運営委員会委員
	こ い ぞ まさ やす 小 磯 正 康(前橋中央RC)
	TEL：027-252-8553 FAX：027-252-8649

	地区ラーニング・管理運営委員会委員・RLI推進委員会委員長
	あら い よし かず 新 井 良 和(伊勢崎RC)
	TEL：0270-25-2002 FAX：0270-25-2010

	地区ラーニング・管理運営委員会委員
	いい だ とも よし 飯 田 知 義(大泉RC)
	TEL：0276-62-2568 FAX：0276-56-4608

第2840地区 2026－2027年度 地区役員名簿

	地区ラーニング・管理運営委員会委員・地区戦略計画委員会委員
	つ く い い さ お 津久井 功 (沼田 RC)
	TEL : 0278-24-1519 FAX : 0278-22-6580

	ロータリーの友地区委員会委員長
	こ とう けい いち 後 藤 圭 一 (桐生 RC)
	TEL : 0277-44-3345 FAX : 0277-44-3616

	ロータリー財団委員会委員長
	こ ばやし ひろ き 小 林 洋 樹 (前橋 RC)
	TEL : 027-268-4567 FAX : 027-268-4488

	ポリオプラス・資金推進委員会委員長
	みず いし せい じ 水 石 清 治 (沼田 RC)
	TEL : 0278-22-2211 FAX : 0278-23-1670

	資金管理・平和フェロシップ委員会委員長
	か み がき けい いち 上 柿 敬 一 (伊勢崎中央 RC)
	TEL : 0270-25-5745 FAX : 0270-26-1890

	地区補助金委員会委員長
	か ら さわ けん じ 唐 沢 健 二 (中之条 RC)
	TEL : 0279-76-3535 FAX : 0279-76-3536

	グローバル補助金委員会委員長
	い し かわ よし お 石 川 好 男 (太田 RC)
	TEL : 0276-31-4644 FAX : 0276-31-2816

	地区入会促進小委員会委員長
	せ き ぐち とも よし 関 口 朋 克 (高崎セントラル RC)
	TEL : 027-362-5836 FAX : 027-363-4824

	地区新クラブ結成小委員会委員長
	ひろ せ まさ み 広 瀬 雅 美 (高崎 RC)
	TEL : 027-343-2111 FAX : 027-343-2112

	参加意欲向上委員会委員長
	ほ し の れい か 星 野 儼 日 (桐生南 RC)
	TEL : 0277-54-4007 FAX : 0277-44-8717

	公共イメージ・ICT推進委員会委員長
	た じま ひろ き 田 嶋 宏 樹 (前橋南 RC)
	TEL : 027-212-2121 FAX : 027-212-2500

	国際大会推進委員会(オンツアー・パルセロナ)委員長
	こ ばやし さとる 小 林 聡 (桐生西 RC)
	TEL : 0277-20-8511 FAX : 0277-20-8512

	奉仕プロジェクト委員会委員長
	し ま だ わたる 島 田 渉 (前橋南 RC)
	TEL : 027-233-1252 FAX : 027-232-5799

	青少年交換委員会委員長・危機管理委員会委員・RYLA・学友委員会委員
	あ ら い さとし 新 井 聡 (前橋西 RC)
	TEL : 027-387-0611 FAX : 027-387-0612

	インターアクト委員会委員長・危機管理委員会委員・RYLA・学友委員会委員
	た はら あけ み 田 原 明 岬 (伊勢崎南 RC)
	TEL : 0270-75-3796 FAX : 0270-75-1069

	RYLA・学友委員会委員長・危機管理委員会委員
	ふ じ さわ まさ し 藤 澤 真 史 (桐生赤城 RC)
	TEL : 0277-47-8100 FAX : 0277-47-8101

	米山記念奨学委員会委員長・危機管理委員会委員・RYLA・学友委員会委員
	や ない よし はる 矢 内 良 春 (伊勢崎南 RC)
	TEL : 0270-32-1526 FAX : 0270-32-1583

第2840地区 2026－2027年度 ガバナースタッフ名簿

	地区副幹事
	あい かわ ほくと (安中 RC)
	TEL : 027-253-1832 FAX : 027-253-1804

	地区副幹事
	あら むら よし ふみ (安中 RC)
	TEL : 027-385-5541 FAX : 027-385-5744

	地区副幹事
	いい じま たけ し (安中 RC)
	TEL : 027-381-2972 FAX : 027-381-1119

	地区副幹事
	おお たに ひで よし (安中 RC)
	TEL : 050-3782-1116 FAX : 027-381-0239

	地区副幹事
	お び なた かず ひろ (安中 RC)
	TEL : 027-386-2600 FAX : 027-386-2601

	地区副幹事
	かわ しま ひろし (安中 RC)
	TEL : 027-381-1244 FAX : 027-382-6741

	地区副幹事
	く ぼ なお ひこ (安中 RC)
	TEL : 027-385-7851 FAX : 027-386-5658

	地区副幹事
	さ か がみ じゅん いち (安中 RC)
	TEL : 027-362-6821 FAX : 027-384-3041

	地区副幹事
	さくら い まこと (安中 RC)
	TEL : 027-381-1552 FAX : 027-381-1558

	地区副幹事
	さ とう むね たか (安中 RC)
	TEL : 027-395-0007 FAX : 027-395-0006

	地区副幹事
	た か はし ゆたか (安中 RC)
	TEL : 027-385-8067 FAX : 027-385-3230

	地区副幹事
	た むら こう ぞう (安中 RC)
	TEL : 027-385-6120 FAX : 027-325-0926

	地区副幹事
	まえ じま まさ き (安中 RC)
	TEL : 027-381-5703 FAX : 027-381-5704

	地区副幹事
	まつ おか まさ ゆき (安中 RC)
	TEL : 027-388-8507 FAX : 027-388-8508

	地区副幹事
	み うら ゆう と (安中 RC)
	TEL : 027-385-6507 FAX : 027-385-9958

	地区副幹事
	み さわ とし ゆき (安中 RC)
	TEL : 027-382-9000 FAX : 027-381-3308

	ガバナー事務所 事務局員
	いり やま こずえ
	TEL : 027-212-2840 FAX : 027-212-2841

	ガバナー事務所 事務局員
	さ とう ゆき え
	TEL : 027-212-2840 FAX : 027-212-2841

第2840地区 2026－2027年度 クラブ会長・幹事 名簿

	ガバナー補佐	会 長	幹 事
第 1 分 区	 きく かわ よし あき 菊 川 善 明 (前橋)	 前橋 RC み わ ひとし 三 輪 斉	 前橋 RC ます だ しん いち 増 田 晋 一
		 前橋西 RC いし い くに お 石 井 國 雄	 前橋西 RC こ ぐれ けん いち 小 暮 健 一
		 前橋東 RC くぎ しま のぶ ひろ 釘 島 伸 博	 前橋東 RC まる はし ゆう た 丸 橋 雄 太
		 前橋北 RC つか だ とし のり 塚 田 憲 利	 前橋北 RC あい はら よし ひろ 相 原 佳 寛
		 前橋南 RC あ べ ふみ あき 阿 部 文 明	 前橋南 RC あお き りょう た 青 木 亮 太
		 前橋中央 RC きり ぶち まさる 桐 淵 勝	 前橋中央 RC い がらし ちから 五十嵐 力
第 2 分 区 A	 くさ どころ しん いち 草 処 晋 一 (桐生赤城)	 桐生 RC くわ ばら し ろう 桑 原 志 郎	 桐生 RC まつ だ ひで お 松 田 秀 夫
		 桐生南 RC す だ のぼる 須 田 昇	 桐生南 RC ほし の しょう げん 星 野 将 元
		 桐生西 RC うら の ゆき こ 浦 野 幸 子	 桐生西 RC き むら あき のり 木 村 明 宣
		 桐生赤城 RC し みず てつ 清 水 哲	 桐生赤城 RC たき なみ ゆう いち 瀧 波 勇 一

第2840地区 2026－2027年度 クラブ会長・幹事 名簿

	ガバナー補佐	会 長	幹 事
第 2 分 区 B	 おお ぎ たか ゆき 大 木 孝 之 (伊勢崎東)	 伊勢崎 RC むら おか みき ひこ 村 岡 幹 彦	 伊勢崎 RC お ぎ わ ひろし 小 澤 弘
		 群馬境 RC あか いし みつ ひろ 赤 石 光 裕	 群馬境 RC かな い あつし 金 井 敦
		 伊勢崎中央 RC はっ とり ただ お 服 部 忠 夫	 伊勢崎中央 RC こ く ぼ たけ とし 小久保 剛 利
		 伊勢崎南 RC た ばた のぶ あき 田 端 宣 章	 伊勢崎南 RC た なか そう いち 田 中 聡 一
		 伊勢崎東 RC おお さき ふみ お 大 崎 文 男	 伊勢崎東 RC し ま だ みね こ 島 田 峰 子
第 3 分 区	 い くみ のり はる 井 汲 憲 治 (高崎シンフォニー)	 高崎 RC や じ ま まこと 矢 嶋 真	 高崎 RC おか もと けん いち 岡 本 謙 一
		 高崎南 RC はな い こう き 花 井 好 機	 高崎南 RC はな わら よう こ 萩 原 葉 子
		 高崎北 RC おお い だ けん いち 大井田 健 一	 高崎北 RC こ ばやし はる ひこ 小 林 晴 彦
		 高崎東 RC こ いけ かず み 小 池 和 美	 高崎東 RC よこ お みち よ 横 尾 道 世
		 高崎シンフォニー RC おり た けい た 折 田 慶 太	 高崎シンフォニー RC そり まち みつ てる 反 町 光 輝
		 高崎セントラル RC はやし たか ひろ 林 高 弘	 高崎セントラル RC お ぬき ゆう じ 小 貫 裕 次

第2840地区 2026－2027年度 クラブ会長・幹事 名簿

	ガバナー補佐	会 長	幹 事
第4分 区 A	 おぎ 原 丈 始 (新田)	 太田 RC まつ もと 隆	 太田 RC しま だ みつ たか 島 田 光 貴
		 太田西 RC やま だ えい てつ 山 田 英 哲	 太田西 RC かな や みつ あき 金 谷 光 明
		 太田南 RC いし かわ さとる 石 川 訓	 太田南 RC なな しま よし ゆき 七 島 良 行
		 新田 RC おぎ 原 丈 始 萩 原 丈 始	 新田 RC こ い の ひで ゆき 五位野 秀 之
		 太田中央 RC いえ いづみ えい いち 家 泉 栄 一	 太田中央 RC たか ぎ まさ あき 高 木 勝 章
第4分 区 B	 こ 暮 雅 丈 (館林)	 館林 RC やま もと しげる 山 本 樹	 館林 RC なか せ よし あき 中 世 吉 昭
		 大泉 RC いい だ とも よし 飯 田 知 義	 大泉 RC はち り たか し 八 里 隆 司
		 館林東 RC やり だ さだ お 鍵 田 貞 雄	 館林東 RC はし だ たか あき 橋 田 高 明
		 館林ミレニアム RC やま こし えい いち 山 越 栄 一	 館林ミレニアム RC とち もと りょう じ 栃 本 良 二
第5分 区	さい とう きよ み 齋 藤 清 海 (渋川)	 渋川 RC せき ぐち みち こ 関 口 理 子	 渋川 RC ほり ぐち よし ひこ 堀 口 吉 彦
		 沼田 RC ふか つ たく や 深 津 卓 也	 沼田 RC す だ ち あき 須 田 千 秋

第2840地区 2026－2027年度 クラブ会長・幹事 名簿

	ガバナー補佐	会 長	幹 事
第 5 分 区	 さい とう きよ み 齋 藤 清 海 (渋川)	 中之条 RC いち ば とし なが 一 場 章 良	 中之条 RC こ やま ひろ し 小 山 大 嗣
		 沼田中央 RC いし ぎか かず お 石 坂 一 男	 沼田中央 RC こ ばやし のぶ ひろ 小 林 信 広
		 渋川みどり RC よこ て よし あき 横 手 義 昭	 渋川みどり RC つち だ たけし 土 田 猛
第 6 分 区	 お ぬき とも た ろ う 小 貫 智太郎 (藤岡南)	 富岡 RC い とう よし のり 伊 藤 好 則	 富岡 RC ゆ あさ とし のり 湯 浅 年 則
		 藤岡 RC ふ せ ち なつ 布 施 千 夏	 藤岡 RC たつ み すむ 龍 見 進
		 安中 RC はぎ わら えい し 萩 原 永 史	 安中 RC あい かわ ほく と 相 川 北 斗
		 富岡中央 RC もり おか あつ し 森 岡 敦 史	 富岡中央 RC まつ もと やす ひで 松 本 康 秀
		 碓氷安中 RC や ぎゅう よし ゆき 柳 生 由 幸	 碓氷安中 RC さくら い みき お 櫻 井 幹 男
		 藤岡南 RC わた なべ まさ き 渡 邊 仁 基	 藤岡南 RC ふる いち かず お 古 市 和 男
		 富岡かぶら RC なか い ひろ ゆき 中 井 啓 之	 富岡かぶら RC くろ さわ あき ひこ 黒 澤 秋 彦

2026-2027年度 地区組織編成と活動指針

A. ガバナー

ガバナーの任務は、RI 細則 16.090.に以下のように規定されています。

ガバナーは、その地区において、理事会の一般的な指揮、監督の下に職務を行う RI の役員である。ガバナーは、地区内のクラブを啓発し、意欲を与えるものとする。ガバナーは、元、現任、次期地区リーダーと協力して、地区内における継続性を確保するものとする。ガバナーは、次の事項の責任を負う。

- (a) 新クラブを結成すること。
- (b) 既存クラブの強化助成すること。
- (c) 会員増強を推進すること。
- (d) 地区およびクラブのリーダーと協力し、理事会の提唱する地区リーダーシップ・プランへの参加を奨励すること。
- (e) 地区内のクラブに対する指導および監督を行うことで、ロータリーの目的を推進すること。
- (f) TRF を支援すること。
- (g) クラブ間およびローターアクトクラブ間、およびクラブ、ローターアクトクラブ、RI の間の良好な関係を促進すること。
- (h) 地区大会を計画、主宰すること。会長エレクト次年度幹事ラーニングセミナーおよびクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーの計画・準備にあたるガバナーエレクトに協力すること。
- (i) 個々のクラブあるいは複数クラブ合同の例会への公式訪問を行うこと。その際には、以下を行うため、ガバナーの出席が最大限の成果を生むような機会を選ぶようにする。
 - ① ロータリーの重要な問題に焦点を当て関心を持たせる。
 - ② 弱体および問題のあるクラブに特別な関心を払う。
 - ③ 奉仕活動への参加に対するロータリアンの意欲をかきたてる。
 - ④ クラブの定款および細則が、組織規定を順守していることを確認する。規定審議会開催後は特にこれを行う。
 - ⑤ 顕著な貢献をした地区内のロータリアンを、ガバナー自ら表彰する。
- (j) 各クラブに対して月信を発行すること。
- (k) 会長または理事会の要請により、速やかに RI に報告を提出すること。
- (l) ガバナーエレクトに対して、国際協議会の前に、クラブの状況について詳細な情報を提供し、強化策を提案すること。
- (m) 地区における指名および選挙が、組織規定および RI の規定の方針を遵守するよう計らうこと。
- (n) 地区内のロータリアンのグループの活動について定期的に尋ねること。
- (o) 地区の文書をガバナーエレクトに引き継ぐこと。
- (p) RI 役員の職責に属するその他の任務を遂行すること。

B. 副ガバナー

ガバナーの空席に対し RI 細則には、以下の規定があります。当地区では直前ガバナーがこれに当たります。

16.060. ガバナーの空席

16.060.1. 副ガバナー

ガバナー指名委員会は、ガバナーエレクトが推薦した 1 名のパストガバナーを、選出の翌年度に任期を務める副ガバナーに選出できる。指名委員会が選出をしなかった場合、ガバナーエレクトが 1 名のパストガバナーを副ガバナーとして選出できる。副ガバナーの役

割は、ガバナーが一時的あるいは恒久的にガバナーとしての任務を遂行できなくなった場合に、ガバナーの後任となることである。

C. パストガバナー（PG）

1. パストガバナーの皆様には、ガバナー諮問委員会に加え、地区運営に関する指導役あるいはサポート役として、各委員会の分担をお願いしています。
2. 今年度のご担当委員会は以下の通りです

ガバナー指名委員会	委員長	中野 正美	PG
	副委員長	保坂 充勇	PG
	委員	山田 邦子	PG
	委員	足立 進	PG
	委員	森 末廣	PG
地区運営連絡会議	委員	森 末廣	PG
地区特定資産管理委員会	委員長	森田 高史	PG
	委員	足立 進	PG
	委員	森 末廣	PG
地区事業検討特別委員会	委員長	森田 高史	PG
	副委員長	森 末廣	PG
	委員	中野 正美	PG
	委員	保坂 充勇	PG
ガバナー事務所管理運営委員会	委員長	足立 進	PG
	副委員長	森 末廣	PG
地区ラーニング・管理運営委員会	委員長	田中 久夫	PG
	副委員長	森田 高史	PG
	副委員長	中野 正美	PG
	委員	森 末廣	PG
	アドバイザー	竹内 正幸	PG
R L I 推進委員会	委員長	保坂 充勇	PG
地区戦略計画委員会	副委員長	森 末廣	PG
	アドバイザー	曾我 隆一	PG
審議会立法案検討委員会	アドバイザー	本田 博己	PG
	委員長	足立 進	PG
	副委員長	中野 正美	PG
	委員長	足立 進	PG
危機管理委員会	副委員長	山田 邦子	PG
	委員長	保坂 充勇	PG
ロータリー財団監査委員会	アドバイザー	森田 高史	PG
ロータリー財団委員会	委員長	田中 久夫	PG
地区行動計画推進委員会	副委員長	保坂 充勇	PG
	副委員長	森 末廣	PG
	委員長	中野 正美	PG
会員組織強化委員会	アドバイザー	山田 邦子	PG
参加意欲向上委員会	アドバイザー	山田 邦子	PG
奉仕プロジェクト委員会	アドバイザー	保坂 充勇	PG
青少年奉仕プログラム	アドバイザー	山田 邦子	PG
R Y L A ・学友委員会	アドバイザー	竹内 正幸	PG
米山記念奨学委員会	アドバイザー	竹内 正幸	PG

D. ガバナースタッフと地区三役

1. 当年度の地区幹事（2年幹事）を「代表地区幹事」と呼び、代表地区幹事は地区会計長と連携して地区運営を統括します。また前年度の地区幹事（1年幹事）、次年度の地区幹事（3年幹事）と協力して、地区運営の連続性に努めます。
2. 地区会計長は「地区財務委員会」の委員長として、地区会計を統括し、ガバナーとともに地区資金の銀行口座の署名人となります。
3. 当年度の地区副幹事は16名で複数の任務（委員会・ガバナー補佐・地区行事等）を分担します。委員会・地区行事等の事務・連絡・記録は各担当副幹事が行います。
4. ガバナー、直前ガバナー、ガバナーエレクト、地区幹事3名、地区財務委員3名のことを各年度の「地区三役」といい、継続的で効果的な地区運営を図る目的から「地区運営連絡会議」を開催します。またガバナーノミニーが選任された場合はこれに加わります。

E. 地区ラーニングファシリテーター

地区ラーニングファシリテーターはガバナーおよびガバナーエレクトと協力して、地区チーム・ラーニングセミナー、会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー、クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー、地区大会、地区クラブ活性化ワークショップ、RLIセミナー、ローターアクトクラブ会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー等の地区ラーニングセミナーを企画・管理します。また、地区ラーニング・管理運営委員会の委員長も務め、必要に応じてセッションの進行役の人選、研修におけるそのほかの担当者の割り当てを行います。

F. ガバナー補佐

1. ガバナー補佐はガバナーの地区管理を補佐する公式の役職として、地区リーダーシップ・プラン（DLP）の中枢を担っています。地区内42クラブを6分区・8グループに分け、ローターアクト8クラブを1グループとし、各グループに1名、合計9名のガバナー補佐を配置します。
2. ガバナー補佐の主要任務は、担当クラブの管理運営に関して、ガバナーを支援することです。具体的には次の通りです。

ガバナー補佐の責務

ガバナー補佐は、ガバナー及び担当クラブに対して以下の責務を担います。

- ① 地区目標の設定・達成を援助する。
- ② 地区の活動と行事に参加する。
- ③ 地区チーム・ラーニングセミナーに出席する。
- ④ 会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナーとクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーに出席する。
- ⑤ 将来にリーダーとなれる人材を探し、育成する。
- ⑥ 担当クラブの例会、各種会合、その他の行事に出席する。
- ⑦ クラブを支援するための具体的なアイデアを、ガバナーや地区に提案する。
- ⑧ 地区大会やその他の地区会合への登録並びに出席をクラブに奨励する。
- ⑨ クラブ状況について、次期ガバナー補佐に情報を提供する。

ガバナー補佐の役割

- ① 分区内のクラブを年4回以上は訪れる。
- ② クラブの現状をガバナーに報告し、改善する点があればガバナーと協議し助言・指導する。
- ③ 会員の声を聞き、クラブに情報やアドバイス更には参考資料を紹介し、クラブを成功に導く。
- ④ クラブの現状（例会開催状況・会員増強状況等）をガバナーに報告する。
- ⑤ ガバナー公式訪問の2週間前までにクラブを訪問して、クラブの現状等について所定の報告を行う。

- ⑥ ガバナー公式訪問に向けたクラブの準備の指導・補助を行う。
- ⑦ クラブ会長がロータリークラブ・セントラルに目標を入力すること、また入力した目標達成を支援する。
- ⑧ クラブの奉仕プロジェクトや補助金プロジェクトの取り組みを支援し、そのために関係委員会等と連携し調整する。
- ⑨ クラブが、クラブ戦略計画、クラブ・リーダーシッププラン（CLP）を推進し、活性化する手助けをする。
- ⑩ 分区内のクラブリーダーらとオンラインによる方法を含めて交流や親睦をはかる。
- ⑪ 必要に応じて I Mを開催し分区内の会員のロータリーの価値を共有するとともに、相互の親睦を図る。
- ⑫ 担当ガバナー補佐は、ローターアクトクラブの支援を行う。
- ⑬ 各分区において、年4回以上会長・幹事会を招集する。
- ⑭ 各分区の中期戦略の検討を推進する。

あわせて、

- ・地区のプログラムの目的、活動の価値をクラブ、会員に共有していただき、理解を得ること

また、クラブ会長に

- ・クラブにおける過去の活動の成果等をどう蓄積し、繋いでいくか
- ・クラブの運営をどのようにマネジメントするか
- ・クラブの活動の成果をどうインパクトのあるものにしていくか

を意識して、クラブ会長との連携をお願いします。

G. 地区の各委員会について

地区運営全般として次の点に留意してください。

- ・他の関連する委員会との連携の強化
- ・クラブ、クラブ委員会への地区プログラムの目的、活動の発信による価値の共有
- ・それぞれプロジェクトを実施するだけでなく、それがクラブ、会員にどんなリターンをもたらすか
- ・委員会内における過去の成果等をどう蓄積し、繋いでいくか
- ・委員会の運営をどのようにマネジメントするか
- ・委員会活動の成果をどうインパクトのあるものにしていくか

地区運営に関わる委員会

地区運営上の課題解決と地区の永続的発展を図るために編成するものです。パストガバナー・ガバナー補佐・地区委員会委員長・地区委員経験者等に委員をお願いしています。

① ガバナー諮問委員会

パストガバナーによって構成され、その経験、見識によって、ガバナーに対してロータリー活動に関する助言を行います。

② ガバナー指名員会

地区ガバナーノミニ候補者の選出のため、地区ガバナーはパストガバナーの中から各年度の指名委員会委員を委嘱し、地区ガバナー指名委員会が RI の定めに従って各年度のガバナーノミニ候補者を選出します。

③ 地区運営連絡会議

直前ガバナー、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニ、並びにそれぞれの年度の地区幹事、地区会計長で構成され、地区事業等の評価、検証し、地区運営の次年度以降への連続性を図ります。

④ ローターアクト地区連絡協議会

地区内ローターアクトクラブ間の連携を強化し、ローターアクト全体としての価値向上と持続的発展を実現するための中核機関となる。あわせて、ローターアクトの主体性を尊重しつつ、地区ローターアクト委員会および地区ロータリーとの協働を推進します。

⑤ 地区特定資産管理委員会

特定資産が適切に管理運用され、規律ある運用がされることを目指し、特定資産への一般会計からの繰り入れ、取り崩しについて、ガバナー及び財務委員会と協議します。

⑥ 地区事業検討特別委員会

地区内クラブが実践している奉仕事業の現状を調査し、今後一層充実した事業となるようクラブ間、分区内の連携に繋がるよう協力します。

⑦ ガバナー事務所管理運営委員会

ガバナー事務所や事務職員に過度な業務負担が生ずることのないよう地区委員会や幹事・副幹事との調整を行い、事務職員の勤務を健全な状態に保つとともに事務所運営上の諸課題に対応します。また将来を見据えた業務のあり方も常に検討していく必要があります。また各種ハラスメントも発生しないよう管理して頂きます。

⑧ 地区戦略計画委員会

地区およびクラブにおける戦略計画の立案と推進を支援する委員会です。今年度より第5期戦略計画（2026-2029年）が実行されます。地区戦略計画の推進とともに、クラブへも地区戦略計画の浸透、各クラブの戦略計画の策定と実践を働き掛けます。併せて、戦略計画の基になるクラブビジョンの明確化、戦略計画の検証と定期的な改定を促します。委員会はバストガバナーをはじめ、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミネー、他で構成しています。

⑨ 審議会立法案検討委員会

規定審議会（COL）は、3年に1回開催されるRI唯一の立法機関です。規定審議会に提案すべき立法案は、地区内ロータリークラブの提案を検討し、RIに上程します。

⑩ 危機管理委員会

国際ロータリーが提唱する青少年奉仕のプログラムに参加する青少年および米山記念奨学生の安全と健康及び健全な生活を守ることを目的とします。交通事故・自然災害から保護し、身体的・性的・精神的虐待あるいはハラスメントを防止すると共に、起こりうる危機に適切に処理できるよう設置しています。委員長はバストガバナーにお願いし、青少年奉仕関係の委員長に委員になって頂きます。

⑪ ロータリーの友地区委員会

『ロータリーの友』編集委員会には、日本全国34地区からガバナーの代理として選任を受けたロータリーの友地区代表委員が参加し、編集委員会のメンバーとして地区と『ロータリーの友』を結ぶ役割を担っています。

具体的活動としては、毎月発行される『ロータリーの友』を読み、感想や意見を編集部に送り、編集部ではそれを全会員に送り情報を共有して編集に生かします。地区や地区内のクラブの情報収集にも努め、会員から『ロータリーの友』への投稿をお願いします。『ロータリーの友』で一番大切なのは、ロータリアンの皆様から直接投稿をいただく原稿や写真です。他のクラブの活動の参考になる素晴らしい活動や、地域性に富んだ特色ある活動、読者の皆様にお伝えしたい情報など、各クラブへの投稿を勧奨して頂きます。

地区の研修に関わる委員会

⑫ 地区ラーニング・管理運営委員会

地区ラーニング・管理運営委員会は、地区ラーニングファシリテーターを中心に、地区の研修プログラムの全てを統括します。ガバナーエレクト年度において、いわゆる三大研修（地区チーム・ラーニングセミナー、会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミ

ナー、クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー）の企画を行うとともに、各種研修を監督し、RLI 推進委員会をサポートし、研修面で、ガバナーとガバナーエレクトを支援します。

また、同時にクラブラーニングファシリテーターセミナーを企画するなど、クラブラーニングファシリテーターを支援します。

⑬ RLI 推進委員会

RLI (Rotary Leadership Institute) は、講師の授業を聞く講義形式ではなく、少人数でテーマに沿って各人が自由に発言し、互いに気づき合う方法で行われるセミナーです。

ファシリテーターが進行しますが、答えを教える人ではなく、あくまでも進行役です。ロータリーについて、自分の見解を自由に述べ、他の人の発言から多くを学ぶことができます。自発的、能動的な学習形式です。当地区では秋口に Part I ～ Part III (3 回) が開催され、次年度の会長・幹事の必須研修となっております。

ロータリー財団関係委員会

⑭ ロータリー財団委員会

ロータリー財団は、ロータリアンからの寄付で支えられ、ロータリアンが特定したプロジェクトに資金を提供する唯一の団体です。ロータリアンは様々な方法で人々への奉仕を行います。ロータリー財団はロータリアンが行う奉仕を支えています。

地区ロータリー財団委員会の継続性を保つため、ガバナー、ガバナーエレクトと協力する。またガバナーの指揮の下、財団関係の 4 つの小委員会と協力して財団活動の計画、調整、評価を行うとしています。

2026-2027 年度は、次の 4 つの小委員会より構成されます。

1. ポリオプラス・資金推進委員会
2. 資金管理・平和フェローシップ委員会
3. 地区補助金委員会
4. グローバル補助金委員会

クラブへの支援活動を一層強化し、適切なアドバイスを提供するように心掛けます。

⑮ ポリオプラス・資金推進委員会

世界ポリオ根絶推進活動 (GPEI) を立ち上げたパートナーとして、ロータリーはポリオの症例を 99.9%減らす貢献をしてきました。ポリオプラスは、国際ロータリーの特別プログラムで、根絶の認定が達成されるまでは、ほかの全てのプログラムに対して優先されることとされております。しかし、日本においては、ポリオの発症は止まって久しく、特に新会員等には馴染みも薄いことから、十分な理解が浸透している状況にはないものと感じております。

そうした会員の十分な理解を前提に、本年度も世界ポリオ撲滅のための寄付の推進を行っていきたいと考えています。

あわせて、世界のロータリー活動を資金面で支えている「ロータリー財団」に対する寄付を推進し、「寄付ゼロクラブゼロ」を目指します。

⑯ 資金管理・平和フェローシップ委員会

ロータリアンの寄付が財源となって支給される各種補助金を厳格に管理するための委員会であります。当地区は、地区補助金については全クラブが使用し、実績を上げておりますが、一方 DDF (地区財団活動資金) の残高が増加しつつありますので、グローバル補助金委員会と協力して有効活用を推進してゆきたいと考えております。

また、平和は「人」から始まると考えるロータリーは、平和フェローシップ (奨学金) を通じて、世界平和と紛争予防の担い手となる人材を育て、平和推進者のネットワークを築いています。毎年、世界中から選ばれる最高 100 人のフェローが、ロータリー平和センター提携大学で学んでいます。当地区は全く馴染みの薄いプログラムですが、地区内の広報を広げてゆきたいと考えております。

⑰ 地区補助金委員会

ロータリー財団からの補助金のうち、地区補助金を担当する委員会です。

地区内の全クラブが地区補助金の活用を行うよう地区補助金申請を奨励するとともに、各クラブの奉仕事業の質の面で、一層地域社会のニーズにマッチしていくよう支援してゆきたいと考えております。

⑱ グローバル補助金委員会

ロータリー財団からの補助金のうち、グローバル補助金を担当する委員会です。

7つの重点分野に適合したグローバル補助金の申請モデルを開示するなどして、地区並びにクラブが、活発にグローバル補助金の申請を行えるよう活動してゆきたいと考えております。

組織強化に関する委員会

⑲ 会員組織強化委員会

この委員会は従来の「会員増強」を「会員組織強化」と捉えなおし体制を強化したもので、CLPに基づくクラブ委員会組織の「会員増強委員会」に呼応するものです。「会員増強」の目的は単に会員数の増大を図ることのみでなく、「会員組織」の強化、即ちクラブの会員基盤の充実です。こうした課題は地区内の全クラブが取り組むべきことから、ガバナー補佐9名を委員として全クラブに対する「会員組織強化」の支援体制を整えます。

衛星クラブ等の革新的クラブの創設やローターアクトクラブの強化も必要だと思います。これらのことも念頭に置いて活動を推進し、会員組織基盤の強化に努めます。

国際ロータリーの要請により、地区入会促進小委員会、地区新クラブ結成小委員会、地区会員参加促進小委員会を新たに設置します。

⑳ 参加意欲向上委員会（地区会員参加促進小委員会）

国際ロータリーの方針により DEI という表現から参加促進へと変更されました。昨年度よりインクルーシブなクラブ作りのためのクラブへの支援を図ってきました。会員へクラブ、ロータリーへの帰属意識を感じてもらい、事業への参加意欲を向上してもらえるよう、丁寧にクラブ、会員に働きかけます。

㉑ 公共イメージ・ICT 推進委員会

「公共イメージと認知度の向上」は、RI の優先項目の1つです。

公共イメージとして、クラブの取り組みを支援するための地域マスメディア（新聞・テレビ・ラジオ）ツールを活用したロータリー認知度向上の情報発信とあわせて、ロータリー活動の相手とその先にいる人々にもより深い理解をしていただけるよう草の根運動を重要視した取り組みに努めます。

ICT 推進としては、SNS（YouTube Instagram 等）を用いた手法の発信について地区やクラブ会員への認識を強固なものとして、情報発信を積極的に行える環境構築のサポートを行っていきます。

ローターアクトとの連携にて次世代へロータリー活動の認知を図っていく。

マイロータリーの登録推進と活用方法についても広く告知するよう取り組んでいきます。

㉒ 国際大会推進委員会

毎年開かれる国際大会では、世界中のロータリアンが一堂に集い、活動の成果やアイデア、体験を分かち合います。今年度も当委員会を設定して、準備を進めてゆきたいと考えております。

奉仕プロジェクトに関する委員会

㉓ 奉仕プロジェクト委員会

職業奉仕、国際奉仕、地域社会奉仕と青少年プログラム以外の青少年奉仕は、それぞれ

れ単独の事業ではなく、深くかかわりあっています。

そこで、奉仕の分類ではなく、ロータリーの七つの重点分野、平和の推進、疾病との闘い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地域経済の成長、環境の保護を意識した奉仕活動に繋がることを意識してプロジェクトの立案を行っていただくようクラブをサポートします。

奉仕プロジェクトの事例紹介、他団体の活動、ロータリー月間に因んだ月信投稿や各種情報発信を行うことでクラブを支援してゆきたいと思います。

青少年奉仕プログラムに関する委員会

②④ 青少年交換委員会

ロータリーは、青少年交換を通じて、若者のエンパワメントを図り、リーダーシップの力を育成し、世界の理解と平和を推進しています。

青少年交換は、15～19 歳の学生が海外に滞在し、留学する機会を提供するもので、2ヶ国のロータリーの地区・クラブで行われる交換（派遣・受入）プログラムです。

長期交換（約1年）と短期交換（約1ヶ月）があり、学生はお互いの国のホストファミリー宅に滞在しながら現地の学校に通います。

当地区では、毎年、長期交換3名程度、短期交換2名程度の実績があります。

また近年は、身体的、性的、精神的な虐待から青少年を守ることも重要な役割となっております。

交換先との連絡調整や保険、予防接種など、委員の負担が大きいため、負担の軽減、委員会内での情報の蓄積を図ってゆきたいと考えております。

②⑤ インターアクト委員会

インターアクトは、12～18 歳までの青少年が、地元や学校で同じ世代の若者と知り合い、リーダーシップのスキルを培うことのできるプログラムです。

当地区では、15の提唱ロータリークラブにより、県内15の高等学校にそれぞれインターアクトクラブが存在し、日々の活動を実践するとともに、例年7月にインターアクト年次大会を開催しています。

また、毎年、国際交流事業として、台湾インターアクトクラブとの一泊ホームステイを含んだ相互交流を行っています。

日頃の活動は、学校のクラブ活動の1つのような位置づけで指導教師も存在することから安定的な活動が行われております。一方で、インターアクト提唱クラブ以外の関心が必ずしも高くないのが現状です。

②⑥ ローターアクト委員会

ローターアクトは、18 歳以上の若者が集まり、地域社会でボランティア活動を行い、交流を深めながら、リーダーシップのスキルを培うことのできるプログラムです。

当地区ではローターアクトクラブが8クラブあります。ローターアクトクラブは、毎月数回例会を行うなど、単体のクラブとしての活動とともに、他地区のローターアクトクラブとの交流もあり、当地区では、例年2月に地区年次大会を開催しています。

RI におけるローターアクトクラブの地位が変更されました。まだまだ移行期間と感じていますが、共に学び、活動することが重要と考えています。

②⑦ RYLA・学友委員会

RYLA（ロータリー青少年指導者育成）は、若いリーダーを育て、ネットワークを築き、アイデアを広げ、行動を起こすよう、若者の意欲を高めるためのプログラムです。

当地区では、RYLA（ライラ）研修セミナーを開催しており、年1回、青少年を対象として実施され、ロータリアンの参加は関係者のみとなっているため、地区全体のロータリアンの認知を必ずしも十分受けていないものと思われます。

運営につきましてもホストクラブにお任せしている部分が多いため、今年度は可能な限り、企画段階から協議を重ね、地区全体に周知できるよう、効果的な運営を目指した

いと考えております。

学友に対しましては、クラブと協力して、毎年輩出される学友の名簿作成を行うとともに、地区大会等における学友の発表等も担当して頂きます。

他地区共同プログラム

② 米山記念奨学委員会

日本で学ぶ私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源として奨学金を支給し支援する、日本国内 34 地区の多地区合同プログラムです。

二度と戦争を起こさないという国際親善の視点から始まった米山記念奨学制度も、今日では、毎年約 900 名を超す米山記念奨学生を支援するまでに成長し、当地区では寄付実績も全 34 地区中有数の実績があり、寄付実績に応じて割り振られる奨学生も、本年度は 29 名となっております。

活動としては、指定校の選考に始まり、新規の奨学生の選考、世話クラブのカウンセラーに対するセミナーの他、米山学友会の総会等も開催されています。

現在、本制度に対して様々な意見があることも承知しています。日本全域で実施されている実績あるプログラムであることも踏まえて、地区内会員に理解を得られるよう努めます。

H. 地区行事

1. 「会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー」

3 月 15 日（日） 磯部ガーデンにて開催。

2. 「クラブリーダーシップ・ラーニング・セミナー」

各クラブの新年度指導者研修を目的にしています。5 月 16 日（土）安中市文化センター、並木苑にて開催。ホストクラブを碓井安中ロータリークラブにお願いしています。

3. 「地区大会」

4 月 25 日（日）群馬音楽センター、ホテルメトロポリタン高崎にて開催。

前日 4 月 24 日（土）はホテルメトロポリタン高崎にて地区リーダーシップセミナーと RI 会長代理歓迎晩餐会を開催いたします。

4. 「地区大会記念ゴルフ大会」 （未定）

I. その他の事業

以下の事業の開催をお願いいたします。詳細につきましては、改めてお示しさせていただきます。

1. 世界ポリオデー

10 月 24 日（土）の世界ポリオデーの事業は、ポリオ例会、ポリオウィーク、ポリオ月間等、開催時期と内容は柔軟に考えていただいて結構です。

クラブ単位、分区分単位で、ポリオ根絶に向けたロータリーの活動の歴史、現状への理解を深めるための事業をお願いします。

あわせて、世界ポリオデーイベントのフォトコンテストが全国のクラブ対象に行われますので、ロータリアン、インターアクト、ローターアクトの参加できるイベント、対外的にポリオ根絶活動への理解、公共イメージ向上に効果のあると思われるイベントもご検討ください。

2. ロータリーデー

分区分単位の相手の見える、地域にとって価値ある奉仕活動をお願いいたします。

3. IM（インターシティミーティング）

地区内クラブの奉仕活動の事例は、報告書になっていますし、HPにも掲載されています。各分区内のロータリー以外の奉仕団体を招いて、組織、奉仕事業の内容など活動を知ること、新たな奉仕プロジェクトのヒントを得ることができるかもしれません。対象となる団体をリサーチすることによりクラブの奉仕活動のパートナーを見出すこともできません。また、将来のロータリアンを発掘できる可能性もあると考えます。

研修とあわせて懇親会の開催をお願いします。

J. ガバナーエレクト（2027-2028 年度） 湯澤 晃（前橋北ロータリークラブ）

K. ガバナーノミニー（2028-2029 年度） 未定

国際ロータリー第2840地区 2026－2027年度

委員会事業計画

01	ガバナー指名委員会	中野 正美
02	地区運営連絡会議	竹中 隆
03	ロータリーアクト地区連絡協議会	飯塚もも子
04	地区財務委員会	小板橋 桂
05	地区特定資産管理委員会	森田 高史
06	地区事業検討特別委員会	森田 高史
07	ガバナー事務所管理運営委員会	足立 進
08	地区ラーニング・管理運営委員会	田中 久夫
09	R L I 推進委員会	新井 良和
10	地区戦略計画委員会	保坂 充勇
11	審議会立法案検討委員会	足立 進
12	危機管理委員会	足立 進
13	ロータリーの友地区委員会	後藤 圭一
14	ロータリー財団監査委員会	保坂 充勇
15	ロータリー財団委員会	小林 洋樹
16	ポリオプラス・資金推進委員会	水石 清治
17	資金管理・平和フェロシップ委員会	上柿 敬一
18	地区補助金委員会	唐沢 健二
19	グローバル補助金委員会	石川 好男
20	地区行動計画推進委員会	田中 久夫
21	会員組織強化委員会	中野 正美
22	参加意欲向上委員会	星野 儷日
23	公共イメージ・ICT 推進委員会	田嶋 宏樹
24	国際大会推進委員会	小林 聡
25	奉仕プロジェクト委員会	島田 渉
26	青少年交換委員会	新井 聡
27	インターアクト委員会	田原 明岬
28	R Y L A ・学友委員会	藤澤 真史
29	ロータリーアクト委員会	青山 豊
30	米山記念奨学委員会	矢内 良春

ガバナー指名委員会

委員長	中野 正美（太 田 R C）	委 員	山田 邦子（前 橋 R C）
副委員長	保坂 充勇（沼 田 R C）	委 員	足立 進 （前橋東 R C）
		委 員	森 末廣 （桐 生 R C）

1. 委員会の役割

ガバナー指名委員会の役割は、当地区のガバナー候補者を選出することです。

R I 細則にある規定に従い、公正な手順を踏んで当年度のガバナーノミニーデジクネートを選出します。当地区は、選出方法として、従来から地区大会決議により指名委員会方式を採用しており、選出された候補者は、ガバナーノミニー、ガバナーエレクトを経て、ガバナーに就任します。

当委員会に課せられた重大な職責を果たすべく、慎重に選任手続を進めます。

2. 今年度の選出手順とスケジュール

① ガバナーノミニーデジクネートの推薦依頼を各クラブに発出

8 月中に 2026.12.31 を提出期限とする推薦依頼を行います。

② 指名委員会の開催

必要に応じて、適時、当委員会を開催します。

③ 候補者審査会の開催

応募者に対し、面談形式による審査会を開催します。

④ 指名の公表

指名委員会は、選出した候補者を選出後 24 時間以内にガバナーに通知します。

ガバナーは、通知を受けてから 3 日以内に各クラブへ書面で通知します。

3. 各クラブへのお願い

ガバナーになること、また、クラブとしてガバナーを輩出することは大変な面はありますが、とてもやりがいがあることで、クラブが更に発展する機会となります。これまでにガバナーを輩出したクラブだけでなく、むしろ、まだ輩出経験のないクラブこそ、新たなロータリーの地平を切り開いていただきたいと思います。

次代の地区リーダーの選出にご協力をお願いします。

地区運営連絡会議

委員長	竹中 隆（高崎北 R C）	委 員	廣木 晴久（前橋北 R C）
副委員長	湯澤 晃（前橋北 R C）	委 員	小板橋 桂（安 中 R C）
委 員	森 末廣（桐 生 R C）	委 員	平田 稔（高崎北 R C）
委 員	<ガバナーノミニー>	委 員	荻野 純一（前橋北 R C）
委 員	櫻井 正晴（安 中 R C）		
委 員	樋口 哲雄（高崎北 R C）	担当幹事	櫻井 正晴（安 中 R C）

1. 当委員会の役割

地区運営や地区事業、地区委員会活動について、連年のガバナーの間で一定の協議をし、次年度以降へ共有することによって、ロータリーの人事、予算の単年度制を補完します。

2. 委員会活動の現状認識

直前ガバナー、ガバナーより、ガバナーエレクト及びガバナーノミニーに、地区運営や地区事業については伝達できていると考えていますが、地区委員会事業等の細部については、委員会内での引継ぎに頼っている部分が大きいと感じています。

3. 委員会事業計画

実施された事業の結果を検討し、今後に向けて、より効果的な地区運営ができるよう協議を行っていきます。変えた方がよい事柄や、変えない方がよい事柄を、根拠や経緯を十分協議する中で、可能な限り地区運営の連続性を確保したいと考えております。

より効率的な地区活動になるよう、地区の委員会等の組織、地区予算の検討を行います。

4. 目標

より効果的な地区運営や地区事業が実施されることです。ガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニー・ガバナーノミニーデジグネートの来るべき自らの年度の事業計画や予算立案等の地区運営に資するものとする。

5. タイムスケジュール

2026 年 6 月～7 月頃	第 1 回会議
2026 年 10 月～11 月頃	第 2 回会議（ガバナーエレクト主催会合前）
2027 年 2 月～3 月頃	第 3 回会議
2027 年 5 月～6 月頃	第 4 回会議

ローターアクト地区連絡協議会

アドバイザー	青山 豊 (桐生西 RC)	委員 (会長)	加藤 智之 (前橋南 RAC)
議長 (地区代表)	飯塚もも子 (高崎北 RAC)	委員 (会長)	栗崎 紀誠 (桐生 RAC)
副議長 (地区幹事)	羽鳥 昇汰 (伊勢崎 RAC)	委員 (会長)	グエン・ヴァン・チン (桐生西 RAC)
委員 (会計)	信澤祐太朗 (沼田 RAC)	委員 (会長)	松崎 真祐 (伊勢崎 RAC)
委員 (代表補佐・会長)	横山 広樹 (前橋 RAC)	委員 (会長)	グエン・ゴック・フエン (高崎北 RAC)
委員 (地区副幹事)	堀江 翔太 (沼田 RAC)	委員 (会長)	竹部 将史 (太田 RAC)
委員 (全国大会実行委員長)	片桐 正人 (前橋 RAC)	委員 (会長)	中澤 翔 (沼田 RAC)
		担当副幹事	飯島 岳史 (安中 RC)

1. 協議会の使命・役割

本協議会は、地区内 8 ローターアクトクラブ間の連携を強化し、地区ローターアクトとしての価値向上と持続的発展を実現するための中核機関となる。あわせて、地区ローターアクトおよび各クラブの主体性を尊重しつつ、地区ローターアクト委員会および地区ロータリーとの協働を推進する。

- ・地区内 8 クラブ間の連絡調整および情報共有の促進
- ・各クラブが受給する補助金を活用した合同事業の企画立案および実施に係る調整
- ・地区主催行事（年次大会等）の企画・運営および地区内調整
- ・第 39 回全国ローターアクト大会への協力・支援ならびに全国大会実行委員会との連携
- ・地区ローターアクト委員会および地区ロータリーとの連携の強化
- ・ローターアクト振興事業費および年次大会協力金の執行における適正管理と透明性の確保

2. 協議会活動の現状認識

- ・これまで地区ローターアクト連絡協議会は、地区ロータリー組織上に位置付けられていたものの、目的や役割、責任体制が十分に明確でなく、地区全体の連携機能を十分に発揮しているとは言い難い状況にあった。
- ・本年度より、本協議会はガバナー直下の正式組織として再編する。
- ・構成員は地区ローターアクト役員および各クラブ会長とする。
- ・議長は地区ローターアクト代表、副議長は地区ローターアクト幹事が務める。

3. 協議会事業計画

- ① 地区ローターアクト活動方針の各クラブへの共有 (7 月)
- ② ガバナー公式訪問に伴う 8 クラブ合同例会の実施 (7 月)
- ③ 各クラブの現状および活動方針の共有 (7 月)
- ④ 各クラブが受給する補助金を活用した合同事業の実施に係る調整
- ⑤ 第 39 回全国ローターアクト大会への全面協力

4. 目標

- ・各クラブの安定化と継続性向上
- ・会員増強
- ・公共イメージ向上
- ・地区ロータリーとの密接な連携と情報交換
- ・クラブ間の横断的なつながりの強化
- ・次世代リーダーの育成
- ・持続可能な運営体制の構築
- ・地区としての発信力の強化（情報発信・広報の充実）

5. タイムスケジュール

- ・ローターアクト地区連絡協議会（原則月 1 回）
- ・2026 年 7 月 地区ローターアクト決起集会
- ・2026 年 7 月 ガバナー公式訪問 8 クラブ合同例会
- ・2026 年 11 月～2027 年 3 月 8 クラブ合同補助金事業
- ・2027 年 3 月 第 39 回全国ローターアクト大会
- ・2027 年 6 月 第 25 回地区 RA 年次大会

6. 事業予算

収入		支出	
ローターアクト振興事業費	1,319,500	分担金（関東ブロック研修会）	30,000
ローターアクト年次大会協力金	175,000	分担金（群馬・新潟合同行事）	50,000
		分担金（第一地域会議）	10,000
		第 39 回全国 RA 大会実行委員会繰出金	100,000
		地区役員活動費	500,000
		地区アドバイザー活動費	40,000
		会員増強活動費	50,000
		地区行事費	100,000
		地区補助金事業関係費	30,000
		年次大会実行委員会繰出金	400,000
		クラブ活動促進助成費	80,000
		会議費	30,000
		雑費	50,000
		予備費	24,500
合計	1,494,500	合計	1,494,500

●地区ローターアクト年間予定表

年	月	日	曜日	行事	場所
2026	7	18	土	インターアクト年次大会	メガネのイタガキ文化ホール
	7	19 20	日 月	飯塚年度総決起集会 8 クラブ合同ガバナー公式訪問例会 ホテル天坊見学会 第1回 RA 地区連絡協議会	伊香保温泉 ホテル天坊
	8	22	土	第2回 RA 地区連絡協議会	
	9	5	土	ロータリー財団補助金管理セミナー	前橋問屋センター会館
	9	6	日	RLI セミナーPart1	前橋問屋センター会館
	9	19	土	第3回 RA 地区連絡協議会	
	10	4	日	RLI セミナーPart2	前橋問屋センター会館
	10	17	土	第4回 RA 地区連絡協議会	
	10			群馬・新潟合同行事	新潟県
	11	1	日	8 クラブ合同地区補助金事業開始式	伊香保温泉街
	11	8	日	RLI セミナーPart3	前橋問屋センター会館
	11	21	土	第5回 RA 地区連絡協議会	
	12	12	土	RYLA 研修セミナー	桐生
	12	19	土	第6回 RA 地区連絡協議会	
2027	1	16	土	第7回 RA 地区連絡協議会 新年会	
	2	20	土	第8回 RA 地区連絡協議会	
	2	27	土	第2560地区（新潟）RA 地区大会	
	3	13	土	第9回 RA 地区連絡協議会	
	3	20 21	土 日	第39回全国 RA 大会	伊香保温泉 ホテル天坊
	4	17	土	第10回 RA 地区連絡協議会	
	4	24 25	土 日	ロータリー地区大会	ホテルメトロポリタン高崎 群馬音楽センター
	5	15	土	第11回 RA 地区連絡協議会	
	5	16	日	クラブリーダーシップラーニングセミナー （湯沢年度）	前橋商工会議所
	6	12	土	第25回 RA 地区年次大会	
	6	26	土	第12回 RA 地区連絡協議会 引継式	

地区財務委員会

委員長 小板橋 桂（安 中 RC） 委 員 平田 稔（高碓北 RC）
委 員 荻野 純一（前橋北 RC）

1. 委員会の役割

地区財務委員会は、地区ガバナーと密接に協力し、地区資金の監督、地区予算の編成、地区分担金の検討を行います。また、地区財務の透明性を保ち、収支を正確に記録すると共に、年度終了後には年次財務諸表と報告書を作成し、監査を受けた後各クラブに提出いたします。

2. 予算の作成

ガバナー及びガバナーエレクトと協力して予算を編成します。予算の編成には以下の点を考慮いたします。

- ① 地区運営に必要な経費
- ② ガバナーとガバナーエレクトの職務遂行を支えるための支出
- ③ ガバナーとガバナーエレクトが出席するクラブと地区の特別事業への支出

3. 地区分担金の設定

地区分担金は、地区の支出を賄う地区の資金源です。各クラブの負担に配慮し、年次予算に応じた適正な金額を設定いたします。

4. 年次財務諸表と報告書

地区の正確な年次財務諸表と報告書は、地区内各クラブ及び国際ロータリーに対して、財務の透明性を保証するものです。年次財務諸表と報告書の作成は地区財務委員会の最も重要な役割です。

5. その他

- ① 将来予想される特別事業の実施に備えるため、特別事業積立預金として必要な資金の準備を行います。
- ② 災害その他のリスクに備えるため、災害対策積立預金等へ適正額の充当ができるように努めます。
- ③ 次年度繰越金は、次年度の運営に支障がでない金額の範囲内とし、剰余金については、地区特定資産管理委員会の判断のもと、将来の支出に備え各積立金会計へ繰り入れます。

一般会計収支計算書

自2024年7月1日 至2025年6月30日

(単位:円)

科 目		本年度予算額 ①		6月末現在 ②		差額 ①-②	摘 要
款	項	款	項	款	項		一人当たり分担金合計 12,800円
収入の部	1. 地区事業資金	9,920,000		10,093,600		△ 173,600	2,480円×2,033人 2,480円×2,037人
	(1) 青少年交換資金		3,000,000		3,052,500	△ 52,500	750円×2,033人 750円×2,037人
	(2) インターアクト振興資金		2,600,000		2,645,500	△ 45,500	650円×2,033人 650円×2,037人
	(3) ローターアクト振興資金		1,140,000		1,159,950	△ 19,950	285円×2,033人 285円×2,037人
	(4) RYLA活動資金		1,240,000		1,261,700	△ 21,700	310円×2,033人 310円×2,037人
	(5) 公共イメージ振興基金		1,440,000		1,465,200	△ 25,200	360円×2,033人 360円×2,037人
	(5) 米山記念奨学生振興資金		300,000		305,250	△ 5,250	75円×2,033人 75円×2,037人
	(6) 寄付金収入その他		200,000		203,500	△ 3,500	50円×2,033人 50円×2,037人
	2. 地区活動資金	25,820,000		26,271,850		△ 451,850	6,455円×2,033人 6,455円×2,037人
	(1) 地区大会開催資金		9,060,000		9,218,550	△ 158,550	2,265円×2,033人 2,265円×2,037人
	(2) ガバナー他活動資金		16,760,000		17,053,300	△ 293,300	4,190円×2,033人 4,190円×2,037人
	3. 地区事務所運営資金等	15,440,000		15,730,550		△ 290,550	3,865円×2,033人 3,865円×2,037人
	(1) 地区事務所運営・地区積立預金資金		15,440,000		15,730,550	△ 290,550	3,865円×2,033人 3,865円×2,037人
	4. その他	1,110,000		1,088,308		21,692	ガバナー配分予算 7/25入金
	(1) RI助成金		1,100,000		1,075,548	24,452	
	(2) 受取利息		9,000		9,660	△ 660	
	(3) 雑収入		1,000		3,100	△ 2,100	
	当期収入合計(A)	52,290,000		53,184,308		△ 894,308	
	前年度繰越収支差額	9,969,050		9,969,050		0	
	収入合計(B)	62,259,050		63,153,358		△ 894,308	
支出の部	1. 地区事業資金	9,720,000		10,373,515		△ 653,515	
	(1) 青少年交換事業		3,000,000		2,861,491	138,509	
	(2) インターアクト振興事業		2,600,000		3,357,934	△ 757,934	
	(3) ローターアクト振興事業		1,140,000		1,140,000	0	
	(4) RYLA活動事業		1,240,000		1,206,799	33,201	
	(5) 公共イメージ振興事業		1,440,000		1,507,291	△ 67,291	
	(6) 米山記念奨学生振興事業		300,000		300,000	0	
	2. 地区活動資金	26,220,000		24,640,320		1,579,680	
	(1) ガバナー活動費		18,570,000		17,725,623	844,377	
	① 地区大会開催費		9,060,000		8,855,763	204,237	10/19～20
	② ガバナー公式訪問補助金		450,000		450,000	0	10,000円×45クラブ
	③ インターアクト年次大会協力金		150,000		150,000	0	
	④ ローターアクト年次大会協力金		175,000		150,000	25,000	
	⑤ 各種セミナー開催費		2,230,000		2,010,708	219,292	
	⑤-1 地区リーダーシップセミナー		120,000		96,340	23,660	登録料有り
	⑤-2 新会員セミナー		20,000		34,051	△ 14,051	
	⑤-3 米山記念奨学セミナー		30,000		47,108	△ 17,108	登録料有り
	⑤-4 RLI研修セミナー		620,000		738,377	△ 118,377	登録料有り
	⑤-5 IM研修セミナー		640,000		637,685	2,315	
	⑤-6 補助金管理セミナー		200,000		0	200,000	登録料有り
	⑤-7 DEIフォーラム		150,000		73,137	76,863	登録料有り
	⑤-8 危機管理セミナー		30,000		0	30,000	
	⑤-9 クラブ活性化ワークショップ		220,000		198,310	21,690	登録料有り
	⑤-10 環境保全実践活動費		200,000		185,700	14,300	
	⑥地区会合費		680,000		871,840	△ 191,840	
	⑥-1 ガバナー補佐会議		50,000		5,000	45,000	
	⑥-2 ガバナー補佐・委員長合同会議		80,000		141,440	△ 61,440	
	⑥-3 現新地区役員合同会議		450,000		625,400	△ 175,400	
	⑥-4 幹事会		50,000		50,000	0	
	⑥-5 財務委員会		50,000		50,000	0	会計監査会

一般会計貸借対照表

2025年6月30日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
(1) 現金	144,273	
(2) 普通預金	11,796,367	
(3) 未収入金	263,060	
(4) 前渡金	238,507	
流動資産合計		12,442,207
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
①第2840地区創立積立預金	14,301,674	
第2840地区創立積立預金未入金		
基本財産合計		14,301,674
(2) 特定資産		
①リスク管理積立預金	5,009,272	
②災害対策積立預金	14,627,797	
③特別事業積立預金	11,895,399	
④規定審議会補助金積立預金	0	
特定資産合計		31,532,468
固定資産合計		45,834,142
資産合計		58,276,349
II. 負債の部		
1. 流動負債		
(1) 未払金	1,447,597	
(2) 仮受金	264,000	
流動負債合計		1,711,597
負債合計		1,711,597
III. 正味財産の部		
1. 指定正味財産	0	
指定正味財産合計		0
2. 一般正味財産		56,564,752
(うち基本財産への充当額)	14,301,674	
(うち特定資産への充当額)	31,532,468	
繰越収支差額	10,730,610	
正味財産合計		56,564,752
負債及び正味財産合計		58,276,349

地区特定資産管理委員会

委員長	森田 高史（伊勢崎 R C）	委 員	足立 進（前橋東 R C）
副委員長	平田 稔（高崎北 R C）	委 員	森 末廣（桐 生 R C）
		担 当	小板橋 桂（安 中 R C）

1. 委員会開設の経緯

当地区は 2000 年に 2560 地区から分割され、2840 地区となって以来、26 年が経過しようとしております。

その後、当地区の財政としては、一般会計とは別に、分割時の創立積立預金 1,400 万円余りを含め、各種目的で長年に渡って積立てられた特別会計の残高が 4,500 万円余りとなっております。

こうした中、過年度におけるガバナー諮問委員会からのご要請もあり、今後とも特定資産が適切に管理運用されるよう、前年度において地区財務委員会を中心に「特定資産等取扱要領」（以下、「要領」という）をまとめて頂きました。

今後、将来に渡って、特定資産が安定的に維持拡大され、規律ある運用がされることを目途に当委員会が創設されることとなりました。

2. 委員会の使命と役割

前年度作成された「要領」に則り、地区財政を安定的に維持拡充し、規律ある適切な運用が行なわれることを使命とします。

3. 委員会事業計画

（1）特定資産への繰入れ

一般会計収支報告書の次期繰越収支差額が「要領」記載の金額を上廻る場合には、その超過額について、各特定資産勘定に繰入れるものとし、ガバナー及び財務委員会と協議して行います。

（2）一般会計への取崩し

上記とは逆に、次期繰越収支差額が「要領」記載の金額を下廻る場合にはその不足額について、何れかの特定資産勘定より取崩すものとし、ガバナー及び財務委員会と協議して行います。

（3）各特定資産の目的取崩し

各特定資産を各目的に応じて取崩して使用する場合には「要領」に記載されている取崩要件を遵守して使用して頂きます。

毎年のように発生する災害について、災害対策積立預金を取り崩して支援する場合には、早期の支出が要請されることから、ガバナー及び財務委員会の判断で使用してもらいますが、当委員会に報告して頂くよう要請しております。

また、取崩し額が多額となる場合には、当委員会だけではなく、時間的な余裕を持って、ガバナー諮問委員会への諮問も行なって頂くよう要請しております。

4. 目標

当地区の特定資産等が適切に管理され将来に渡った盤石な財政基盤を確立することを目標としております。

5. タイムスケジュール

2026 年 9 月～10 月	定時委員会（前年度の財務報告書が提出された後に開催）
随時開催	随時委員会（特定資産等の取り崩しの要請があった場合に開催）

<<特別会計（積立預金会計）の残高（2025 年 6 月 30 日）>>

1. 第 2840 地区創立積立預金会計	14,301,674 円
2. リスク管理積立預金会計	5,009,272 円
3. 災害対策積立預金会計	14,627,797 円
4. 特別事業積立預金会計	11,895,399 円
5. 規定審議会補助金積立預金会計	0 円
合 計	45,834,142 円

特定資産等取扱要領(案)

国際ロータリー2840 地区における基本財産及び特定資産についての取扱いを次のとおり定める。

I. 基本財産

(1) 第 2840 地区創立積立預金

基本財産としての性格から特別の事情がない限り利子を除き積立及び取崩は行わない。

II. 特定資産

(1) リスク管理積立金

1. 目的

地区事業等の実施による不測の事態の対応による支出に備える

2. 積立目標額

5,000,000 円程度とする

なお、当該積立金を元本とする利子等については積立金とする

3. 積立の方法

決算における次年度繰越収支差額が 5,000,000 円を超過した場合にガバナー及び財務委員会が決定する

4. 目的取崩の要件

特定資産管理委員会により目的記載の事態と判断された場合

5. 目的外取崩の要件

対象となる地区事業等の縮小、当該目的に優先する事態の発生、他の特定資産へ振替その他の事由により目的外の取崩を行う場合は、特定資産管理委員会の判断による

6. 運用方法

定期預金等安全確実な方法による

(2) 災害対策積立金

1. 目的

地区内外の自然災害等の復興支援事業・義援金の支出等に備える

2. 積立目標額

20,000,000 円程度とする

なお、当該積立金を元本とする利子等については積立金とする

3. 積立の方法

決算における次年度繰越収支差額が 5,000,000 円を超過した場合にガバナー及び財務委員会が決定する

4. 目的取崩の要件

特定資産管理委員会により目的記載の事態と判断された場合

5. 目的外取崩の要件

当該目的に優先する事態の発生、他の特定資産へ振替その他の事由により目的外の取崩を行う場合は、特定資産管理委員会の判断による

6. 運用方法

定期預金等安全確実な方法による

(3) 特別事業積立金

1. 目的

① 将来発生する地区の特別な事業等の支出等に備える

- ② 年度の収支差額がマイナスの場合に補てんを行う
- 2. 積立目標額
15,000,000 円程度とする
なお、当該積立金を元本とする利子等については積立金とする
- 3. 積立の方法
決算における次年度繰越収支差額が 5,000,000 円を超過した場合その超過額を積立てるものとする
- 4. 取崩の方法
決算における当年度収支差額がマイナスとなった場合、その不足額を取崩し一般会計に繰り入れるものとする
- 5. 目的取崩の要件
特定資産管理委員会により目的①記載の事態と判断された場合
但し、事前にガバナー諮問委員会へ諮問するものとする
- 6. 目的外取崩の要件
当該目的に優先する事態の発生、他の特定資産へ振替その他の事由により目的外を取崩を行う場合は、特定資産管理委員会の判断による
- 7. 運用方法
定期預金等安全確実な方法による

(4) 規定審議会補助金積立金

- 1. 目的
三年毎に開催される規定審議会の参加費用に備える
- 2. 積立目標額
1,050,000 円
なお、当該積立金を元本とする利子等については一般会計の受取利息とする
- 3. 積立の方法
各事業年度の決算において、目標額の 3 分の 1 の金額を積み立てるものとする
- 4. 目的取崩の要件
規定審議会開催年度に全額を取崩し参加費用に充当する
なお、旅行費用が発生しない場合には、会議に関する妥当な費用を支弁した上で、残金については本会計区分において保持するものとする
- 5. 目的外取崩
目的以外に取崩することはできない
- 6. 運用方法
定期預金等安全確実な方法による

III. 特定資産管理委員会

規程審議会補助金積立金以外の積立金の目的使用及び目的外取崩の決定機関としてガバナー及びパストガバナー等 4 名からなる特定資産管理委員会を設置しその任に当たる
また、必要に応じて地区戦略計画実行委員会と協議のうえ各特定資産について積立目標額の見直しを行う

IV. 積立目標額達成時の扱い

上記の取扱いの結果、各特定資産の積立目標を達成しており、次年度繰越超過差額が 5,000,000 円を超過する場合には、次年度予算において、クラブ分担金の減額を検討する。この場合には各年度で大きな増減とならないよう配慮する

地区事業検討特別委員会

委員長	森田 高史	(伊勢崎 R C)	委 員	<ガバナーノミニ>
副委員長	森 末廣	(桐 生 R C)	委 員	中野 正美 (太 田 R C)
委 員	竹中 隆	(高崎北 R C)	委 員	保坂 充勇 (沼 田 R C)
委 員	湯澤 晃	(前橋北 R C)	委 員	松崎 真祐 (伊勢崎 R A C)
			担当幹事	櫻井 正晴 (安中 R C)

1. 委員会の使命・役割

地区内 42 クラブが実践している奉仕事業の現状を調査し、今後一層充実した事業となるよう活動していくことを使命といたします。

特に複数のクラブや分区単位で活動を行っている実情なども掌握し、地区内奉仕事業を地域社会に一層認識して頂く一助としたいと思います。

また、大きな単位となっている活動については、将来的に当地区を代表する奉仕事業となるよう協力していきたい。

上記の活動を通じて地区内のクラブ間の連携を一層深めていきたいと考えております。

2. 委員会活動の現状認識

当委員会は 2 年目となる竹中ガバナーの要請により開設された特別委員会であり、一定年度内に目的を達成することを目途に、本年度は地区内各クラブの奉仕事業の現状を掌握することに努めたい。

3. 委員会事業計画

- ① 地区内 42 クラブのクラブ現況報告書を分析し、各クラブの奉仕事業を取りまとめる
- ② クラブ単独ではない活動についても、ヒアリングや IM への出席などを通じて実情を把握する
- ③ 上記を通じて、将来的に地区を代表する奉仕事業の芽を見極め、一層充実した事業となるよう協力する

4. 目標 ・将来地区を代表する奉仕事業を育ててきたい

5. タイムスケジュール

- ① 年度開始前に委員会を開催し、第 1 四半期を目途に各クラブの奉仕事業の実情を取りまとめる
- ② 第 2 四半期以降、アンケートやヒアリング、または奉仕事業をテーマとする IM への出席などを通じて、各事業の主催者としての意向を掌握する
- ③ 第 3 四半期以降、各クラブの事業も含め将来的に地区事業となり得る事業を検討する。

ガバナー事務所管理運営委員会

委員長	足立 進（前橋東 R C）	委 員	樋口 哲雄（高崎北 R C）
副委員長	森 末廣（桐 生 R C）	委 員	廣木 晴久（前橋北 R C）
委 員	櫻井 正晴（安 中 R C）	委 員	＜ガバナー地区幹事＞
委 員	小坂橋 桂（安 中 R C）	担当幹事	櫻井 正晴（安 中 R C）

1. 当委員会の役割

当地区のガバナー事務所は前橋問屋センター会館内に固定設置されています。事務所には専任の事務局員の入山こず江さんと佐藤由紀恵さんの2名が在籍し、各種の事務業務を担当し、地区のロータリー活動の下支えをしています。

ガバナー事務所の管理運営責任者はガバナーですが、当委員会は、事務局員が適正に業務ができるように環境を整え、また、事務局員に過度な負担が掛からないよう必要な調整を行い、事務所運営に問題が発生した場合に適切に対応します。

2. 委員会の構成

当委員会は、パストガバナーと現・次の地区幹事、地区会計長で構成されています。

3. 事務局員が行う業務事項

以下の業務の遵守が求められます。

- ① 定時〔9：30〕出勤と定時〔17：30〕退勤（残業無を目標とします）
- ② 残業・有休取得申請手続の遵守
- ③ 業務日報の送信

4. ロータリアンに求められる行動

- ① 企画・立案・地区行事で使用する資料作成などはロータリアンにて行うようにして下さい。
- ② 書類の印刷等は、実際に事務局に依頼しても対応が間に合わないことがあるので、余裕をもって依頼するようにして下さい。
- ③ 地区大会を除き、休日出勤の依頼はしないで下さい。また、地区大会への出勤を依頼する場合は、代休日を予め指定し振替休日扱いにして下さい。
- ④ 地区事務やロータリー関係の事務について不明な点があれば、事務局員に照会して下さい。手助けになると思います。

5. 「ガバナー事務所管理運営規程及びマニュアル」と「委員会・ガバナー事務局業務分担表（A）」の活用

当地区は、2017年に「ガバナー事務所管理運営規程及びマニュアル」を策定し、それに基づき管理運営がなされています。また、具体的な事務分担については「委員会・ガバナー事務局業務分担表（A）」が作成され、地区幹事・会計長・地区副幹事と事務局担当者の委員会・セミナー等の担当については「地区幹事・会計長・地区副幹事・事務局業務担当（B）」が作成され、

これらに基づき運営がなされています。

「委員会・ガバナー事務局業務分担表（A）」を 70 ページに示す。

「地区幹事・会計長・地区副幹事・事務局業務担当（B）」を 136・137 ページに示す。

6. 事務局員相互間における業務ローテーションの実施

入山さん、佐藤さんとも長年勤務をされており、豊かな経験や実績をお持ちですが、将来的なリスクに備え、全ての業務に精通していただき、担当事務に偏りがないよう業務ローテーションを実施します。

〔 2026-2027 年度 委員会・ガバナー事務局業務分担表（A）〕

		委員会 委員長 副委員長 委員	担当 副幹事	ガバナー	ガバナー 事務局
1	企画案協議	◎	◎	◎	—
2	プログラム・次第作成	◎	○	△	—
3	会場手配	◎	○	—	△ (前橋問屋センター会館のみ)
4	案内文	委員会・セミナー	◎	○	—
5	作成	出欠システム申請者	◎	○	—
6	案内文	委員会・セミナー	○	○	◎
7	配信	出欠システム	○	○	◎
8	出席者名簿の作成	◎	○	—	△
9	配布資料の作成	◎	○	△	—
10	配布資料のコピー	○	○	—	◎
11	受付	◎	○	—	—
12	司会・進行	◎	○	—	—
13	議事録作成	◎	○	—	—
14	月信への掲載記事作成	◎	○	—	—
15	月信を HP ～ UP	○	○	—	◎

※ ◎：主管として担当 ○：副主管として担当 △：必要に応じサポート

地区ラーニング・管理運営委員会

地区ラーニングファシリテーター

委員長	田中 久夫（高 崎 R C）	委 員	小磯 正康（前橋中央 R C）
副委員長	森田 高史（伊勢崎 R C）	委 員	新井 良和（伊勢崎 R C）
副委員長	中野 正美（太 田 R C）	委 員	飯田 知義（大 泉 R C）
委 員	森 末廣（桐 生 R C）	委 員	津久井 功（沼 田 R C）
委 員	湯澤 晃（前橋北 R C）	担当副幹事	小日向和博（安 中 R C）
委 員	<ガバナーノミニ>		

1. 当委員会の役割

当委員会の役割は、当年度のガバナーを補佐して、クラブや地区のリーダーに対する「研修」を企画したうえ、その内容はガバナーの意図する目標を達成するために構成され、その実現を支援することです。いわば、委員会の立ち位置はガバナーの参謀役（相談役・助言役）です。

「研修」は、数年前から始められた「トレーニング（training）からラーニング（learning）へ」の変化に対応して、上から目線の教育的対応を改め、参加者を主体（学習者が主体的に学びを進め、深める）とする、講師とのフラット（対等）な学習環境や活動を設定することを目指しています。

2. 地区研修・管理運営委員会の任務

当年度の委員会の任務は、以下の地区主催の各種セミナーの開催・企画・運営です。

- ① （年度開始前に）ガバナーエレクトと協力し、以下のラーニング・ニーズに対応する。
 - i）ガバナー補佐のラーニング（数回）
 - ii）地区チーム・ラーニングセミナー（DTLS）（2月）
 - iii）会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー（PELS・SELS）（3月）
 - iv）ローターアクト指導者育成ラーニングセミナー（4月）
 - v）クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー（CLLS）（5月）
 - vi）クラブ管理運営セミナー（5月）
- ② ガバナーと協力し、以下のラーニング・ニーズに対応する。
 - i）地区リーダーシップ・セミナー（4月・地区大会1日目）
 - ii）クラブ活性化ワークショップ（8月）
 - iii）新会員セミナー（年度内2回開催を考えています）

3. その他

クラブ活性化につながるクラブ支援や地区の各委員会主催のセミナー支援も当委員会の重要な役割と考えています。各クラブに置かれた「クラブ・ラーニングファシリテーター」、各地区委員会委員長と連携してクラブや地区委員会のラーニング体制を支援し、要請があればラーニング講師の派遣（出前卓話）も行います。

RLI推進委員会

アドバイザー	竹内 正幸	(太 田 R C)	副委員長	原 敬	(伊勢崎 R C)
委員長	新井 良和	(伊勢崎 R C)	委 員	林 史泰	(高崎北 R C)
			担当副幹事	三澤 俊之	(安 中 R C)

1. 委員会の使命・役割

会長エレクト・次年度幹事に RLI セミナーを受けていただくことにより、よりロータリーの理念を理解していただき、次年度のクラブ運営にリーダーシップを発揮していただくことを期待しています。また 2023 年にトレーニングからラーニングへと研修スタイルが移行しましたが、RLI セミナーでの経験を活かし、クラブ内研修、特に新会員セミナーや次世代リーダーの研修にこの RLI 方式を取り入れていただき、参加者のロータリアンとしての成長を促し、さらなるクラブの活性化を目指して欲しいと考えています。

2. 委員会活動の現状認識

近年、各クラブからファシリテーターを推薦していただき、ファシリテーター不足を解消でき Part I から PartIII までの 3 回のセミナーを順調に開催しております。今年度も引き続きファシリテーターの推薦をお願いしたいと考えています。また今まで参加者から次年度幹事の時に修了しているのに会長エレクト年度にまた受講しなくてはならないのかとの問い合わせをいただいておりますが、明確なルールがなく参加要請をしてまいりました。今後、委員会としては受講から 5 年以上経過した方にはカリキュラムの変更もありますので再受講をお願いしたいと考えております。また、会長エレクト・次年度幹事以外の受講希望者にも参加を促してまいります。

3. 委員会事業計画

- ① ファシリテーター研修会ならびに RLI セミナー Part I から PartIII までを計画・実施致します。また卒後コースの開催にも協力致します。
- ② RLI 経験者のファシリテーターを各クラブから 1 名以上の推薦をお願い致します。RLI セミナーでのファシリテーターの経験を各クラブのラーニングで発揮できるよう支援致します。
- ③ 各クラブから RLI 方式の研修開催の協力要請があった場合には可能であれば委員を派遣します。

4. 目標

各クラブを代表する参加者に、より質の高い学びの場を提供し、一層のロータリーへの理解を深めていただき、クラブまたは地区の活性化に尽力いただけることを期待致します。

5. タイムスケジュール

- 8 月 8 日 (土) 13:00～ RLI ファシリテーター研修会 (前橋問屋センター会館)
- 9 月 6 日 (日) 9:30～ RLI セミナー Part I (前橋問屋センター会館)
- 10 月 4 日 (日) 9:30～ RLI セミナー Part II (前橋問屋センター会館)
- 11 月 8 日 (日) 9:30～ RLI セミナー Part III (前橋問屋センター会館)

地区戦略計画委員会

委員長	保坂 充勇 (沼 田 R C)	委 員	櫻井 正晴 (安 中 RC)
副委員長	森 末廣 (桐 生 R C)	委 員	廣木 晴久 (前橋北 RC)
副委員長	竹中 隆 (高崎北 R C)	委 員	津久井 功 (沼 田 RC)
副委員長	湯澤 晃 (前橋北 R C)	委 員	飯塚もも子 (高崎北 RAC)
委 員	<ガバナーノミニ>	担当副幹事	三澤 俊之 (安 中 RC)

1. 第5期地区戦略計画の推進(2026-2029)

当地区は2013-2014年度(本田年度)より、3ヶ年毎に戦略計画を策定し、本年度は第5期戦略計画(2026-2029)のスタート年度となります。

本年度、当委員会は、戦略計画の推進を行うことを地区・クラブに推奨するとともに過去10年の実績を時系列の比較検証を通じて今後の計画立案に向けた準備を行いたいと思います。

2. 委員会事業計画

① 地区運営における持続可能性のサポート

当委員会は、ガバナーはもちろん、直前のガバナーとともに、これからのガバナー候補者(DGE、DGN、DGND)と地区代表幹事等で構成されており、ロータリーの行動計画を推進し、地区運営における継続性を重視すると共に、RI 会長オラインカ・ハキーム・ババロラ氏が強調した「人生を変えるような持続可能なインパクトを生み出そう」にも対応したいと思います。

② クラブ戦略計画への支援

今回、各クラブの会長、会長エレクト、会長ノミニーとご協議の上、「10年後どのようなクラブ」にしたいか、また「その為に最も必要なことは何ですか」というアンケートを実施し、全クラブよりご回答いただきました。大変ありがとうございました。その内容を分析し、全42クラブがそれぞれの果たすべき戦略計画を実施し、その目標を達成できるよう支援していきます。そのため、各クラブでも、地区同様、戦略計画の検証と定期的な改定を行って頂きたいと思います。

また、各種のセミナーにおいて、クラブ戦略計画の重要性を説き、その効果的な計画実践を推奨してまいります。

審議会立法案検討委員会

アドバイザー	曾我 隆一（前 橋 R C）	委 員	大木 孝之（伊勢崎東 R C）
アドバイザー	本田 博己（前 橋 R C）	委 員	井汲 憲治（高崎シンフォニー R C）
委員長・地区代表議員	足立 進（前橋東 R C）	委 員	荻原 丈始（新 田 R C）
副委員長	中野 正美（太 田 R C）	委 員	小暮 雅丈（館 林 R C）
委 員	竹中 隆（高崎北 R C）	委 員	齋藤 清海（渋 川 R C）
委 員	菊川 善明（前 橋 R C）	委 員	小貫 智太郎（藤岡南 R C）
委 員	草処 晋一（桐生赤城 R C）	委 員	青山 豊（桐生西 R C）
		担当副幹事	櫻井 誠（安 中 R C）

1. 規定審議会と決議審議会について

国際ロータリーは、ロータリーの組織や在り方、運営について、私たちのクラブや地区の意見を反映させる制度として規定審議会と決議審議会を設けています。

- ① 規定審議会は、国際ロータリーの立法機関であり、3年毎にアメリカのシカゴで開催され（次ぎの開催は2028年4月）、世界中のクラブや地区などから提案された組織規定を改正する制定案を審議します。採択された制定案は規定審議会後の7月1日に効力が生じます。
- ② 決議審議会は、R I 理事会等に対する意見表明や要請を内容とする決議案を審議します。規定審議会と異なるのは、毎年招集されること、審議はされずにオンラインの投票で採否が決まること、決議案が採択されても R I 理事会等は実施を否決できることがあります。

2. 当委員会の役割

私たちのクラブと地区は、規定審議会に上程する制定案と決議審議会に上程する決議案を提案することができます。ただ、それには地区大会やクラブリーダーシップ・ラーニングセミナーで地区の承認を受けることが必要であり、また、それぞれ提出の締切日が決まっていて、制定案は2027年3月1日までに、決議案は毎年6月30日までに提出される必要があります。

当委員会は、クラブからの提案を補助し、また、地区として提案する場合は当委員会が調整やまとめをして、地区の承認を得られるよう準備します。

3. 委員会の構成

当委員会は、地区の審議会代表議員がその3年の任期中委員長を務め、副委員長は補欠議員が務めます。また、委員に毎年度のガバナー補佐にお願いし、加えて、経験豊富な曾我パストガバナー、本田パストガバナーにアドバイザーをお願いしています。

4. 事業計画

- ① 2026年の決議審議会に提出する決議案を準備し、6月30日までに R I に提出すること
- ② 同年の決議審議会に参加し、その結果をクラブに報告すること
- ③ 次回の規定審議会に提出する制定案を準備し、2027年3月31日までに R I に提出すること

危機管理委員会

委員長	足立 進（前橋東 R C）	委 員	藤澤 真史（桐生赤城 R C）
副委員長	山田 邦子（前 橋 R C）	委 員	青山 豊（桐生西 R C）
委 員	新井 聡（前橋西 R C）	委 員	矢内 良春（伊勢崎南 R C）
委 員	田原 明岬（伊勢崎南 R C）	担当副幹事	新井 祥文（安 中 R C）

1. 委員会活動の歴史と役割について

ロータリーが主催するプログラムには、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、RYLA、米山奨学など青少年が当事者として活動するものが多くありますし、また、奉仕活動の対象となる青少年も多くいます。そうした活動に参加し、関与した青少年が、事件や事故、各種ハラスメント等の被害を免れ、万が一、そうした被害が発生した場合は被害を最小限に抑え、また、被害回復に尽くす活動をする目的で組織されたのが当委員会です。

当委員会の活動実績として、交換留学生に対するセクハラ被害への対応、2011 年東日本大震災の際の交換留学生の帰国問題への対応、2020 年新型コロナウイルス蔓延防止に対する提言に加え、危機管理の講演や勉強会の実施があります。

また、昨今、各種ハラスメントの防止が社会的な課題となっていますが、ロータリーにおいても 2019 年に「会合、行事、または活動におけるハラスメントのない環境」が理事会で決定されています。ロータリアンに違反行為がある場合、地区として迅速に調査・審査し、必要な対応をするのも当委員会の役割です。

2. 委員会の構成

当委員会は、地区の青少年交換委員会、インターアクト委員会、RYLA・学友委員会、ローターアクト委員会、米山記念奨学委員会の委員長らで構成されています。

3. 事業計画

- ① ガバナー及び地区の青少年関係委員会等に対し、必要な提言を行うこと
- ② 青少年に対するセクハラ等のハラスメント防止に関する研修を行うこと
- ③ 問題が発生した場合に迅速に調査を開始し・適時・適切な対応を行うこと
- ④ 調査の結果を踏まえ、ガバナーや関係機関に対し、必要な報告や提言を行うこと
- ⑤ 地区のロータリークラブやロータリアンに向けてロータリーの危機管理の講演やセミナーを実施すること

ロータリーの友地区委員会

委員長	後藤 圭一	(桐 生 R C)	委 員	櫻井 正晴	(安 中 R C)
副委員長	樋口 哲雄	(高崎北 R C)	委 員	廣木 晴久	(前橋北 R C)
			担当副幹事	新井 祥文	(安 中 R C)

1. 委員会の使命・役割

広く機会を求め、地区内会員への「ロータリーの友」誌およびその他の出版物の広報ならびに活用促進活動に努める。そのために、地区雑誌委員長会議に協力し、各クラブに「ロータリーの友」誌への理解を深めていただき、読書率向上と活用促進を呼びかける。

2. 委員会活動の現状認識

「ロータリーの友」誌の購読はロータリアンの三大義務の一つであります。読書率を今まで以上に向上するにはどうしたらいいかを深く考えて活動していきたい。内容の充実のための情報収集はもちろん、地区大会等の各種会合に参加し、刊行物に対しての理解度を高める活動に努める。

3. 委員会事業計画

- ・毎月発行の「ロータリーの友」誌について、意見や感想をレポートとして友編集部へ提出
- ・地区ならびに地区内ロータリークラブの活動状況の収集またそれに基づく編集部取材に協力
- ・「ロータリー手帳」「広報誌 ROTARY 地域と歩む友と歩む」などの刊行物について建設的な提言を行い、その活用促進を図る。」

4. 目標

- ・地区内すべての会員が「ロータリーの友」誌の発行を心待ちにするよう、編集部と連携し、内容の充実に協力する。
- ・「ロータリーの友」誌の翌月号目次を各クラブに事前に配信し読書率の向上に努める。
- ・ガバナー月信に「ロータリーの友」誌への投稿遺体文を掲載する。
- ・ロータリアン以外の方にロータリー活動を知っていただくためのツールとして有効活用する。

5. タイムスケジュール

2026 年 3 月 19 日(木)	2026-27 年度地区代表委員オリエンテーション
2026 年 7 月 1 日(水)	友委員会合同会議・地区代表委員会議 2026-27 年度ガバナー・「友」委員会・法人合同会議
2026 年 11 月 20 日(金)	友委員会合同会議・地区代表委員会議
2027 年 3 月 9 日(金)	友委員会合同会議・地区代表委員会議

ロータリー財団監査委員会

委員長 保坂 充勇（沼田 R C）

副委員長 桂川 淳（高崎東 R C）

財団資金の運用は公明かつ公正に行われなければなりません。ロータリー財団委員会の中には資金管理委員会がありますが、当委員会はロータリー財団委員会の外からの監査機能を果たしてまいりたいと思います。

地区補助金等の資金使途や方法について、ロータリー財団委員会の相談に乗ると共に適切なアドバイスをしてゆきたいと思います。

ロータリー財団委員会

アドバイザー	森田 高史	(伊勢崎 RC)	委員	上柿 敬一	(伊勢崎中央 RC)
委員長	小林 洋樹	(前橋 RC)	委員	唐沢 健二	(中之条 RC)
副委員長	石井 英智	(前橋南 RC)	委員	石川 好男	(太田 RC)
委員	水石 清治	(沼田 RC)	委員	片桐 正人	(前橋 RAC)
			担当副幹事	佐藤 宗孝	(安中 RC)

1. 委員会の使命・役割

ロータリー財団は、ロータリアンからの寄付で支えられ、ロータリアンが特定したプロジェクトに資金を提供する唯一の団体です。ロータリアンは様々な方法で人々への奉仕を行います。ロータリー財団はロータリアンが行う奉仕を支えています。

2. 委員会活動の現状認識

- ・地区内クラブの更なる活性化に役立つよう、補助金は最大限利用に従事する。
- ・プロジェクトの資金源である財団寄付への理解を深めて頂き、更なる増進を図る。
- ・各クラブの積極的な奉仕活動を共有し、併せて公共イメージの向上を目指す。
- ・財団委員会はクラブ目線での親切的対応に努める。

3. 委員会事業計画

- ・ローターアクトクラブでの単独地区補助金事業へのバックアップ
- ・世界ポリオデー (WPD) の推進
- ・補助金の活用促進
- ・ロータリー平和フェローシップの推進

4. タイムスケジュール

2026年

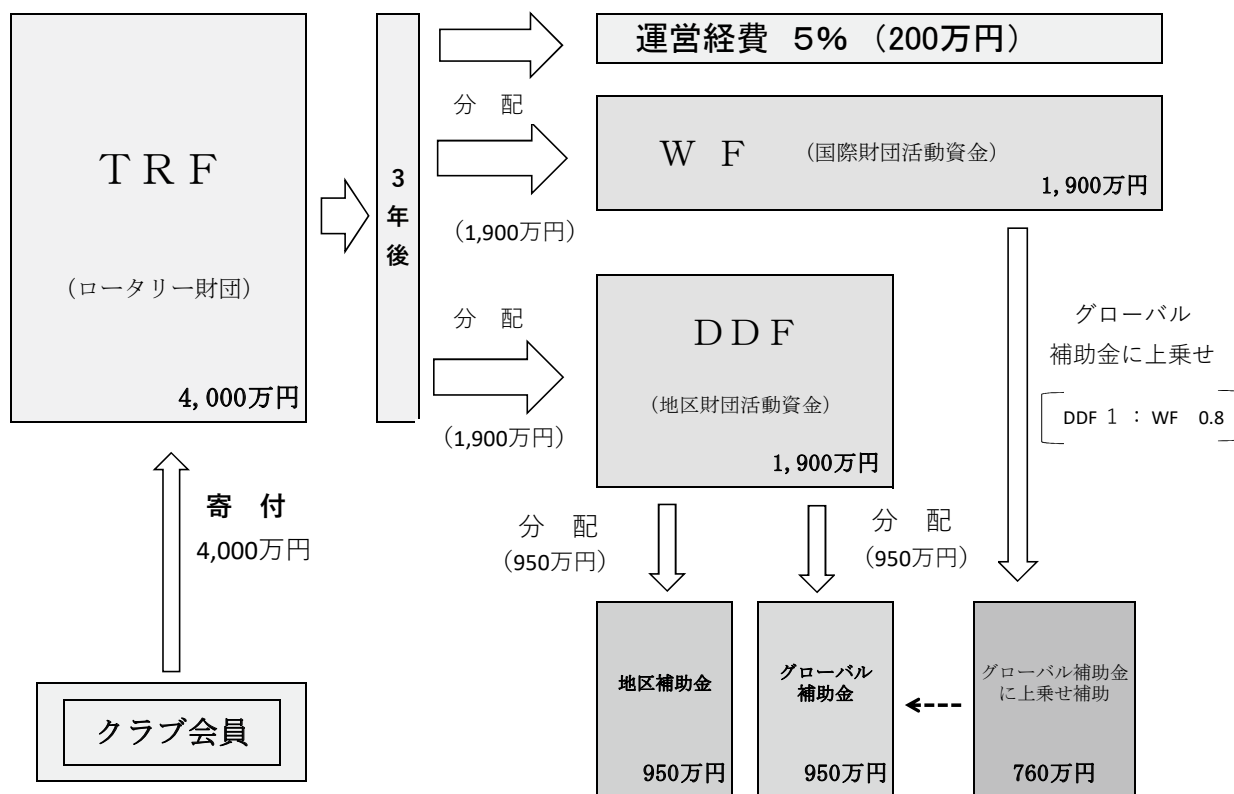
7月25日(土)	ロータリー財団合同会議	会議	10:00~12:00	前橋問屋センター会館
8月1日(土)	第1回地区補助金委員会	会議	9:00~11:30	前橋商工会議所会館
9月5日(土)	補助金管理セミナー	セミナー	13:00~17:00	前橋問屋センター会館
※補助金管理セミナーの出席は補助金申請の必須条件になります。				
11月7日(土)	第2回地区補助金委員会	会議	9:00~11:30	前橋商工会議所会館

2027年

1月14日(木)	地区補助金申請書提出期限			
1月23日(土)	第1回地区補助金予備審査会	審査会	13:00~16:30	前橋商工会議所会館
2月20日(土)	第2回地区補助金予備審査会	審査会	13:00~16:30	前橋商工会議所会館
4月17日(土)	第3回地区補助金予備審査会	審査会	9:00~12:00	前橋商工会議所会館
5月15日(土)	地区補助最終審査会	審査会	13:00~17:00	前橋商工会議所会館

※グローバル補助金委員会 都度開催

『2840地区 年次寄付・補助金サイクル図』



(注) 上記の金額は簡略化するため、概算額としています

※TRF(The Rotary Foundation)ロータリー財団

正式名称は、「国際ロータリーのロータリー財団」ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることが使命。

※シェア・システム(Share System)

年次基金寄付と恒久基金収益の47.5%が地区財団活動資金(DDF)となり、47.5%が国際財団活動資金(WF)となる。

※WF(World Fund)国際財団活動資金

年次寄付と恒久基金収益の47.5%がシェア・システムの下で国際財団活動資金(WF)に充てられる。ロータリー財団管理委員会が、その用途を決定する。

※DDF(District Designated Fund)地区財団活動資金

3年前の年次寄付と恒久基金収益の47.5%相当額が地区財団活動資金として配分される。地区が裁量権を有し、その用途を決定する。

『2026-2027年度DDF収支予算』
2026-2027年度(竹中年度)地区財団活動資金(DDF)収支予算

(単位 : ドル)

「収入」

I. 2026-2027年度配分額

2023-2024年度(保坂年度)シェア指定寄付額	305,783.79	
2022-2023年度恒久基金収益分配額	0.00	
(2026.10確定予定のため0としています)		
小 計	305,783.79	
上記の47.5%相当額 (地区活動資金)		145,256.13

II. 前年度繰越額 153,329.67 ※1

2022-2023年度(中野年度)繰越DDF	50,466.80	4年目
2023-2024年度(保坂年度)繰越DDF	13,984.81	3年目
2024-2025年度(森 年度)繰越DDF	7,632.01	2年目
2025-2026年度(竹中年度)繰越DDF	81,246.05	1年目

※1 (2025.6.30の残高は未経過で未確定のため、2025.4.1現在の繰越推定額を採用しています)

収 入 合 計 **298,585.80**

「支出」

I. 地区補助金 (DDF 145,256.13 ÷ 2)	72,628.07
II. グローバル補助金 今年度のDDF 72628.07+ 中野年度繰越額50466.80=	123,094.87
III. ポリオブラス基金	20,000.00
IV. 平和フェローシップ	10,000.00

支 出 合 計 **225,722.94**

使用するDDF	
2026-2027年度分配DDF	145,256.13
2022-2023年度繰越DDF	50,466.80
2023-2024年度繰越DDF	13,984.81
2024-2025年度繰越DDF	7,632.01
2025-2026年度繰越DDF	8,383.19
使用するDDF合計	225,722.94

「次年度繰越予定額」	2026-2027年度分配DDF残高	0.00
	2025-2026年度分繰越DDF残高	72,862.86

次年度繰越予定額 **72,862.86**

(次年度繰越予定額は、現時点で2026.6.30の前年度繰越額が確定していないため、暫定予定額となっています)

(2026 4.1 現在)

地区財団活動資金 (DDF) 収支実績表

(単位：ドル)

		2023-2024 (保坂年度)	2024-2025 (森 年度)	2025-2026 (竹中 年度)	2026-2027 (竹中 年度)	2027-2028 (湯澤 年度)
地区活動収入	前年度繰越額 ①	86,734.21	85,257.52	60,889.53	40,717.58	0.00
	配 分 入 入					
	当年度配分額 ②	190,544.09	155,153.43	153,459.35	152,891.90	
	恒久基金収益配分額 ③	8,507.09	9,378.58	9,204.70		
	配分収入合計 ④ (②+③)	今年度の DDF 199,051.18	今年度の DDF 164,532.01	162,664.05	152,891.90	0.00
収入合計 ①+④		285,785.39	249,789.53	223,553.58	193,609.48	0.00
地区活動支出	地区補助金 ⑤	DG 2446879 99,854.00	DG 2563399 81,830.00	DG 2679424 81,418.00		
	(プロジェクト件数)	45クラブ(内RAC8) (39件)	52クラブ(内RAC8) (43件)	52クラブ(内RAC8) (44件)	51クラブ(内RAC8) (42件)	
	同上返却金	DG 2225909 △ 2,834.12	0.00			
	⑥	DG 2335358 △ 1,814.01	0.00			
	グローバル補助金 ⑦	105,322.00	75,070.00	81,418.00		
	(実施国、クラブ名、金額)	GG 2454110 桐生 18,722	GG 2459787 大泉 10,250			
		GG235049 98(取消) 太田 0	GG 2465040 高崎 30,000			
		GG 2454078 桐生西 16,000	GG257826 5(奨学金) 市橋西 34,820			
		GG奨学生 沼田 30,000				
		GG 2458451 伊勢崎 中央 15,600				
		GG 2457241 沼田 25,000				
ポリオプラス ⑧		0	32,000	20,000.00		
ロータリー平和センター基金拠出 ⑨		0	0			
ロータリー災害救援基金 ⑩			0			
			0			
支出合計 ⑪ (⑤~⑩)		200,527.9	188,900.00	182,836.00	0.00	0.00
次年度繰越額 ⑫ (①+④-⑪)		85,257.52	60,889.53	40,717.58	0.00	0.00

	2020~2021 (山田年度)	2021~2022 (足立年度)	2022~2023 (中野年度)	2023~2024 (保坂年度)	2024~2025 (森年度)
年次寄付実績	381,184.75	350,943.02	326,464.08	305,851.82	305,491.31

(2026.4.1現在)

*1. 305,783.79 (保坂年度シェア指定寄付実績) ×47.5%≒145,256.13

*2. 2026-27年度地区補助金申請限度額×50%≒72,628.07

*3. 2026-27年度グローバル補助金申請限度額 72,628.07

ポリオプラス・資金推進委員会

委員長	水石 清治	(沼 田 RC)	委 員	宮武 優	(高崎北 RC)
副委員長	町田 久	(渋 川 RC)	委 員	河内 良範	(桐生西 RC)
委 員	鷹巣 修	(伊勢崎南 RC)	担当副幹事	坂上 順一	(安 中 RC)

1. 委員会の使命・役割

ロータリーは 35 年以上にわたりポリオ撲滅に取り組んできました。世界からこの病気を根絶するという私たちの目標は、かつてないほど近づいています。

世界ポリオ根絶事業の創設パートナーとして、私たちは 1979 年にフィリピンの子どもたちにワクチンを接種する最初のプロジェクト以来、ポリオの症例を 99.9 パーセント削減しました。

ロータリー会員は、122 カ国で約 30 億人の子どもたちをこの麻痺性疾患から守るために、21 億ドル以上の寄付と数えきれないほどのボランティア活動を行ってきました。ロータリーのアドボカシー活動は、各国政府がこの取り組みに 100 億ドル以上の拠出を決定する上で重要な役割を果たしました。

現在、ポリオの常在国はアフガニスタンとパキスタンのみです。しかし、他の国々をポリオのない状態に保つための取り組みを継続することが不可欠です。もし今日、すべての根絶努力が停止すれば、10 年以内に毎年最大 20 万人の子どもがポリオによって麻痺する可能性があります。

＜大阪大学ワクチン開発拠点 高島 義裕＞

2. 委員会活動の現状認識

- ① ポリオプラス基金寄付「一人 30 ドル以上」の依頼
- ② 各クラブへポリオプラスの広報及び出前卓話を行う。
- ③ ポリオプラス募金活動を積極的に行う。
- ④ ポリオプラスソサエティー登録依頼。
- ⑤ 世界ポリオデーにあわせたクラブ事業、分区事業の実施依頼。
- ⑥ ポリオフォトコンテストへの出品依頼。
- ⑦ ブランドリソースセンターの動画を活用したクラブ例会での啓発。

3. 目標

- ・ポリオプラス寄付 30 ドル以上依頼
- ・財団寄付 150 ドル以上依頼
- ・ポリオプラスソサエティー 100 ドル依頼
- ・大口寄付者（メジャードナー）を地区 5 名以上
- ・恒久基金への寄付について理解していただき、ベネファクターまたは遺贈友の会の会員を地区で 10 名以上にする
- ・寄付実績に広報を実施し、記録を行う

ポリオプラス寄付実績表（過去４ヵ年）

クラブ名	2024-25年度		2023-24年度	2022-23年度	2021-22年度
	個人平均額	総額	総額	総額	総額
District 2840			\$0.00	\$4,818.38	\$6,135.68
前橋	\$35.54	\$4,194.09	\$3,366.96	\$2,719.70	\$3,200.99
前橋西	\$30.00	\$1,800.00	\$1,890.00	\$1,411.84	\$1,639.26
前橋東	\$31.60	\$1,580.23	\$1,313.71	\$1,371.14	\$1,903.30
前橋北	\$36.36	\$2,944.96	\$2,781.45	\$2,891.45	\$2,740.86
前橋南	\$31.35	\$1,786.84	\$1,690.62	\$1,703.42	\$1,228.53
前橋中央	\$38.46	\$692.33	\$571.29	\$478.05	\$549.80
桐生	\$31.30	\$2,160.00	\$2,203.42	\$2,136.76	\$2,005.71
桐生南	\$31.62	\$1,201.39	\$605.12	\$683.20	\$287.40
桐生西	\$28.48	\$1,424.00	\$1,603.00	\$1,668.76	\$1,717.00
桐生赤城	\$41.25	\$1,608.61	\$1,552.93	\$1,777.57	\$1,147.13
伊勢崎	\$32.44	\$2,627.51	\$2,472.13	\$2,286.00	\$1,929.21
群馬境	\$28.80	\$720.00	\$822.74	\$780.00	\$690.00
伊勢崎中央	\$30.12	\$2,710.44	\$2,949.93	\$2,760.05	\$2,850.00
伊勢崎南	\$30.14	\$783.55	\$863.15	\$718.76	\$918.87
伊勢崎東	\$26.07	\$912.48	\$1,856.42	\$1,825.10	\$371.61
高崎	\$10.32	\$1,445.01	\$3,934.73	\$5,343.43	\$5,150.19
高崎南	\$23.74	\$1,566.51	\$1,713.46	\$1,695.72	\$1,452.90
高崎北	\$44.06	\$3,392.36	\$2,954.90	\$2,111.35	\$2,296.99
高崎東	\$30.00	\$870.00	\$786.71	\$930.00	\$1,020.00
高崎シンフォニー	\$30.00	\$1,380.00	\$1,380.00	\$1,350.00	\$1,470.00
高崎セントラル	\$33.11	\$927.13	\$945.17	\$1,012.81	\$1,208.79
太田	\$32.56	\$2,214.32	\$2,174.01	\$2,411.71	\$2,290.16
太田西	\$63.42	\$761.07	\$360.00	\$420.00	\$506.16
太田南	\$37.98	\$1,633.17	\$1,408.06	\$1,211.40	\$1,430.21
新田	\$1.74	\$40.00	\$40.00	\$50.00	\$50.00
太田中央	\$38.18	\$1,680.00	\$1,410.00	\$1,330.00	\$1,400.00
館林	\$30.52	\$1,678.83	\$1,743.55	\$1,783.52	\$1,755.38
大泉	\$41.94	\$1,090.56	\$1,311.17	\$1,162.84	\$1,853.46
館林西	\$30.00	\$390.00	\$420.00	\$480.00	\$510.00
館林東	\$0.00	\$0.00	\$270.00	\$300.00	\$330.00
館林ミレニアム	\$30.00	\$840.00	\$900.00	\$870.00	\$900.00
渋川	\$39.77	\$2,187.26	\$1,759.24	\$1,826.66	\$2,163.41
沼田	\$38.73	\$2,788.41	\$2,857.68	\$2,786.37	\$2,990.29
草津			\$50.00	\$0.00	\$15.30
中之条	\$27.00	\$540.00	\$630.00	\$600.00	\$630.00
沼田中央	\$35.24	\$1,726.79	\$1,023.66	\$1,003.51	\$1,200.00
渋川みどり	\$16.03	\$673.26	\$529.05	\$621.23	\$708.19
富岡	\$26.92	\$1,050.00	\$1,020.00	\$1,020.00	\$1,030.00
藤岡	\$29.32	\$1,260.60	\$1,326.71	\$1,460.28	\$1,567.69
安中	\$47.37	\$2,747.60	\$1,950.01	\$1,940.27	\$1,853.07
藤岡北	\$21.20	\$169.61	\$140.13	\$150.00	\$165.38
富岡中央	\$29.35	\$1,232.53	\$1,201.18	\$1,260.11	\$1,237.01
藤岡南	\$18.95	\$132.62	\$205.46	\$282.58	\$303.10
碓氷安中	\$23.18	\$510.00	\$516.71	\$673.51	\$570.00
富岡かぶら	\$37.13	\$965.36	\$785.98	\$867.58	\$855.38
Total	\$32.84	\$66,533.35	\$62,297.15	\$66,985.06	\$68,228.41
2840地区DDFより		\$32,000	\$0.00	\$20,000	\$20,000

2024-2025年度 年次寄付・使途指定寄付・恒久基金 クラブ別実績表

区分	クラブ名	会員数	年次基金 目標額	年次基金 累計額	目標達成度 (%)	年次基金 (一人当たり)	ポリオプラス 基金	その他の基金 累計額	恒久基金 累計額	-- 合計 --
		①	②	③	④(③/②)	⑤(③/①)	⑥	⑦	⑧	⑨(③+⑥+⑦+⑧)
第1 分 区	前橋	118	\$16,500.00	\$24,529.10	149%	\$207.87	\$4,194.09	\$0.00	\$0.00	\$28,723.19
	前橋西	60	\$8,700.00	\$6,579.39	76%	\$109.66	\$1,800.00	\$0.00	\$0.00	\$8,379.39
	前橋東	50	\$7,500.00	\$13,442.32	179%	\$268.85	\$1,580.23	\$0.00	\$0.00	\$15,022.55
	前橋北	81	\$12,150.00	\$14,288.19	118%	\$176.40	\$2,944.96	\$70.42	\$0.00	\$17,303.57
	前橋南	57	\$8,250.00	\$8,868.80	108%	\$155.59	\$1,786.84	\$0.00	\$0.00	\$10,655.64
	前橋中央	18	\$3,000.00	\$3,449.87	115%	\$191.66	\$692.33	\$0.00	\$0.00	\$4,142.20
分 区 小 計		384	\$9,350.00	\$11,859.61	\$1.24	\$185.00	\$2,166.41	\$11.74	\$0.00	\$84,226.54
第2 分 区 A	桐生	69	\$10,800.00	\$10,800.00	100%	\$156.52	\$2,160.00	\$0.00	\$0.00	\$12,960.00
	桐生南	38	\$4,500.00	\$5,597.16	124%	\$147.29	\$1,201.39	\$0.00	\$0.00	\$6,798.55
	桐生西	50	\$7,500.00	\$8,438.00	113%	\$168.76	\$1,424.00	\$0.00	\$2,044.23	\$11,906.23
	桐生赤城	39	\$6,000.00	\$5,501.05	92%	\$141.05	\$1,608.61	\$0.00	\$0.00	\$7,109.66
分 区 小 計		196	\$7,200.00	\$7,584.05	\$1.07	\$153.41	\$1,598.50	\$0.00	\$2,044.23	\$38,774.44
第2 分 区 B	伊勢崎	81	\$11,700.00	\$13,221.00	113%	\$163.22	\$2,627.51	\$0.00	\$0.00	\$15,848.51
	群馬境	25	\$3,600.00	\$3,675.00	102%	\$147.00	\$720.00	\$0.00	\$0.00	\$4,395.00
	伊勢崎中央	90	\$13,500.00	\$14,176.67	105%	\$157.52	\$2,710.44	\$0.00	\$0.00	\$16,887.11
	伊勢崎南	26	\$3,900.00	\$3,963.54	102%	\$152.44	\$783.55	\$0.00	\$0.00	\$4,747.09
	伊勢崎東	35	\$5,400.00	\$2,117.63	39%	\$60.50	\$912.48	\$0.00	\$0.00	\$3,030.11
分 区 小 計		257	\$7,620.00	\$7,430.77	\$0.92	\$136.14	\$1,550.80	\$0.00	\$0.00	\$44,907.82
第3 分 区	高崎	140	\$21,000.00	\$12,411.73	59%	\$88.66	\$1,445.01	\$0.00	\$0.00	\$13,856.74
	高崎南	66	\$10,200.00	\$6,893.49	68%	\$104.45	\$1,566.51	\$0.00	\$0.00	\$8,460.00
	高崎北	77	\$11,250.00	\$12,532.13	111%	\$162.75	\$3,392.36	\$0.00	\$0.00	\$15,924.49
	高崎東	29	\$3,900.00	\$4,909.48	126%	\$169.29	\$870.00	\$0.00	\$0.00	\$5,779.48
	高崎シンフォニー	46	\$7,000.00	\$7,225.93	103%	\$157.09	\$1,380.00	\$70.42	\$1,000.00	\$9,676.35
	高崎セントラル	28	\$4,500.00	\$4,376.42	97%	\$156.30	\$927.13	\$0.00	\$0.00	\$5,303.55
分 区 小 計		386	\$9,641.67	\$8,058.20	\$0.94	\$139.76	\$1,596.84	\$11.74	\$1,000.00	\$59,000.61
第4 分 区 A	太田	68	\$10,200.00	\$12,045.66	118%	\$177.14	\$2,214.32	\$0.00	\$0.00	\$14,259.98
	太田西	12	\$2,400.00	\$1,720.00	72%	\$143.33	\$761.07	\$0.00	\$0.00	\$2,481.07
	太田南	43	\$6,900.00	\$7,660.16	111%	\$178.14	\$1,633.17	\$0.00	\$1,045.75	\$10,339.08
	新田	23	\$3,450.00	\$2,510.00	73%	\$109.13	\$40.00	\$0.00	\$20.00	\$2,570.00
	太田中央	44	\$7,500.00	\$7,290.00	97%	\$165.68	\$1,680.00	\$0.00	\$0.00	\$8,970.00
分 区 小 計		190	\$6,090.00	\$6,245.16	\$0.94	\$154.69	\$1,265.71	\$0.00	\$1,065.75	\$38,620.13
第4 分 区 B	館林	55	\$8,250.00	\$15,178.42	184%	\$275.97	\$1,678.83	\$0.00	\$0.00	\$16,857.25
	大泉	26	\$3,900.00	\$3,988.61	102%	\$153.41	\$1,090.56	\$0.00	\$10,000.00	\$15,079.17
	館林西	13	\$1,950.00	\$1,950.00	100%	\$150.00	\$390.00	\$0.00	\$0.00	\$2,340.00
	館林東	8	\$1,200.00	\$1,000.00	83%	\$125.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$1,000.00
	館林ミレニアム	28	\$4,200.00	\$4,500.00	107%	\$160.71	\$840.00	\$0.00	\$0.00	\$5,340.00
分 区 小 計		130	\$3,900.00	\$5,323.41	\$1.15	\$173.02	\$799.88	\$0.00	\$10,000.00	\$40,616.42
第5 分 区	渋川	55	\$8,400.00	\$9,323.25	111%	\$169.51	\$2,187.26	\$0.00	\$0.00	\$11,510.51
	沼田	72	\$11,400.00	\$11,965.40	105%	\$166.19	\$2,788.41	\$0.00	\$0.00	\$14,753.81
	中之条	20	\$3,150.00	\$2,075.00	66%	\$103.75	\$540.00	\$0.00	\$0.00	\$2,615.00
	沼田中央	49	\$6,000.00	\$5,400.00	90%	\$110.20	\$1,726.79	\$0.00	\$0.00	\$7,126.79
	渋川みどり	42	\$150.00	\$4,169.50	2,780%	\$99.27	\$673.26	\$0.00	\$0.00	\$4,842.76
分 区 小 計		238	\$5,820.00	\$6,586.63	\$6.30	\$129.79	\$1,583.14	\$0.00	\$0.00	\$40,848.87
第6 分 区	富岡	39	\$6,000.00	\$5,750.00	96%	\$147.44	\$1,050.00	\$0.00	\$0.00	\$6,800.00
	藤岡	43	\$6,450.00	\$7,222.44	112%	\$167.96	\$1,260.60	\$0.00	\$0.00	\$8,483.04
	安中	58	\$9,000.00	\$2,264.77	25%	\$39.05	\$2,747.60	\$0.00	\$0.00	\$5,012.37
	藤岡北	8	\$1,000.00	\$788.34	79%	\$98.54	\$169.61	\$0.00	\$0.00	\$957.95
	富岡中央	42	\$6,150.00	\$6,085.33	99%	\$144.89	\$1,232.53	\$0.00	\$169.01	\$7,486.87
	碓氷安中	7	\$1,050.00	\$651.84	62%	\$93.12	\$132.62	\$0.00	\$0.00	\$784.46
	藤岡南	22	\$3,000.00	\$2,550.00	85%	\$115.91	\$510.00	\$0.00	\$0.00	\$3,060.00
	富岡かぶら	26	\$3,900.00	\$2,405.69	62%	\$92.53	\$965.36	\$0.00	\$0.00	\$3,371.05
分 区 小 計		245	\$4,568.75	\$3,464.80	\$0.77	\$112.43	\$1,008.54	\$0.00	\$169.01	\$35,955.74
	District 2840		\$0.00	\$0.00	0%	\$0.00	\$704.23	\$0.00	\$0.00	\$704.23
合 計		2,034	\$296,450.00	\$305,491.31	103.05%	\$150.19	\$66,533.35	\$140.84	\$14,278.99	\$386,444.49

資金管理・平和フェローシップ委員会

委員長	上柿 敬一	(伊勢崎中央 R C)	署名人	町田 久	(渋 川 R C)
副委員長	福島 敬仁	(伊勢崎南 R C)	署名人	鷹巣 修	(伊勢崎南 R C)
	栗原 弘充	(伊勢崎中央 R C)	担当副幹事	松岡 将之	(安 中 R C)

1. 委員会の使命・役割

当委員会は、ロータリー財団への寄付が財源となり各補助金事業を行う時の資金の使い方などを管理する委員会です。また、平和フェローシップは、世界に7か所あるロータリー平和センターへの地区内最初の平和フェローを推薦するための活動を進めてまいります。

2. 委員会活動の現状認識

ロータリー財団委員会、地区補助金委員会と共に補助金事業が適切に実施されているかを、申請書と報告書を通して確認する。特に当委員会は資金面での確認を行います。

平和フェローシップについては、活動が活発でない現状です。

3. 委員会事業計画

長年の実績により、それぞれのクラブが財団補助金の活用の仕方を十分に理解している事とおもいますが、もう一度ロータリー財団ハンドブック年度ダイジェスト版を熟読の上、内容に則した申請、報告をお願いします。申請出来る事業の内容も変更になっていますので、今一度確認の上申請をお願いします。

申請、報告に際し守って頂きたい項目を列記いたします。

- ① プロジェクトを計画する時点において、自クラブの3年前の年次寄付実績額(地区会員必携に記載)を確認していただき、地区補助金申請時に申請額超過(総額の4分の1以内)になりません様お願い致します。
- ② プロジェクトへの支出前に専用口座の残高を申請プロジェクト総額(地区補助金+クラブ拠出金)として下さい。プロジェクトに係るものは必ず専用口座で出入金してください。
- ③ プロジェクトの内容(目的)と相違するものには使用しないでください。
- ④ 申請書に記載ないものの購入はできません。
- ⑤ 物品寄贈の場合、受益者からの受領書のコピーや活動の写真を添付してください。
- ⑥ 支払先が多岐にわたる場合、報告書にはわかりやすく添付してください。
- ⑦ 申請書の見積書等の金額、実行時の金額と大きな差異なき様、申請時の見積の妥当性を確保してください。
- ⑧ ロータリアンが汗をかいた活動事例については訴求力のあるものとしてください。
- ⑨ 報告書の提出は、Webにて、プロジェクト終了後1か月以内にガバナー事務所へご送付下さい。チェックリストの提出もお願いします。

4. 目標

- ・補助金事業の資金面での問題の解決
- ・平和フェローの推薦

地区補助金委員会

委員長	唐沢 健二 (中之条 RC)	委員	中西 力太 (伊勢崎東 RC)
副委員長	草刈 晋一 (桐生赤城 RC)	委員	小此木能信 (高 崎 RC)
委員	菊川 善明 (前 橋 RC)	委員	小林 匡美 (高崎南 RC)
委員	石井 英智 (前橋南 RC)	委員	加瀬 揚彦 (館林東 RC)
委員	橘田 敦士 (前橋南 RC)	委員	原 直道 (渋 川 RC)
委員	山形 剛 (桐生西 RC)	委員	片桐 正人 (前 橋 RAC)
委員	下田 仁 (伊勢崎 RC)	担当副幹事	松岡 将之 (安 中 RC)
委員	宮田 典洋 (伊勢崎中央 RC)	担当副幹事	新井 祥文 (安 中 RC)

1. 委員会の使命・役割

地区補助金は、クラブと地区がロータリー財団の使命を支え、地域社会の緊要なニーズに取り組むための補助金です。今後とも地区内のクラブが地区補助金を活用するよう申請を奨励するとともに、各クラブの奉仕事業の質の面で地域社会のニーズにマッチしたものになるよう支援します。

また各クラブへの活動発信として、これまで同様に「ガバナー月信」で委員会報告をすると共に、11月と12月に申請書の進捗状況をみて各クラブの申請担当者に申請書のサポートをメールで送信。また3回予定している予備審査会と最終審査会終了後に各クラブの申請担当者にメールで審査の進捗状況を送信します。

2. 委員会活動の現状認識

近年は3年前の寄付額の実績に応じた割り振りとし、クラブの年次寄付の価値を高めました。また、他の地区には無い Web による申請と報告が浸透し、クラブと地区の事務処理の軽減が計られています。関連委員会としては「資金管理・平和フェローシップ委員会」です。年間7回の全ての委員会で補助金委員会と共に申請された事業が計画通り実施されているか、資金面での問題はないか確認・助言を頂き、基準に合致した事業実施と報告書を目指しています。そして、昨年度は「ロータリー財団ハンドブック」の審査基準を大幅に改定しましたので、クラブにとって使いやすい補助金となるよう一層努力します。

また、今年初めてローターアクト8クラブ合同の補助金事業が実施されます。委員会としてもバックアップし必ず成功に導きたいと考えます。

3. 委員会事業計画

- (1) ロータリー財団ハンドブック審査基準の検討 (7月)
- (2) ロータリー財団から地区へ補助金一括支給 (8月～9月)
- (3) 申請クラブに補助金交付 (8～9月)
- (4) クラブ申請書の提出 (1月)
- (5) 申請事業の計画どおりの実施とサポート
- (6) ローターアクトクラブから地区補助金委員を選出し、ローターアクト会長幹事会等で検討を進めてもらい、補助金事業を実施できるようサポート
- (7) 実施事業の報告書提出のサポート (事業実施から1ヶ月以内提出)

- (8) Web 申請による事業内容のサポート
- (9) 奉仕プロジェクトとの情報交換・協力を進める
- (10) 財団セミナー参加者のラーニングセンターを活用した事前学習の検討

4. 目標

- ① 地区補助金ハンドブックの内容検討（4月～6月）
- ② 地区補助金Webシステムの修正（6月）
- ③ クラブ申請書提出期限の厳守（1月）
- ④ 申請内容を地区で審査（最終審査会5月）
- ⑤ クラブ申請を確定して地区に申請（5月）
- ⑥ 地区からロータリー財団へ補助金一括申請（6月）

5. タイムスケジュール

- 8月 第1回委員会（補助金管理セミナー準備・財団ハンドブック、Web申請書の修正）
- 9月 ロータリー財団補助金管理セミナー（9月5日（土） 前橋問屋センター会館）
- 11月 第2回委員会（クラブの申請動向・報告、申請に向けての勉強会）
- 1月 申請書提出期限（2027年1月14日）
- 1月 第1回予備審査会（報告書の審査）
- 2月 第2回予備審査会（報告書の審査と申請書の審査）
- 4月 第3回予備審査会（報告書の審査と申請書の審査）
- 5月 地区補助金最終審査会
（2025-26年度実施分の報告を承認・2026-27年度実施分の申請を承認）
- 6月 ロータリー財団ハンドブックの修正・地区補助金Webシステム改修

6. 実績データ

	申請年度	申請クラブ数	事業総額
1年目	2012-13	34クラブ34申請	1,365万円
2年目	2013-14	33クラブ32申請	1,053万円
3年目	2014-15	41クラブ41申請	1,652万円
4年目	2015-16	43クラブ41申請	1,693万円
5年目	2016-17	46クラブ46申請	1,951万円
6年目	2017-18	44クラブ29申請	1,586万円
7年目	2018-19	44クラブ42申請	1,720万円
8年目	2019-20	40クラブ38申請	1,920万円
9年目	2020-21	45クラブ39申請	1,655万円
10年目	2021-22	45クラブ39申請	1,669万円
11年目	2022-23	52クラブ(RAC8)43申請	1,998万円
12年目	2023-24	52クラブ(RAC8)44申請	2,036万円
13年目	2024-25	51クラブ(RAC8)42申請	1,622万円
14年目	2025-26	51クラブ(RAC8)41申請	1,590万円

2025-26実施年度(2024-25計画年度) 地区補助金支給額一覧表 (51クラブ(RAC8)申請・41事業)

2026年4月15日現在

区分	NO.	クラブ名	事業名	補助金支給額 円	クラブ拠出額 円	実行総事業額 円
第1 分区	1	前橋	NP0法人ぐんま若者応援ネット「アリスの広場」支援プロジェクト	634,339	149,569	783,908
	2	前橋西	寄宿舍で生活している児童に知育玩具等を寄贈	298,260	104,715	402,975
	3	前橋東	知的障害への理解を深めようプロジェクト	246,482	85,518	332,000
	4	前橋北	災害に強い都市空間の整備支援	479,990	478,110	958,100
	5	前橋南	「児童養護施設 鐘の鳴る丘少年の家」への備品寄贈	290,783	66,825	357,608
	6	前橋中央	高齢者施設への無停電装置寄贈 高齢者施設災害時 電源装置設置プロジェクト	105,086	29,017	134,103
第2 分区 A	7	桐生	桐生市ポッチャ協会 ポッチャ用具寄贈事業	592,350	135,250	727,600
	8	桐生南	桐育乳児園へ抗菌医療機器などの寄贈	164,861	46,139	211,000
	9	桐生西	社会福祉法人桐の実会わたらせ養護園支援事業	305,962	71,288	377,250
	10	桐生赤城	盲導犬や視覚障害者への理解を高めるための啓発活動	175,986	56,092	232,078
第2 分区 B	11	伊勢崎	児童養護施設みらい奨学金	437,747	84,837	522,584
	12	群馬境	社会福祉法人桑の実福祉会利用者の就労訓練に使用する物品の寄贈	145,281	54,699	199,980
	13	伊勢崎中央	学童野球チームへの野球道具の寄贈	504,796	285,444	790,240
	14	伊勢崎南	地域猫活動の支援	114,067	35,933	150,000
	15	伊勢崎東	児童養護施設みらい奨学金	105,976	36,560	142,536
第3 分区	16	高崎	未来を支える子供たちへの支援事業	605,702	145,528	751,230
	17	高崎南	NP0法人はっぴいまるまる 大規模災害時対応に伴う蓄電設備及び仮設トイレの寄付事業	198,773	45,503	244,276
	18	高崎北	高崎市社会福祉協議会を窓口とした生活困窮世帯、高崎市内のこども食堂への物資支援	284,290	79,874	364,164
	19	高崎東	生涯学習振興のための環境づくり事業	227,627	127,893	355,520
	20	高崎シンフォニー	高崎市児童相談所へ卓球台サッカーゴール等寄贈プロジェクト	262,230	78,792	341,022
	21	高崎セントラル	NP0法人はっぴいまるまる 大規模災害時対応に伴う蓄電設備及び仮設トイレの寄付事業	122,449	28,031	150,480
第4 分区 A	22	太田	第5回太田ロータリークラブ杯 2025 OTA JUNIOR CUP バドミントン選手権大会	473,227	91,356	564,583
	23	太田西	将来のサッカー選手育成応援プロジェクト	88,567	20,983	109,550
	24	太田南	フードバンクおおたへ食品寄贈	247,631	77,449	325,080
	25	新田	新田RC杯グランドゴルフ大会	107,463	36,985	144,448
	26	太田中央	車椅子寄贈事業	182,883	51,887	234,770
第4 分区 B	27	館林	館林ロータリークラブ奨学金供与事業	348,572	91,428	440,000
	28	大泉	城之内公園ベンチ寄贈事業	152,687	29,143	181,830
	29	館林東	『特定非営利活動法人あいず』に対する、チェーンソーの寄贈	91,442	8,438	99,880
	30	館林ミレニアム	文化振興推進支援	159,107	59,573	218,680
第5 分区	31	渋川	信愛えんがわカフェ支援プロジェクト	335,920	89,346	425,266
	32	沼田	車椅子バスケットを通して、個性を生かして共生する社会を目指す。寄り添うロータリー	753,709	209,048	962,757
	33	中之条	ジャズコンサートの開催	115,215	121,525	236,740
	34	沼田中央	社会福祉法人北毛清流会 除雪機寄贈事業	190,197	85,133	275,330
	35	渋川みどり	高校生とつくる男女共同参画社会提言書	147,804	132,371	280,175
第6 分区	36	富岡	子育て・健康推進事業	217,630	54,730	272,360
	37	藤岡	藤岡市管内 桜山公園冬桜苗木植樹事業	294,440	439,040	733,480
	38	安中	小学校1年生入学支援	340,444	106,036	446,480
	39	藤岡北	「エネルギーの地産地消による地域活性化」セミナー実施プロジェクト	50,000	44,600	94,600
	40	富岡中央	富岡市北部運動公園東ゾーンへ時計台寄贈プロジェクト	206,204	200,906	407,110
	41	碓氷安中	あんなかスマイルパーク 木製ベンチ設置事業	50,000	17,100	67,100
	42	藤岡南	藤岡市サッカー協会へのテント備品提供	117,233	35,317	152,550
	43	富岡かぶら	富岡市子育て健康プラザ 書籍寄贈事業	183,511	42,640	226,151
	44	伊勢崎	児童養護施設みらい奨学金	50,000	10,000	60,000
ロー ター ア ク ト	45	桐生	桐生市ポッチャ協会 ポッチャ用具寄贈事業	50,000	10,000	60,000
	46	桐生西	社会福祉法人桐の実会わたらせ養護園支援事業	50,000	10,000	60,000
	47	前橋	NP0法人ぐんま若者応援ネット「アリスの広場」支援プロジェクト	50,000	10,000	60,000
	48	前橋南	「児童養護施設 鐘の鳴る丘少年の家」への備品寄贈	50,000	10,000	60,000
	49	沼田	車椅子バスケットを通して、個性を生かして共生する社会を目指す。寄り添うロータリー	50,000	10,000	60,000
	50	太田	第5回太田ロータリークラブ杯 2025 OTA JUNIOR CUP バドミントン選手権大会	47,604	9,521	57,125
	51	高崎北	高崎市社会福祉協議会を窓口とした生活困窮世帯、高崎市内のこども食堂への物資支援	50,000	10,000	60,000
			合計	11,554,527	4,350,172	15,904,699

2026-27実施年度(2025-26計画年度) 地区補助金申請一覧表(50クラブ(RAC8)申請・39事業)

2026年4月15日現在

区分	NO.	クラブ	実施日	事業名	2023-24年 年次寄付クラブ総額\$	クラブ拠出金 円	補助金申請額 円	事業額 円	決定補助金 \$
第1 分 区	1	前橋	2026.10.1～2026.10.31	「ヤング・アシストいっば」支援事業	17,044.49	175,728	615,522	791,250	3,847
	2	前橋西	2026.7.1～2026.12.31	生徒が充実した学校生活を送るための設備等の寄贈	7,632.66	140,650	275,635	416,285	1,722
	3	前橋東	2026.7.1～2026.10.31	史跡総社古墳群を盛り上げよう！	9,743.47	100,336	351,864	452,200	2,199
	4	前橋北	2026.7.1～2027.3.31	キッチンカーを利用した市内こども食堂支援	2,781.45	511,100	479,780	990,880	2,998
	5	前橋南	2026.10.1～2026.12.25	「児童養護施設 鐘の鳴る丘少年の家」への備品寄贈	7,730.57	110,939	279,171	390,110	1,744
	6	前橋中央	2026.11.1～2026.11.30	こども食堂（おとおね食堂）への支援	3,345.28	23,840	118,900	142,740	743
第2 分 区 A	7	桐生	2026.7.1～2026.12.15	放課後児童クラブへ本の寄贈	18,000.00	131,152	650,029	781,181	4,062
	8	桐生南	2026.8.1～2026.9.9	桐生市民健康増進プロジェクト	3,741.98	140,967	135,133	276,100	844
	9	桐生西	2026.11.8	一般市民講座「認知症を知り、考える～身近な人が認知症になったときのために」	8,584.00	239,718	309,992	549,710	1,937
	10	桐生赤城	2026.7.12～2026.11.23	少年サッカーにサッカーゴールを寄与	5,522.63	93,493	199,437	292,930	1,246
第2 分 区 B	11	伊勢崎	2026.7.1～2027.6.30	児童養護施設みらい奨学金	13,814.00	246,081	498,861	744,942	3,117
	12	群馬境	2026.7.1～2026.10.31	社会福祉法人やよい福祉会利用者の就労訓練及び自立した生活に向けての支援として物品を寄贈	822.74	39,490	118,800	158,290	742
	13	伊勢崎中央	2026.9.1～2027.3.31	伊勢崎子ども食堂・つながる応援プロジェクト	16,289.03	160,673	588,240	748,913	3,676
	14	伊勢崎南	2026.7.1～2027.6.30	児童養護施設みらい奨学金	3,089.53	22,314	111,571	133,885	697
	15	伊勢崎東	2026.7.1～2027.6.30	児童養護施設みらい奨学金	2,565.40	18,529	92,644	111,173	579
第3 分 区	16	高崎	2026.10.4	ベースボール型授業指導者講習会ならびにティースタンド寄贈	22,797.37	213,831	823,274	1,037,105	5,145
	17	高崎南	2026.7.1～2026.12.20	NPO法人 工房あかね Tシャツプリンター寄贈	7,333.34	32,502	209,811	242,313	1,311
	18	高崎北	2026.7.1～2026.12.20	NPO法人 工房あかね Tシャツプリンター寄贈	2,619.58	37,920	74,947	112,867	468
	19	高崎東	2026.9.1～2026.9.30	保護犬を迎えるための環境づくり	4,720.44	130,770	170,000	300,770	1,062
	20	高崎シンフォニー	2026.7.1～2026.12.31	家庭環境に問題を抱えた子どもたちに対する継続支援	7,464.55	112,575	269,565	382,140	1,684
	21	高崎セントラル	2026.7.1～2026.12.20	NPO法人 工房あかね Tシャツプリンター寄贈	4,764.07	13,788	136,292	150,080	851
第4 分 区 A	22	太田	2026.7.1～2027.3.31	太田ロータリークラブ 給付型奨学金	12,237.91	638,056	441,944	1,080,000	2,762
	23	太田西	2026.7.22	NPO法人ガイヤ様にテント寄贈	2,220.00	55,537	86,088	141,625	538
	24	太田南	2026.9.1～2026.12.31	NPO法人しゅんらん 倉庫設置・寄贈式	6,544.23	85,991	253,778	339,769	1,586
	25	新田	2026.7.12	新田RC杯グランドゴルフ大会	100.00	21,710	50,000	71,710	312
	26	太田中央	2026.9.20	第19回太田中央ロータリークラブ杯小学生バレーボール大会	7,000.00	211,359	271,451	482,810	1,696
第4 分 区 B	27	館林	2026.12.25	館林ロータリークラブ クリスマスファミリーコンサート2026	9,413.93	414,197	339,963	754,160	2,124
	28	大泉	2026.10.1～2026.11.30	ベンチ寄贈事業	3,904.04	40,845	140,985	181,830	881
	29	館林東	2026.7.1～2026.12.25	館林市立図書館への幼児・児童向け図書の寄贈	2,350.00	16,972	73,899	90,871	461
	30	館林ミレニアム	2026.8.1～2026.10.30	子育て支援事業	4,500.00	58,373	162,507	220,880	1,015
第5 分 区	31	渋川	2026.9.1	渋川市民の防災意識向上プロジェクト	9,129.19	406,661	329,679	736,340	2,060
	32	沼田	2026.9.10～2026.9.20	『自然と人との共生』～奥利根の森から最初の一歩を求めて～	13,356.71	106,893	482,347	589,240	3,014
	33	中之条	2026.10.15	伝統芸能を楽しもう	3,150.00	128,629	113,756	242,385	710
	34	沼田中央	2026.7.1～2026.11.30	地域コミュニケーション活性化支援事業	5,169.36	49,601	186,679	236,280	1,166
	35	渋川みどり	2026.7.1～2026.8.31	地域の子供たちが心豊かに育つように	3,423.97	96,582	123,649	220,231	772
第6 分 区	36	富岡	2026.9.1～2026.11.30	教育環境、教育活動推進事業	6,000.00	47,654	216,676	264,330	1,354
	37	藤岡	2027.2.1～2027.2.28	藤岡市管内 桜山公園冬桜苗木植樹事業	7,450.00	347,841	269,039	616,880	1,681
	38	安中	2026.8.3～2026.10.31	安中市役所新庁舎大型モニター寄付事業	10,064.97	90,000	350,880	440,880	2,193
	39	富岡中央	2027.3.13	甘楽富岡地域活性化プロジェクト～甘楽富岡を元気にする音楽会～	6,387.83	71,168	230,682	301,850	1,441
	40	碓氷安中	2026.7.1～2027.3.31	安中市子ども食堂連絡協議会への備品の贈呈	753.37	13,624	50,000	64,724	312
	41	藤岡南	2026.9.12	軽費老人ホームへのドームハウス寄贈事業	2,560.21	57,254	92,456	149,710	577
	42	富岡かばら	2026.9.1～2026.12.31	下仁田駅前新施設 書籍寄贈事業	1,640.73	40,464	59,251	99,715	370
ロー タ ー ア ク ト	43	伊勢崎	2026.11.1～2027.3.27	伊香保温泉で巡る 群馬の魅力スタンプラリー	0.00	10,062	50,000	60,062	312
	44	桐生	2026.11.1～2027.3.27	伊香保温泉で巡る 群馬の魅力スタンプラリー	0.00	10,062	50,000	60,062	312
	45	桐生西	2026.11.1～2027.3.27	伊香保温泉で巡る 群馬の魅力スタンプラリー	0.00	10,062	50,000	60,062	312
	46	前橋	2026.11.1～2027.3.27	伊香保温泉で巡る 群馬の魅力スタンプラリー	0.00	10,061	50,000	60,061	312
	47	前橋南	2026.11.1～2027.3.27	伊香保温泉で巡る 群馬の魅力スタンプラリー	0.00	10,061	50,000	60,061	312
	48	沼田	2026.11.1～2027.3.27	伊香保温泉で巡る 群馬の魅力スタンプラリー	0.00	10,061	50,000	60,061	312
	49	太田	2026.11.1～2027.3.27	伊香保温泉で巡る 群馬の魅力スタンプラリー	0.00	10,061	50,000	60,061	312
	50	高崎北	2026.11.1～2027.3.27	伊香保温泉で巡る 群馬の魅力スタンプラリー	0.00	10,062	50,000	60,062	312
				合計	287,763.03	5,776,299	11,235,177	17,012,576	70,195

ロータリーレート 160円

グローバル補助金委員会

委員長	石川 好男	(太 田 RC)	委 員	吉田 尚弘	(伊勢崎中央 RC)
副委員長	菊池 千恵	(前 橋 RC)	委 員	小河原義光	(高 崎 RC)
委 員	Randolph 留利子	(桐 生 RC)	委 員	木村 めぐみ	(高崎シフォニー RC)
			担当副幹事	松岡 将之	(安 中 RC)

1. 委員会の使命・役割

グローバル補助金は、ロータリアンから寄付していただいた年次寄付が、シェアシステムの仕組みによりロータリー財団から3年後に地区財団活動資金(DDF)の50%として提供された資金を基に、クラブと地区がロータリー財団の7つの重点分野である「平和構築と紛争予防」「疾病予防と治療」「水と衛生」「母子の健康」「基本的教育と識字率向上」「地域社会の発展」「環境」の一つに該当し、測定可能、持続可能なプロジェクトであり、予算が30,000ドル以上で補助金の授与と受託の条件を厳守すること。これらの要件を満たした上で、補助金申請の受付を行いません。但し、グローバル補助金の予算額に達した場合は終了させていただきます。

詳細は、国際ロータリー第2840地区「ロータリー財団ハンドブック」2026-2027年度ダイジェスト版をご参照下さい。

2. 委員会活動の現状認識

今年度もグローバル補助金委員会の委員間での情報交換を密にすると共に、ロータリー財団委員会の方針に従い下記の目標を掲げグローバル補助金の活用を推進していきます。

3. 委員会事業計画

- ① グローバル補助金を使った事業の受付、実施計画の援助を行う。
- ② 他地区におけるグローバル補助金の事例を引き続き研究する。
- ③ グローバル補助金を利用した奨学生制度について研究する。
- ④ 海外で専門知識を学んだり、現地の人々を指導する職業研修を提供したり、研修を受ける為にチームが海外に赴いたりできる職業研修チーム(VTT)を地区やクラブで申請できるように研究し推進する。
- ⑤ ロータリー財団補助金セミナー、クラブ活性化ワークショップ等の運営に協力する。
- ⑥ 委員会内での学習会を行う。
- ⑦ ロータリー財団ハンドブックの見直し
- ⑧ 公共イメージの向上、地域における良い評価の形成に取り組む。
- ⑨ グローバル補助金への申請の抵抗感をなくす情報発信を行う。

4. 目標

15年目となるグローバル補助金で過去に申請していないクラブの申請や姉妹クラブ・友好クラブを活かして補助金事業の展開を促す。

公共イメージの向上、地域における良い評価の形成に取り組む。

5. タイムスケジュール

8月 委員会開催(補助金の勉強会・奨学事業の申請について) ZOOM

9月5日(土) ロータリー財団補助金管理セミナー

グローバル補助金の相談および申請は随時受付

奨学金については10月31日申請の締め切り

11月委員会にて審査

12月奨学金の審査会・提唱クラブおよび申請者との面談

12月ホストクラブの選定・カウンセリング依頼

1月奨学金の申請（提唱クラブ）

6. その他（注意事項等）

- ① 申請期限：随時（但し6月1日～6月30日の間は不可）申請書の提出を受けて、地区内での審査会は随時開催されます。
*奨学金の申請は、9月1日～10月31日の期間とします。
- ② ホストパートナー（実施国）が企画しているプロジェクトの場合は、ホストパートナーの申請書等、日本語で事業内容の詳細を添付して下さい。
- ③ プロジェクトの報告書の提出期限は、プロジェクト終了後2か月以内です。

2840地区 グローバル補助金 申請・実績一覧

2024.4.22 現在

年度	事業内容	重点分野	申請日	クラブ	ホストクラブ	実施国	2840 地区 ---- (単位: US ドル)				US ドル 総事業費	地区承認	承認 NO	結果
							現金	DDF	WF	合計				
2012～2013	リハビリ治療用機器の寄贈	疾病予防と	2013 2015/1/25	前橋	バヤンツルフ 100RC	モンゴル	11,745	10,000	15,873	37,618	36,897	2013 2015/4/26	GG 1413488	終了
2012～2013	2.遠隔治療のシステム	疾病予防と治療	2013 2015/3/3	沼田	バリタハラ RC	バングラデシュ	3,000	19,773	21,273	44,046	48,546	2013 2015/5/20	GG 1411381	終了
2013～2014	障害者の職業訓練	基本的教育と識 字率向上	2013 2015/7/20	沼田 中央	台北	台湾	0	4,000	4,000	8,000	52,973	2013 2015/8/7	GG 1410761	終了
2014～2015	眼底カメラの寄贈	疾病予防と治療	2015 2015/3/5	伊勢崎	バンコク南 RC	タイ	1,000	16,000	16,500	33,500	56,600	2015 2015/4/22	GG 1529379	終了
2014～2015	障害者が自立出来る為の支援	経済と地域社会 の発展	2015 2015/4/3	桐生西	サンジャン セントラル RC	フィリピン	500	5,000	5,250	10,750	39,450	2015 2015/4/25	GG 1530036	終了
2014～2015	飲料水の為の 濾過装置設置	水と衛生	2015 2015/6/8	桐生西	チェンマイ ティンタインカム	タイ	2,000	10,000	11,000	23,000	56,000	2015 2015/6/24	GG 1417170	終了
2015～2016	クリーンウォーター 寄贈	水と衛生	2016 2016/3/10	富岡 中央	フィリピン サネットマカティ	フィリピン	500	13,613	13,863	27,975	32,975	2016 2016/3/10	GG 1636872	終了
2015～2016	汚染対策 農業再建対策	経済と地域社会 の発展	2016 2016/3/10	2840 地区	2530 地区 郡山北	2530 地区 郡山	0	10,000	10,000	20,000	199,138	2016 2016/3/10	GG 1639968	終了
2015～2016	GG奨学金 大澤 瑞帆	経済と地域社会 の発展	2016 2016/3/16	伊勢崎	1060 地区	イギリス バーミンガム	500	15,000	15,250	30,750	30,750	2016 2016/4/15	GG 1641114	終了
2016～2017	VTT	聴覚障害児童	2016 2016/11/29	前橋	3450 地区 セルベ RC	モンゴル	0	16,268	16,268	32,536	32,536	2016 2016/12/9	GG 1753008	キャンセル
2016～2017	GG 奨学金 丹波 小桃	経済と地域社会 の発展	2016 2016/11/29	前橋東	1080 地区	イギリス	300	15,000	15,150	30,450	30,450	2016 2016/12/26	GG 1755606	終了
2016～2017	超音波装置	疾病予防と治療	2017 2017/2/17	伊勢崎	バンコク南	タイ	500	10,000	10,250	20,750	54,716	2017 2017/2/17	GG 1752529	終了
2016～2017	AED 及び研修	疾病予防と治療	2017 2017/2/24	桐生西	3800 地区 マンダラング	フィリピン	2,000	5,000	6,000	13,000	43,000	2017 2017/2/24	GG 1751693	キャンセル
2016～2017	VTT	疾病予防と治療	2017 2017/3/13	沼田	3280 地区 マドラブ RC	バングラデシュ	500	41,422	41,672	83,594	83,744	2017 2017/3/13	GG 1754234	キャンセル
2017～2018	Disease prevention and trestment in the area of Nan Province	疾病予防と治療	2017 2017/9/10	沼田	3360 地区 マドラブ RC	タイ	12,280	20,500	26,294	59,074	58,594		GG 1759448	終了
2017～2018	障害者用 キッチンプロジェクト	経済と 地域社会の発展	2017 2017/10/26	桐生西	3800・3830 地区 MandaluyongRC	フィリピン	2,000	10,000	11,000	23,000	96,150	2017 2017/10/26	GG 1863140	終了
2018～2019	Home-Visit mobile bathing car service for Hospice Home Care and Bedridden patients	疾病予防と治療	2018 2018/3/11	桐生西	3800 地区 Mandaluyong 等	フィリピン	500	11,000	11,250	22,750	48,501	2018 2018/3/12	GG 1869611	キャンセル
2017～2018	Maternal Health and Child Care Warriors	母子の健康	2018 2018/3/11	桐生西	3800 地区 Mandaluyong 等	フィリピン	500	11,000	11,250	22,750	48,501	2018 2018/3/12	GG 1869611	キャンセル
2018～2019	VTT	聴覚障害児童	2016 2016/11/29	前橋	3450 地区 セルベ RC	モンゴル	0	26,500	26,500	53,000	53,000	2018 2018/11/4	GG 1870900	終了
2018～2019	Apheresis Machine Donation	疾病予防と治療	2018 2018/3/11	伊勢崎	3780 地区 San Francisco delmonte	フィリピン	0	20,000	20,000	40,000	93,000	2019 2018/1/7	GG 1979570	終了
2018～2019	Dumagat Tribe Peppercorn Livelihood Project	経済と地域社会 の発展	2018 2018/7/12	桐生西	3800 地区 Mandaluyong 等	フィリピン	500	11,000	11,250	22,750	51,050	2018 2018/7/12	GG 1977308	キャンセル
2018～2019	Supprt for the multi-cultural on their efforts to local society's development	経済と地域社会 の発展 基本的教育と識 字率向上	2018 2018/7/12	太田	3680 地区 New Daejeon	韓国	2,000	3,123	4,123	9,246	43,246	2019 2018/1/9	GG 1977308	キャンセル
2018～2019	VTT	疾病予防と治療	2019 2017/1/29	沼田	3280 地区 マドラブ RC	バングラデシュ	630	41,422	41,722	83,774	83,774	2019 2019/1/30	GG 1754234	キャンセル
2018～2019	VEHICLE FOR COLLECTING BLOOD	疾病予防と治療	2019 2022/3/12	富岡 かぶら	3420 地区 Bali Taman	インドネシア	500	17,125	17,125	34,750	35,275	2019 2022/4/5	GG 1985635	終了
2019～2020	GG奨学金 赤羽 宏基	母子の健康	2019 2020/6/26	藤岡	1120 地区 Oripington CroftonRC	イギリス	0	30,000	30,000	60,000	60,000	2019 2019/6/28	GG 1986031	終了
2019～2020	Warm Hearts Rehabilitation and Physical Therapy Clinic at Nong Pa Khrang Municipality	疾病予防と治療	2019 2020/6/10	高崎東	3360 地区 チェンマイ RC	タイ	0	2,500	2,500	5,000	36,254	2019 2019/6/12	GG 2091980	終了
2019～2020	Medical and Dental Equipment for the Rural Health Center of Lubang Island	疾病予防と治療	2019 2017/1/29	大泉	3810 地区 マニラプレミアム RC	フィリピン	0	26,250	26,250	52,500	75,000	2019 2019/11/1	GG 2095831	終了
2019～2020	Hepatitis C Elimination In Yuanzhang and Shuilin	疾病予防と治療	2020 2020/5/15	高崎北	3521 地区 台北キャピタルRC	台湾	0	2,250	2,250	4,500	75,100	2020 2020/5/15	GG 2095592	終了
2019～2020	Rotary Face Shield Project against COVID19	疾病予防と治療	2020 2020/6/16	2840 地区	2760 地区	フィリピン ブラジル ペルー マレーシア	0	15,000	15,000	30,000	188,016	2020 2020/6/16	GG 2012088	終了
2020～2021	Safe Water Garden Indonesia	水と衛生	2021 2021/2/18	2840 地区	2760 地区	インドネシア	0	3,000	3,000	6,000	45,000	2021 2021/2/18	GG 2121887	終了
2021～2022	Prevent COVID-19 Potable Drinking Water and Improvement of Sanitation of Public Schools in Pulilan	疾病予防と治療 水と衛生	2021 2021/4/20	桐生	3770 地区 Pulilan Royales RC	フィリピン	0	19,620	15,696	35,316	42,240	2021 2021/3/15	GG 2125005	終了
2021～2024	GG 奨学生 秋葉光恵	平和構築と紛争 予防	2021 2021/5/12	前橋	1120 地区 BromleyRC	イギリス	0	50,000	50,000	100,000	100,000	2021 2021/2/10	GG 2126409	終了
2021～2023	GG 奨学生 中村翔陽	環境	2021 2021/8/19	高崎 シンフォニー	1560 地区 Wageningen RC	オランダ	0	30,000	24,000	54,000	54,000	2021 2021/1/20	GG 2128478	終了
2021～2022	Pun Suk Center for Palliative and Long-term Cares at Mae Wang Hospital	疾病予防と治療	2021 2021/10/19	高崎東	3360 地区 チェンマイ RC	タイ	0	7,000	5,600	12,600	40,000	2021 2021/10/14	GG 2126883	終了
2023～	Clean Water Saves Lives	水と衛生	2023 2023/9/24	桐生	3770 地区 San Jose Golden RC	フィリピン	0	18,745	14,996	33,741	42,740	2023 2023/5/30	GG 2454110	承認済
2023～	Solar Power and Wash Project for Sitio Langis	水と衛生 地域社会の経済 発展		太田	3770 地区 Ilagan RC	フィリピン	0	22,500	18,000	40,500	49,500	2023 2023/5/30	GG 2350499	作成中
2023～	Weaving a Better Future: Pun Livelihood Program for the Women of Bulacan	地域社会の経済 発展	2023 2023/12/13	桐生西	3770 地区 Malolos Congresso RC	フィリピン	0	16,667	13,333	30,000	39,000	2023 2023/5/30	GG 2454078	承認済
2023～	GG 奨学生 松井理紗	基本的教育と識 字率向上	2024 2024/3/25	沼田	9810 地区 Monash RC	オーストラ リア	0	30,000	24,000	54,000	54,000	2023 2023/11/1	GG 2461207	承認済
2023～	治療の一環として放射線診断サ ービス (X線) を提供する	疾病予防と治療	2024 2024/3/29	沼田	3141 地区 Circuit Makati RC	フィリピン	6,060	33,300	26,640	66,000	66,000	2024 2024/3/23	GG 2457241	実行中
2024～	環境に関連した仕事で活躍してい くことを目指す専門職業人のため の大学院レベルの奨学金支援	環境	2024 2024/6/10	高崎	1130 地区 Edononton	イギリス	0	30,000	24,000	54,000	54,000	2024 2024/6/10	GG 2465040	実行中
2024～	GG 奨学生 平林真理	環境	2025 2025/4/30	前橋西	1040 地区 Headingiey	イギリス	0	34,820	27,856	62,676	62,676	2025 2025/1/29	GG 2578265	実行中

年度	事業内容	重点分野	申請日	クラブ	ホストクラブ	実施国	現金	DDF	WF	ロータリ アン以外	合計	総事業費	地区承認	承認 NO
2023～	新北市新住民向け中国教材のデ ジタル化と新市民の教師の研修	基本的教育と 識字率向上	2024 2024/4/17	高崎 セントラル	3523 地区 HWA YANG RC	タイ	18,000	8,000 (申請国)	6,400	11,000	43,400	43,400	* 必要なし	GG 2454159

* 2840 地区の DDF を使用していません。

地区行動計画推進委員会

委員長	田中 久夫（高 崎 R C）	副委員長	湯澤 晃 （前橋北 R C）
副委員長	保坂 充勇（沼 田 R C）	委 員	<ガバナーノミニ>
副委員長	森 末廣 （桐 生 R C）	担当幹事	櫻井 正晴（安中 R C）

1. 概要

RI は、昨年度から「Action Plan」（「行動計画」）を推奨し、その実践の旗振り役を「Action Plan Champion」と呼んでいます。そしてその役職者（Champion）を、世界 34 ゾーンに一人ずつ指名し、また各地区（世界で約 520 地区）にもその役職者を一人ずつ選任するように推進してきました。

当地区では現在、田中 PG がその任に就いています。その後、RI は各クラブにも Champion を一人置くように指示して、短い期間にその効果（クラブリーダーがクラブの活動を Action Plan に照らし、より時代にあったクラブ作りと奉仕活動の実践ができること）を拡大することを目指しています。そのため当地区でも、各クラブから Champion 1 名を選任しています。

2. 目指すところ

クラブの Action Plan Champion（APC）は、ロータリーの Action Plan について学び、行動を起こすことから始めます。Action Plan は、ロータリーのこれまでの成功を礎とし、ロータリーが今後も成長を続け、人びとをつなぎ、末永く続くインパクトをもたらすための将来の方向性を決めるものです。Action Plan の優先事項の目標についてクラブで話し合い、その結果を基に独自の戦略を立て奉仕プロジェクトに結びましょう。

3. 具体的な行動

まずは、Action Plan（行動計画）の「4つの優先事項」を知ることです。

（1）より大きなインパクトをもたらす

- ① インパクトをもたらす奉仕プロジェクトの第一は「ポリオ根絶」です
- ② 地域のニーズ調査を実施する
- ③ 奉仕活動の焦点を定める
- ④ グローバル補助金または地区補助金を活用する
- ⑤ プロジェクトの実施前と実施後に評価を行う

（2）参加者の基盤を広げる

前々年度 RI 会長のアーチック氏は Action Plan を推進することをその後の連続 3 年度の重要な目標としました。国際ロータリーの理事会は活動の継続性を重要な課題と位置づけ、3 カ年計画の策定を地域、地区、またクラブに推奨しています。これを「3-year rolling goals」と呼んでいます。

- ① クラブの会員増強に加え、地域社会の新しいグループと協力の可能性を探る
- ② 地区で新クラブの設立を検討する

- ③ 説得力のあるストーリーを伝える
- ④ 公共イメージの向上
- (3) 参加者の積極的なかわりを促す
 - ① 人として、また職業人として重要な価値を現会員に提供することに注力する
 - ② ロータリーと関わるすべての人を「参加者」とみなす
 - ③ ラーニングセンターを活用する
- (4) 適応力を高める
 - ① 地域社会での新しい活動や奉仕プロジェクトのアイデアを募る
 - ② 新しいアイデアを試すため、少額の資金を確保しておく
 - ③ クラブ内の役職、手続、タスクについて見直す
 - ④ 引継ぎ計画を策定する

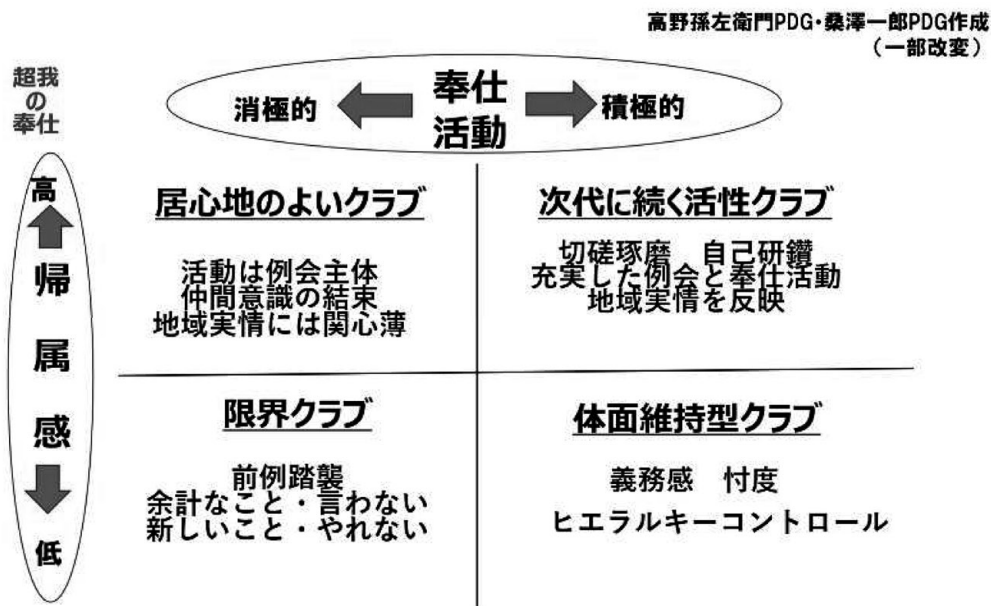
4. 今年度の事業計画

今年度は、「Action Plan」にいう「3-year rolling goals」の3年目です。まず、クラブの APC の皆さんと一堂に会しての進捗度を確認する勉強会を開催します。その第一弾としては、5月16日（土）に開催（会場：安中市文化センター）予定の CLLS・クラブリーダーシップ・ラーニング・セミナー（旧：地区研修・協議会）において、樋口 明氏（RID2590PDG、RI 第2地域 ARMC）をお呼びしての勉強会を行います。その後は、何度かの勉強会を予定しています。クラブの APC の皆さんの積極的な参加をお願いします。

会員組織強化委員会

委員長	中野 正美（太 田 R C）	委 員	荻原 丈始（新 田 R C）
副委員長	湯澤 晃（前橋北 R C）	委 員	小暮 雅丈（館 林 R C）
委 員	菊川 善明（前 橋 R C）	委 員	齋藤 清海（渋 川 R C）
委 員	草刈 晋一（桐生赤城 R C）	委 員	小貫 智太郎（藤岡南 R C）
委 員	大木 孝之（伊勢崎東 R C）	委 員	青山 豊（桐生西 R C）
委 員	井汲 憲治（高崎シブフォニー R C）	担当副幹事	坂上 順一（安 中 R C）

会員組織強化を一律に行うのではなく、クラブ基盤強化に向けた挑戦として、クラブの傾向を以下の4種類に分けて、それぞれに合った傾向と対策を模索していく



特に新会員や中堅会員の視点で、「話しやすさ」「助け合い」「チャレンジ」「歓迎ムード」を積極的に取り入れるようにして、退会防止に努め楽しく元気なクラブになれるよう、目標を掲げてロータリーライフを楽しめるようにしましょう。

委員には8名のガバナー補佐をお願いしています。補佐の方々のクラブ訪問時には上記の表を念頭にクラブ会長・幹事、会員と楽しいクラブ作りのご指導・ご支援をお願いいたします。

また様々な事情でやむを得ず退会せざるを得なかった元会員をリストアップして分区内で衛星クラブを作れるよう、会長・幹事会などで情報交換をできればよいと考えます。委員会内でも情報交換も企画したいと思います。

【活動目標】

1. 楽しく、元気なクラブ作りのためのアドバイス・支援
2. 各種セミナーへの協力
3. 地区内各委員会への協力
4. 衛星クラブの設立

参加意欲向上委員会

アドバイザー	山田 邦子（前 橋 R C）	委 員	高橋 寿美江（高崎シンフォニー R C）
委員長	星野 儼日（桐生南 R C）	委 員	春山 和久（渋川みどり R C）
副委員長	下田 恭子（伊勢崎中央 R C）	委 員	中澤 翔（沼田 R A C）
委 員	島田 峰子（伊勢崎東 R C）	担当副幹事	相川 北斗（安 中 R C）

1. 委員会の使命・役割

ロータリー活動への参加促進のためには、会員自身が自クラブに対して魅力と可能性を感じることにある。そのためには、他クラブの多様な取り組みに触れることで、新たな活動への原動力（インパクト）を創出するとともに、自クラブの価値を再発見する『ロータリーを語ろう 2.0』の場を創り出す。

2. 委員会活動の現状認識

前身 DEI 推進委員会による 2 年間の活動を通じ、奉仕活動への疑問や、帰属意識の希薄さという課題が浮き彫りとなった。この要因は、自クラブの活動のみをロータリーの全てと捉えることによる活動の固定化と「閉そく感」にある。この現状を打破し、会員の充実したロータリーライフを実現するためには、外部との交流による意識変革が不可欠である。

3. 委員会事業計画

竹中年度の事業計画と併せて、当年度では各クラブにおいて、

- ① クラブ会員にメイクアップを促し、クラブ間交流を通じて新たな気づきを得るための働きかけ
 - ② SNS の積極活用による情報共有の可視化（#メイクアップ 2840）
 - ③ 交流を通じた奉仕活動への意欲向上および帰属意識の変化の定量的把握
- というような働きかけをしていきたい。

4. 目標

- ・他クラブへのメイクアップ数：対前年比 10% 増（交流による「インパクト」の創出）
- ・他クラブのユニークな活動を取り入れたクラブ数：対前年比 10% 増（自クラブの「ビジョン」の再構築）

5. タイムスケジュール

年 4 ～ 5 回の委員会を開催し、以下の内容を取り組む

- ・ 1Q（7-8 月）：当委員会の方針の周知、各クラブ会員のメイクアップ実数の把握
- ・ 2Q（9-12 月）：メイクアップ交流の促進
- ・ 3Q（1-3 月）：クラブ間交流月間の設定（相互訪問の推奨）
- ・ 4Q：次年度に向けた振り返りと、調査結果のフィードバック

公共イメージ・ICT推進委員会

委員長	田嶋 宏樹（前橋南 RC）	委 員	佐藤 健二（高崎北 RC）
副委員長	前田 修（前 橋 RC）	委 員	茂木 光男（高崎東 RC）
副委員長	塩谷 勝利（前橋北 RC）	委 員	長柄 光則（館 林 RC）
委 員	美原 貫（伊勢崎中央 RC）	委 員	田中 正弘（藤 岡 RC）
委 員	佐藤 弘之（高 崎 RC）	委 員	今井 朱里（沼田 RAC）
		担当副幹事	田村 光三（安中 RC）

1. 委員会の使命・役割

公共イメージ・ICT 推進の 2 つの活動を行います。

- ① 昨年度から行っている、ロータリー・リブランディング戦略を引き継ぎ、公共イメージアップを主軸に、地域の人々、若い世代の多くの人々にロータリーの活動を知ってもらう。
- ② ICT 推進としては、SNS での情報発信は継続的に行い、ロータリー活動の効率化、コミュニケーションアップを図る。

2. 委員会活動の現状認識

現在、ロータリーの広報動画を YouTube 広告としてネット媒体での PR を行った。また地域マスメディアとしてロータリーデイに上毛新聞掲載広告を掲載した。

また、新たな取り組みとして、ロータリーカードの発行を行い、ロータリー活動をより多くの人々へ知ってもらう活動を行っております。

3. 委員会事業計画

公共イメージアップとして、地域マスメディアの上毛新聞を活用したロータリー認知度向上の情報発信を行います。併せて、個々のロータリアンがロータリー活動を相手とその先にいる人々にもより深い理解をしていただけるよう、ロータリーカードの配布を継続して行います。

ICT 推進としては、SNS の発信について地区やクラブ会員へ情報発信を行える環境構築のサポート、情報発信での注意点やガイドライン作成を行っていきます。

また、試作事業として、地区行事等のリアル開催とオンライン開催の併用化を行います。

もう一つ新しい試みとして、今年度よりロータリー事務局のDX化推進を行います。

地区内で事務局の ICT 導入を行っているクラブに、活用事例を発表してもらい、事務局業務の効率化の推奨をしていきます。

4. 目標

- ① ロータリー・リブランディング戦略計画の継続
- ② マスメディアとロータリアンカードを用いた公共イメージの向上
- ③ SNS 活用のサポートとガイドラインの策定
- ④ ロータリアンカードの製作配布
- ⑤ 事務局業務の DX 化推進
- ⑥ ローターアクトとの情報交換

5. タイムスケジュール

クラブ運営管理セミナーでの事務局 ICT 化事例発表（5 月）

委員会 年 4 回予定（7 月、11 月、1 月、4 月）

ローターアクトとの情報交換

ロータリーデー新聞広告、ロータリアンカード印刷（地区大会）

各クラブへの情報提供（随時）

6. 事業予算

収入		支出	
公共イメージ振興基金	1,421,000 円	上毛新聞 PR 広告	600,000 円
セミナー開催費	100,000 円	ロータリアンカード印刷	220,000 円
		H P 作成、I C T 推進補助	350,000 円
		オンデマンド配信準備費	100,000 円
		ICT セミナー	100,000 円
		RAC 全研 PR 補助	100,000 円
		会合費	30,000 円
		活動予備費	21,000 円
合計	1,521,000 円	合計	1,521,000 円

国際大会推進委員会

委員長 小林 聡 (桐生西RC)	委員 清水 剛 (高崎北RC)
委員 園部 泰士 (伊勢崎中央RC)	委員 西野 宏 (高崎シフォニーRC)
委員 村上 文治 (高崎RC)	委員 関井 宏一 (館林RC)
	担当副幹事 田村 光三 (安中RC)

1. 委員会活動の現状認識

開催期間：2027年6月26日(土)～30日(水) 開催地：バルセロナ(スペイン)

ロータリーの国際大会は、世界中の志を同じくする仲間と肌で触れ合い、ロータリーのスケールを五感で享受できる唯一無二の祭典です。2027年の舞台は、サグラダ・ファミリアを擁する芸術の都バルセロナです。この歴史と革新が共存する地で、私たちは「未知の文化」という最高の刺激に出会うことになります。昨今の円安や物価高騰は、確かに大きな壁かもしれませんが、しかし、その壁を越えてでも得るべき「一生モノの体験」がそこにはあります。地区全体で知恵を絞り、早期登録のメリットを最大限に活かしながら、一人でも多くの会員がこの「情熱の地」へ踏み出せるよう、参加機運を最高潮に高めていく必要があります。

2. 委員会事業計画

- ・ **バルセロナが放つ「知的好奇心」への刺激**：ガウディの芸術、歴史的建築、そしてスペインの活気。これらがもたらす「人生の豊かさ」を強調し、会員の皆様の旅心を揺さぶる広報を展開します。
- ・ **世界基準の最新情報の共有**：今、ロータリーが世界で何を成そうとしているのか。バルセロナから発信される最新の動向を、いち早く地区内へ届けます。
- ・ **国境を越えた「再会と絆」の創出**：友好・姉妹クラブとの現地での再会や、スペインのクラブとの新たな交流を積極的に後押しし、国際奉仕の原点を体感していただきます。
- ・ **委員会一丸となった多角的アプローチ**：各委員会と手を取り合い、多角的な視点から「なぜ今、バルセロナなのか」を熱く語りかけます。
- ・ **「安心と感動」を両立する地区ツアーの提供**：初めての欧州、初めての国際大会でも安心して飛び込めるよう、コストパフォーマンスと安全性を徹底追求した、心の通うツアーを企画します。
- ・ **SNS・月信を通じたライブ感のある発信**：デジタルとアナログの両面から、バルセロナの魅力をタイムリーに届け、期待感を醸成します。

3. 目標

国際大会は、自クラブだけでは踏み出しにくい一步を、地区全体で支え合う絶好の機会です。特に友好クラブを持つクラブには、この大会を「交流の再燃」や「共同事業の種」を見つけるプラットフォームとして活用していただきたいと考えています。

4. タイムスケジュール

	6月	8月	9月	12月	2月	3月	5月	6月
国際大会登録								
特別プロモーション割引	●							
早期登録による割引				●				
特別割引料金が適用される最終日					●	●		
事前登録による割引の最終日						●		
オンライン登録の最終日							●	
地区ツアー計画の策定	○							
ガバナー月信へ地区ツアー計画の告知		○						
ガバナー月信へ過年度参加者の報告記事掲載		○	○	○				
	6月	8月	9月	12月	2月	3月	5月	6月
各クラブへの参加要請		○						
参加予定者の集計、再依頼					○			
参加予定者への説明会開催						○		
参加報告会の開催								○

※委員会開催（6月、7月、9月、12月、2月、4月）

5. 計画と参加実績

年度	開催都市	目標	実績
2020-21 山田年度	台北	50	バーチャル開催
2021-22 足立年度	ヒューストン	50	バーチャル開催
2022-23 中野年度	メルボルン	50	10
2023-24 保坂年度	シンガポール	50	34
2024-25 森 年度	カルガリー	50	集計中
2025-26 竹中年度	台北	100	計画中
2026-27 竹中年度	バルセロナ	50	本計画

奉仕プロジェクト委員会

アドバイザー	山田 邦子	(前 橋RC)	委員	石原 保幸	(前橋東RC)
委員長	島田 渉	(前橋南RC)	委員	大木 孝之	(伊勢崎東RC)
副委員長	高橋 昭紀	(沼田中央RC)	委員	高井 俊一郎	(高 崎RC)
副委員長	戸塚 和昭	(前橋東RC)	担当副幹事	坂上 順一	(安 中RC)

1. 委員会の使命・役割

ロータリークラブの七つの重点分野「平和の推進と紛争の予防」「疾病との闘い」「水と衛生」「母子の健康」「基礎教育と識字率向上」「地域経済の発展」「環境の保護」を、意識した奉仕活動に繋がるプロジェクトの立案を行い、関連委員会と協力してクラブを支援する。

2. 委員会活動の現状認識

今年度より委員会名が「社会奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会」から「奉仕プロジェクト委員会」に変わり、関連委員会との協力がより一層必要になると考えられる。

広い視野での奉仕活動を意識し、様々な奉仕活動の立案を行えるよう努めたい。

委員会開催 2～3 回予定。

3. 委員会事業計画

2027 年 1 月 17 日（日）午後 前橋問屋センター会館にて「奉仕プロジェクトセミナー」を開催予定。

内容/知的・身体などに障害のある方の雇用に関するリソース（案）

障害のある方の雇用から就業、離職後のサポートなど、ロータリークラブで支援できることを提案する内容としていく予定。

委員会で細部は検討。

他団体や関連委員会と連携して、様々な奉仕プロジェクトの紹介をしていく。

4. 目標

奉仕プロジェクトの事例紹介や、他団体などの奉仕活動の情報をロータリー月間にちなんだ月信投稿や各種情報発信を関連委員会と連携しながらクラブを支援していく。

5. タイムスケジュール

委員会開催予定

2026 年 5 月（次年度活動方針の検討）、7 月（具体的な活動内容の検討）

10 月、12 月（2027 年 1 月セミナーの打ち合わせ）

2027 年 1 月 17 日（日）午後 前橋問屋センター会館（セミナー開催）

2 月（セミナーの反省会）

以降、必要に応じて委員会を開催。

青少年交換委員会

委員長	新井 聡 (前橋西 RC)	委 員	久保 貴則 (伊勢崎 RC)
副委員長	舟木 諒 (前橋西 RC)	委 員	菊池 文也 (伊勢崎中央 RC)
副委員長	宇田 栄二 (渋 川 RC)	委 員	飯島 芳臣 (高崎シフォニー RC)
委 員	<ガバナーノミニ>	委 員	中山 雅之 (安 中 RC)
委 員	有路 祐樹 (前橋北 RC)	担当副幹事	飯島 岳史 (安 中 RC)

1. 委員会の使命・役割

ロータリー青少年交換プログラムは、海外の人びとと交流し、外国での生活を通じて異文化を体験する機会を青少年に提供することで、異文化出身の学生との交流を通じて、受入クラブ、ホストファミリー、そして地域社会が豊かにし、プログラムを通じて、青少年の国際理解と親善の精神を育み、平和の構築と維持に不可欠な異文化理解能力の養成にも役立つものです。

当委員会では、青少年交換学生の派遣・受入にあたり、ガバナーの監督の下、ガバナー補佐、スポンサークラブ、ホストクラブ、ホストファミリー、学校等と連携して有意義なプログラム遂行のために活動していきます。

2. 委員会活動の現状認識

短期交換プログラム

夏休み期間中の1ヶ月間、ドイツ、フランス、フィンランドへ3名派遣並びに受入。

長期交換プログラム

8月中旬から翌年7月までの期間、アメリカ2名、フィンランド1名派遣並びに受入。

3. 委員会事業計画

短期交換プログラム

5名程度の派遣候補生並びに受入学生の準備。

長期交換プログラム

5名程度の派遣候補生並びに受入学生の準備。

委員会組織

委員会は派遣学生担当、受入学生担当、募集・選考・研修担当の役割分担。

コーディネーター

医療関係（ワクチン接種等の医療系アドバイス担当）、派遣準備関係（ビザ取得支援、派遣地区とのマッチング支援）を委員会の後方援助として協力していただく方。

委員長が就任依頼し、任期は1年とします。

全クラブプログラム参加の推進

ガバナーの提案に基づき、全クラブがプログラムに参加できるようガバナー指導の下円滑に進む計画作成。

ホストファミリーバンクの設立

ロータリアン家族を中心に、派遣学生 OB、OG 家族、受入に興味ある家庭へホストファミリー登録を呼びかける。

危機管理

国際ロータリーの「青少年と接する際の行動規範に関する声明」を採用する。

4. 目標

- ① 本プログラムに参加する高等学校の拡大と、参加するクラブの推進。
- ② ROTEX（青少年交換学友会）との更なる連携により本プログラムの充実。
- ③ 派遣先地区の拡大を図る。
- ④ 派遣学生の事前オリエンテーションの更なる充実を図る。
- ⑤ 受入学生のオリエンテーション・情報交換会等による受入学生とのコミュニケーションの更なる充実を図る。
- ⑥ ホストクラブ、ホストファミリーとの連携強化の推進。
- ⑦ 青少年交換プログラムの各種手続き、作業等多岐にわたる会務を委員会内で共有し、会務の理解推進を図る。
- ⑧ 本委員会活動により青少年奉仕の理想を追求し、プログラム参加クラブの順番制を図る。
- ⑨ プログラム参加クラブの理解、増大を図るため、各分区より委員会への派遣をお願いし、派遣委員を通じて分区内の各クラブへ少しずつ青少年交換プログラムへの参加を呼びかける。
- ⑩ 青少年交換プログラム参加者（派遣学生）が帰国し、高校卒業後、ローターアクトクラブへ加入できるような仕組みをローターアクトクラブと連携を図る。
- ⑪ 72 時間ルールを遂行できるように危機管理委員会と密な連絡を図っていく。

5. タイムスケジュール

7 月：2026-2027 受入学生歓迎会 2025-2026 派遣学生帰朝報告会開催

2027-2028 派遣学生募集

青少年交換委員長会議（RIJYEM 主催）

8 月：2026-2027 受入学生、ホストクラブ、ホストファミリーオリエンテーション

派遣候補生選考会（選考、判定）

9 月：受入学生オリエンテーション

次年度派遣先クラブ調整開始

ホストファミリーバンク設立準備

10 月：帰国学生、受入学生地区大会参加

11 月：派遣候補学生、受入学生オリエンテーション

12 月：派遣候補学生、受入学生、ホストクラブ、ホストファミリーオリエンテーション

青少年交換委員長会議（RIJYEM 主催）

1 月：派遣候補学生オリエンテーション

2 月：派遣候補学生オリエンテーション

次年度派遣学生の募集準備、学校説明等の開始

3 月：派遣候補学生、ホストクラブ、ホストファミリーオリエンテーション

4月：派遣候補学生オリエンテーション

受入学生研修旅行

5月：日本青少年交換研究会参加（愛知）

6月：2025-2026 受入学生送別会と 2026-2027 派遣学生壮行会開催

※委員会はオリエンテーション時及び必要に応じ都度開催。

6. 事業予算

収入		支出	
委員会予算より			
事業費	3,349,500	事業費	
		クラブ支援金	2,400,000
		通学費	200,000
歓迎会・帰朝報告会登録料	230,000	歓迎会・帰朝報告会	312,000
クリスマス会登録料	310,000	クリスマス会	412,000
壮行会・送別会登録料	310,000	壮行会・送別会	412,000
		ROTEX 交通費	177,500
IBS 全国青少年交換研究会 参加費	150,000	全国青少年交換研究会 IBS 参加登録費及び旅費	240,000
		全国青少年交換研究会登録費	75,000
	30,000	オリエンテーション室使用料	50,000
移動オリエンテーション登録料	120,000	移動オリエンテーション	221,000
	4,499,500		4,499,500
委員会活動費	120,000	会議開催費	120,000
合計	4,619,500	合計	4,619,500

(内訳次ページ参照)

※内訳

支援金 3 クラブ×80 万 (制服代+HF 謝礼+小遣い)

HF 謝礼 40,000×11 か月=440,000 円

小遣い 10,000×11 か月=110,000 円

制服代 =150,000 円

計=690,000 円

歓迎会 (3 クラブ)・帰朝報告会 (長 3, 短 3 クラブ) 会・幹・委員長・カ

支出 クラブ 9×4 人=36 人

OBS 6 人

IBS 3 人

OBS 家族 6 人×2 人=12 人

IBSHF 3 人×2 人=6 人

委員会 =10 人

ROTEX = 5 人

計 =78 人×4,000 円=312,000 円

収入 (36+10) ×5000=230,000 円

クリスマス会 壮行会 (10 クラブ)・送別会 (3 クラブ)

支出 クラブ 13×4 人 =52 人

派遣候補生 (長 5 人 短 5 人) =10 人

派遣候補生家族 =20 人

IBS HF 3 人×2 人 = 6 人

委員会 =10 人

ROTEX = 5 人

計 =103 人×4,000 円=412,000 円

収入 (52+10) ×5000=310,000 円

移動オリエンテーション バス代 200,000 円

昼食代 1,500 円×14 人=21,000 円

登録料 カウンセラー 3 人×15,000 円=45,000 円

委員会 5 人×15,000 円=75,000 円

2026-2027年度 第2840地区青少年交換プログラム スポンサー・ホストクラブ 及び 派遣学生・受入学生

種類	派遣 学生数	性別	派遣学生 輩出学校	学年	学生 居住地	学校 所在地	スポンサークラブ ＝ ホストクラブ	交換相手地区	受入学生 性別	受入学生 年齢	受入 学生数
長期 交換	3	女子	四ツ葉学園	1年	伊勢崎市	伊勢崎市	伊勢崎RC	5080 アイダホ	女子	17	3
		男子	共愛学園	3年	太田市	前橋市	太田RC	5950 ミネソタ	男子	17	
		女子	新島学園	1年	吉岡町	前橋市	安中RC	1385 マルチ フィンランド	女子	17	
短期 交換	3	女子	共愛学園	2年	前橋市	前橋市	前橋西RC	1842 マルチ ドイツ	女子	16	4
		女子	共愛学園	2年	太田市	前橋市	太田西RC	1650 フランス	女子	17	
		女子	新島学園	2年	前橋市	安中市	安中RC	1385 マルチ フィンランド	女子	17	
							前橋西	5100 オレゴン	女子	17	

第2840地区青少年交換プログラム実績一覧表（2010-11年度～2025-26年度）

1. 年度別実績

【長期交換】

年度	派遣 学生数	派遣学生 輩出学校	スポンサークラブ ＝ ホストクラブ	交換相手地区	受入 学生数
2010-11	4	共愛学園	前橋西	5100 オレゴン	4
		共愛学園	前橋東	5650 ネブラスカ	
		樹徳高校	桐生南	5950・5960 ミネソタ	
		新島学園	安中	7170 ニューヨーク	
2011-12	2	樹徳高校	桐生南(スポンサー)	5650 ネブラスカ	0
		共愛学園	伊勢崎(スポンサー)	5100 オレゴン	
2012-13	6	共愛学園	前橋西	7170 ニューヨーク	6
		四ツ葉学園	伊勢崎	5100 オレゴン	
		四ツ葉学園	伊勢崎中央	5650 ネブラスカ	
		共愛学園	高崎シンフォニー	5950・5960 ミネソタ	
		太田高校	新田	5650 ネブラスカ	
		農大二高	富岡	5950・5960 ミネソタ	
2013-14	5	樹徳高校	桐生南	5650 ネブラスカ	5
		四ツ葉学園	伊勢崎	5100 オレゴン	
		樹徳高校	伊勢崎	5650 ネブラスカ	
		共愛学園	渋川	5950・5960 ミネソタ	
		新島学園	安中	7170 ニューヨーク	
2014-15	3	共愛学園	前橋西	5100 オレゴン	3
		共愛学園	前橋東	6060 ミズーリ	
		四ツ葉学園	伊勢崎	5950・5960 ミネソタ	
2015-16	5	樹徳高校	桐生赤城	7170 ニューヨーク	5
		四ツ葉学園	伊勢崎	5950・5960 ミネソタ	
		共愛学園	高崎北	5890 テキサス	
		館林高校	館林	5630 ネブラスカ	
2016-17	5	新島学園	安中	5100 オレゴン	5
		共愛学園	伊勢崎	5100 オレゴン	
		農大二高	高崎	7170 ニューヨーク	
		健大高崎	高崎東	5630 ネブラスカ	
		四ツ葉学園	太田南	5890 テキサス	
2017-18	4	新島学園	安中	5950・5960 ミネソタ	4
		本庄高校	藤岡北	5950・5960 ミネソタ	
		共愛学園	前橋東	5630 ネブラスカ	
		共愛学園	伊勢崎	5950・5960 ミネソタ	
2018-19	4	四ツ葉学園	伊勢崎中央	5890 テキサス	4
		新島学園	安中	5100 オレゴン	
		本庄東	伊勢崎RC	5100 オレゴン	
2019-20	2	新島学園	富岡RC	5890 テキサス	2
		本庄東	伊勢崎RC	# オレゴン	
2019-20	2	新島学園	富岡RC	# テキサス	2

【長期交換】

年度	派遣 学生数	派遣学生 輩出学校	スポンサークラブ ＝ ホストクラブ	交換相手地区	受入 学生数
2020-21	1	四ツ葉学園	伊勢崎RC	5890 テキサス	(中止)
2021-22					(中止)
2022-23					(中止)
2023-24					(中止)
2024-25	3	四ツ葉学園	伊勢崎	9560 オーストラリア	3
		新島学園	安中	3490 台湾	
		新島学園	高崎北	5100 オレゴン	
2025-26	3	新島学園	高崎	5080 アイダホ	3
		共愛学園	高崎シンフォニー	5100 オレゴン	
		共愛学園	渋川	5890 テキサス	

【短期交換】

年度	派遣 学生数	派遣学生 輩出学校	スポンサークラブ ＝ ホストクラブ	交換相手地区	受入 学生数
2010-11	0				0
2011-12	0				0
2012-13	4	共愛学園	前橋西	5100 オレゴン	2
		四ツ葉学園	群馬境	5100 オレゴン	
		樹徳高校	館林東(スポンサー)	6250 ウィスコンシン	
		新島学園	安中(スポンサー)	6250 ウィスコンシン	
2013-14	3	前橋女子高	前橋西	5100 オレゴン	3
		四ツ葉学園	伊勢崎東	5100 オレゴン	
		四ツ葉学園	新田	6250 ウィスコンシン	
2014-15	3	四ツ葉学園	桐生	6250 ウィスコンシン	2
		樹徳高校	桐生南(スポンサー)	5100 オレゴン	
		四ツ葉学園	太田中央	5100 オレゴン	
2015-16	1	四ツ葉学園	伊勢崎中央	5100 オレゴン	1
2016-17	0				0
		四ツ葉学園	前橋北	5910 テキサス	
2017-18	2	樹徳高校	桐生	5100 オレゴン	3
			桐生	5100 オレゴン	
2018-19	0				0
2019-20	1	不動岡高校	館林RC	5100 オレゴン	1
2020-21	2	共愛学園	伊勢崎中央	5100 オレゴン	中止
		四ツ葉学園	伊勢崎	5100 オレゴン	
2021-22	0				中止
2022-23	0				中止
2023-24	0				中止
2024-25	2	新島学園	安中	マルチ ドイツ	2
		四ツ葉学園	伊勢崎中央	マルチ ドイツ	
2025-26	1	新島学園	安中	5100 オレゴン	1

(右上に続く)

2. 分区(クラブ)別実績 (長期交換)

分区 年度	第1分区		第2分区A		第2分区B		第3分区		第4分区A		第4分区B		第5分区		第6分区		計
	人数	クラブ	人数	クラブ	人数	クラブ	人数	クラブ	人数	クラブ	人数	クラブ	人数	クラブ	人数	クラブ	
2010-11	2	前橋西 前橋東	1	桐生南											1	安中	4
2011-12			1	桐生南	1	伊勢崎											2
2012-13	1	前橋西			1 1	伊勢崎 伊勢崎中央	1	高崎 シンフォニー	1	新田					1	富岡	6
2013-14			1	桐生南	1 1	伊勢崎 伊勢崎							1	渋川	1	安中	5
2014-15	1 1	前橋西 前橋東			1	伊勢崎											3
2015-16			1	桐生赤城	1	伊勢崎	1	高崎北			1	館林			1	安中	5
2016-17					1	伊勢崎	1 1	高崎 高崎東	1	太田南					1	安中	5
2017-18			1	桐生	1	伊勢崎									2	安中	4
2018-19	1	前橋東			1 1	伊勢崎 伊勢崎中央									1	安中	4
2019-20					1	伊勢崎									1	富岡	2
2020-21					1	伊勢崎											中止
2021-22																	中止
2022-23																	中止
2023-24																	中止
2024-25					1	伊勢崎	1	高崎北							1	安中	3
2025-26							1 1	高崎 高崎 シンフォニー					1	渋川			3
計	6		5		13		7		2		1		2		10		46

インターアクト委員会

委員長	田原 明岬（伊勢崎南 RC）	委 員	牧野 英輔（高 崎 RC）
副委員長	坂田 晴彦（桐生南 RC）	委 員	吉井 幸広（前橋東 RC）
		担当副幹事	川島 博（安 中 RC）

1. 委員会の使命・役割

インターアクト委員会は、ロータリークラブにおいて、このインターアクトクラブの活動を支援し、青少年の育成に貢献する重要な役割を担っています。

- a) インターアクトに関する地区全体の活動を調整する
- b) ガバナー補佐や各クラブと定期的に連絡を取りながら、プログラムへの参加を奨励する。
- c) プログラム参加者を行事に招いてプログラムの体験談を紹介してもらい、インターアクトを推進する。
- d) インターアクトクラブの新規結成を支援する。
- e) インターアクトクラブのカウンセラー（顧問）に、青少年の保護を含む研修と支援を行う
- f) 地区内のインターアクトクラブのその他の管理運営機能を監督する。
- g) すべての青少年プログラムへの参加と協力を促し、地区全体で青少年保護を強化するために、他の青少年奉仕地区委員会（RYLAと青少年交換）と連絡を取り合う。

2. 委員会活動の現状認識

インターアクトクラブとは、12歳から18歳の青少年が、ボランティア活動や海外のインターアクト会員との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養っています。

ロータリークラブの支援を受けて設立されるインターアクトクラブでは、仲間と一緒に活動しロータリーの「超私の奉仕」を学び、行動力を身につけます。インターアクトは、ロータリークラブからの指導と支援を受け、プロジェクトを実施し、リーダーシップを養います。

地区内にある15のインタークラブに対し、適切な助言と支援を行い青少年の健全育成に努めます。また、提唱クラブのロータリアンには学校側との関係性や連絡を密にして頂き、インターアクターに安全でよりよい機会の提供をお願いします。

また、毎年、国際交流事業として、台湾インターアクトクラブとの一泊ホームステイを含んだ相互交流を行っております。

同地区間のインターアクター並びにロータリークラブとの関係強化しローターアクターに繋げる。を目指し取り組んで参ります。

3. 委員会事業計画

① インターアクト年次大会

テーマ：夢のを見つけ方 講師：帝京大学法学部政治学科教授 森 吉弘
日 時：7月18日（土） 9時開場 会 場：メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎
提 唱：伊勢崎南ロータリークラブ 伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校

② 国際交流事業

台湾研修 2027 年 3 月 25 日～28 日

台湾学生受入事業 四ツ葉学園歓迎会 2027 年 4 月 23 日

さよならパーティー 2027 年 4 月 24 日

4. 目標

定款に掲げられた 9 の目標を理解し、世界中の若者とより広く理解及び親善を作り出す機会の提供をするものとする。

- (1) 建設的な指導力を養成し、自己の完成を図ること。
- (2) 他人に対する思いやりと、他人の力になる心構えを奨励し、これを実践すること。
- (3) 家庭と家族の重要性に対する認識を涵養（かんよう）すること。
- (4) 個人の価値を認める考え方に立脚して、他人の権利を尊重する観念を養うこと。
- (5) 個人的成功の為にも、地域社会の改善の為にも、更には団体としての業績を上げる為にも、各人が責任を負うことがその基本であると強調すること。
- (6) 自己能力の開発、時間管理、個人の資金管理などの生活力を養うこと。
- (7) 全ての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとして、その品位と価値を認識すること。
- (8) 地域社会、国家及び世界の問題についての知識と理解を深める機会を提供すること。
- (9) 国際理解と全人類に対する善意を増進する為に、個人として、また団体として進むべき道を切り開くこと。

5. タイムスケジュール

2026 年 6 月 委員会開催（顔合わせ・年次大会確認）

2026 年 7 月 委員会開催（年次大会確認・台湾研修確認）

2026 年 9 月 委員会開催（台湾研修について）

2026 年 11 月 委員会開催（台湾研修について）

2026 年 12 月 委員会開催（台湾研修について）

2027 年 2 月 台湾研修オリオンテーション

2027 年 3 月 台湾研修

2027 年 3 月 委員会開催（台湾学生受入について）

2027 年 4 月 台湾学生受入

6. 事業予算

収入		支出	
インターアクト振興資金	2,842,000	年次大会開催費	150,000
インターアクト年次大会協力金	150,000	台湾研修訪問費	1,600,000
		台湾研修受入費	1,200,000
		予備費	42,000
合計	2,992,000	合計	2,992,000

7. その他

提唱クラブ及び学校名

	提唱クラブ	学 校 名
1	前橋 RC	前橋育英高等学校
2	前橋西 RC	群馬県立前橋商業高等学校
3	前橋東 RC	共愛学園高等学校
4	前橋南 RC	クラーク記念国際高校前橋キャンパス
5	桐生 RC	桐生第一高等学校
6	桐生南 RC	明照学園樹徳高等学校
7	桐生西 RC	群馬県立大間々高等学校
8	伊勢崎南 RC	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校
9	高崎南 RC	高崎商科大学附属高等学校
10	高崎東 RC	高崎健康福祉大学高崎高等学校
11	高崎 RC	高崎市立高崎経済大学附属高等学校
12	太田 RC	太田市立太田高等学校
13	新田 RC	群馬県立新田暁高等学校
14	館林 RC	群馬県立館林高等学校
15	安中 RC	新島学園中学校高等学校

RYLA・学友委員会

アドバイザー	山田 邦子 (前 橋 RC)	委員	新井 聡 (前橋西 RC)
委員長	藤澤 真史 (桐生赤城 RC)	委員	青山 豊 (桐生西 RC)
副委員長	村上 大樹 (伊勢崎東 RC)	委員	田原 明岬 (伊勢崎南 RC)
委員	〇〇 〇〇 (RC)	委員	矢内 良春 (伊勢崎南 RC)
委員	串田 洋介 (高崎北 RC)	委員	横山 広樹 (前橋 RAC)
委員	秋山 哲也 (渋 川 RC)	担当副幹事	川島 博 (安中 RC)

1. 委員会の使命・役割

(1) RYLA について

RYLA とは、Rotary Youth Leadership Award であり、14 歳から 30 歳までの青少年を対象とした短期集中型の指導者育成プログラムのことで、日本語では「ロータリー指導者育成プログラム」と訳されています。

このプログラムは、ロータリーが青少年に対してリーダーシップスキルを開発する研鑽の場を提供し、地域社会に良い変化をもたらす人材を育成することを目的とします。また、プログラムを通して青少年にロータリーの奉仕の精神を浸透させ、生涯にわたって奉仕の取り組みを行うようになるきっかけにもなります。

さらに、青少年に未来を切り開く力を与えるプログラムを行うことは、ロータリーの青少年奉仕の実践となります。

(2) 学友について

学友とは、ロータリーのプログラムを通じてロータリー活動を経験した人、すなわちインターアクト、ローターアクト、青少年交換、国際親善奨学生、米山記念奨学生、グローバル補助金による奨学生、GSE、職業研修チーム、RYLA、ロータリー平和フェローを含む、すべてのロータリープログラム修了生の同窓会組織です。

当委員会では、各クラブに協力を仰ぎ、学友の名簿の作成・更新を主とし、学友情報の収集、関係構築と維持をおこなっております。

2. 委員会事業計画

(1) RYLA プログラムについて

ホストクラブは桐生赤城 RC となります。

参加者の興味やニーズ、地域社会の課題をリサーチの上、次世代リーダーの育成に資するリーダーシップスキルを磨くとともに、参加者同士が親睦を深め、生涯続く友情が生まれるプログラムを行います。

また、新型コロナウイルス蔓延以降縮小開催となっている RYLA プログラムについて、在り方やニーズ等のリサーチをおこない、今後どのようにプログラムを開催していくのか、検討する年度にしたいと考えています。

(2) 学友関係

友情と親睦と奉仕の促進を目的とした、学友会名簿の作成を継続していきます。

また、青少年プログラム（インターアクト・ローターアクト・青少年交換・RYLA・米山記念奨学生・グローバル補助金による奨学金制度）を終了した学友に、プログラムの垣根を超え、地区の奉仕プロジェクトや交流事業への参加を呼びかけ、ロータリーとのつながりを継続できる仕組みづくりを検討していきます。

3. スケジュール

2026 年 6 月 第 1 回委員会開催

7 月 ホストクラブ・桐生赤城ロータリークラブと打ち合わせ

8 月 第 2 回委員会開催

10 月 第 3 回委員会開催・RYLA 研修会案内・発送

12 月 RYLA 研修会開催

2027 年 1 月 第 4 回委員会開催・RYLA 研修会報告書作成

4. 事業予算

収入の部		支出の部	
RYLA 活動資金	1,218,000	研修費	
研修参加費 @2,000×80	160,000	事業費（会議・広報等）	400,000
		講師謝金等	150,000
		会場費	150,000
		昼食代（80 名分として）	96,000
		雑費	100,000
		学友関係	400,000
		予備費	82,000
合 計	1,378,000	合 計	1,378,000

5. RYLA プログラム実績データ

年度・回数	開催日	会場・ホスト RC	テーマ
2019-20 年度 第 19 回 (通算 39 回)	2019 年 10 月 19 日 (土) 10 月 20 日 (日)	上州諏訪神社 鬼石観光ホテル八塩館 藤岡南 RC	Innovation make it happen! ～夢をかなえる会議ファシリテーター講座～
2022-23 年度 第 21 回 (通算 41 回)	2023 年 5 月 13 日 (土)	高崎市総合福祉センター 高崎シンフォニーRC	人生のターニングポイント ～生きる目的を見つけ、コミュニケーションスキルを磨き、共に未来を創ろう～
2023-24 年度 第 22 回 (通算 42 回)	2024 年 3 月 10 日 (日)	金島ふれあいセンター 渋川 RC	防災（危機管理） ～自然災害等の危機に備えるためにリーダーとしての持つべき意識を高めよう～

2024-25 年度 第 23 回 (通算 43 回)	2024 年 12 月 8 日 (日)	前橋市第三コミュニティ センター 前橋 RC	今しかないこの時期に、全力で！ ～体感型アクティビティでスキルアップ～
2025-26 年度 第 24 回 (通算 44 回)	2026 年 3 月 8 日 (日)	高崎市労使会館 高崎 RC	リーダーシップとは、なにか？ ～今、そこで自分が出来ることをかんがえよう～

* 2020-21 年度及び 2021-22 年度は新型コロナウイルス感染症による開催リスクを踏まえ中止

ローターアクト委員会

委員長	青山 豊 (桐生西 RC)	委 員	小倉 仁 (沼 田 RC)
副委員長	古澤 泰明 (前橋南 RC)	委 員	飯塚 もも子 (高崎北 RAC)
委 員	青木 亮太 (前橋南 RC)	担当副幹事	飯島 岳史 (安 中 RC)

1. 委員会の使命・役割

- ・地区内ローターアクトクラブに対して助言や支援を行い、活動をサポートする。
- ・提唱ロータリークラブとローターアクトとの連携役となり相互理解を深める。

2. 委員会活動

- ・本年度は、ローターアクト地区連絡協議会の本格的始動に伴い、共に協力し地域活動や課題等に取り組む。
- ・提唱ロータリークラブが持つローターアクトに対しての情報等を共有する。

3. 活動目標

- ・ローターアクト会員増強
- ・新ローターアクトクラブの設立
- ・米山記念奨学生のローターアクトの参加推進
- ・RYLA への参加協力
- ・2026～2027年度全国ローターアクト大会への協力
- ・危機管理について
- ・ローターアクトクラブ会長・幹事の RLI セミナーへの参加促進
- ・提唱ロータリークラブのローターアクト担当者連絡会議の開催

4. タイムスケジュール

- | | | |
|---|---------------------|--------------------|
| ① | ローターアクト委員会 | |
| ② | 提唱クラブ連絡会議 | |
| ③ | ローターアクトクラブラーニングセミナー | 2026年4月5日 |
| ④ | ガバナー公式訪問 | |
| ⑤ | RYLA 研修セミナー | 2026年12月12日 |
| ⑥ | ローターアクトクラブ全国大会 | 2027年3月21日 開催地 伊香保 |
| ⑦ | 2840地区 地区大会 | 2027年4月25日 |
| ⑧ | 地区年次大会 | 2027年5月 |

5. その他

地区内ローターアクトクラブ一覧

(2026 年 3 月現在)

クラブ名	提唱 RC	会員数	創立年月日
桐生 RAC	桐生 RC	9 名	1969 年 6 月 23 日
桐生西 RAC	桐生西 RC	19 名	1990 年 3 月 2 日
太田 RAC	太田 RC	3 名	1971 年 7 月 1 日
前橋 RAC	前橋 RC	13 名	1970 年 8 月 4 日
前橋南 RAC	前橋南 RC	13 名	1995 年 3 月 10 日
伊勢崎 RAC	伊勢崎 RC	9 名	1970 年 8 月 6 日
高崎北 RAC	高崎北 RC	11 名	1972 年 6 月 7 日
沼田 RAC	沼田 RC	8 名	1971 年 10 月 21 日
合 計		85 名	

米山記念奨学委員会

アドバイザー	竹内 正幸	(太 田 R C)	委 員	井上 幸己	(高崎北 R C)
委員長	矢内 良春	(伊勢崎南 R C)	委 員	石川 るみ子	(太 田 R C)
副委員長	川嶋 潤	(前橋東 R C)	委 員	小笠原 尊正	(太田南 R C)
副委員長	西田 俊太郎	(沼 田 R C)	委 員	飯塚 一成	(館 林 R C)
副委員長	森岡 敦史	(富岡中央 R C)	委 員	齋藤 一則	(館 林 R C)
委 員	植木 信行	(前橋西 R C)	委 員	青木 貴幸	(渋 川 R C)
委 員	高見 正	(前橋北 R C)	委 員	古池 好幸	(沼田中央 R C)
委 員	大友 一之	(桐 生 R C)	委 員	小林 政貴	(渋川みどり R C)
委 員	長谷川 修志	(伊勢崎中央 R C)	委 員	和田 雅之	(碓氷安中 R C)
委 員	小保方 由紀子	(高 崎 R C)	委 員	黒澤 秋彦	(富岡かぶら R C)
			担当副幹事	川島 博	(安 中 R C)

1. 委員会活動の現状認識

ロータリー米山記念奨学事業は、国際ロータリーに認められた日本独自の 34 地区合同の奉仕事業です。この事業は、ロータリアンから寄せられる寄付金を財源としており、日本で学ぶ外国人留学生の中から優秀な学生を選考し、奨学金を支給するという事業です。

その目的は、単に奨学金を支給するというだけではなく、各クラブに所属してもらい、ロータリーの奉仕の精神を学び、将来、日本と母国との架け橋となり、また、ロータリーの良き理解者を育成するということにあります。

当地区においては、ここ数年、特別寄付率が全国第一位・二位というトップクラスの優秀な寄付率があります。そのお陰で本年は 29 名の奨学生を支援することができます。

今後とも、会員皆様には米山記念奨学事業にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2. 委員会事業計画

年間スケジュールに沿って委員会活動を実行する。

3. 目標

- ① 米山記念奨学会の活動を通じて、世界の平和、国際理解、社会奉仕を理解する
- ② 奨学生を支援しつつ、グローバル的視野で自らも成長してゆく
- ③ 米山奨学生を過去に受け入れたことのないクラブを一つでも少なくする
- ④ 地区（米山委員）と各クラブ（米山委員長）との情報交換
- ⑤ 米山寄付目標額一人当たり 16,000 円以上
- ⑥ 地区の特別寄付率 90%以上
- ⑦ 他の青少年奉仕系の委員会との連携

4. 年間スケジュール

- 2026 年 7 月 25 日 (土) 米山記念奨学生ロータリーセミナー
米山学友会総会
- 2026 年 8 月 26 日 (水) 米山指定校説明会
- 2026 年 9 月 26 日 (土) 米山記念奨学生カウンセラー研修会
地区米山記念奨学セミナー
- 2026 年 11 月 28 日 (土) 米山記念奨学生選考会面接員オリエンテーション
米山学友会忘年会
- 2027 年 1 月 23 日 (土) 米山記念奨学生選考会
- 2027 年 3 月 6 日 (土) 米山記念奨学生終了式・奨学生歓送会
- 2027 年 4 月 17 日 (土) 新規カウンセラーセミナー・オリエンテーション
新規米山記念奨学生オリエンテーション
継続米山記念奨学生資格審査面談
- 2027 年 4 月 25 日 (日) 地区大会
- 2027 年 6 月 日 (平日) 米山記念奨学生指定校選定会議

5. 実績データ

米山記念奨学生の受入れ人数 (2840 地区)	2022 学年度	26 名 (新規 19 名、継続 7 名)
	2023 学年度	28 名 (新規 18 名、継続 10 名)
	2024 学年度	25 名 (新規 17 名、継続 8 名)
	2025 学年度	29 名 (新規 20 名、継続 9 名)
	2026 学年度	29 名 (新規 15 名、継続 14 名)

6. 事業予算

収入の部		支出の部	
米山記念奨学生振興資金	406,000 円	視察研修会 バス代、昼食代、保険代	306,000 円
		新規奨学生名刺代	30,000 円
		終了奨学生記念品代	70,000 円
合計	406,000 円		406,000 円

第2840地区 米山記念奨学生世話クラブ実績一覧

	2022学年度			2023学年度			2024学年度			2025学年度			2026学年度		
クラブ名	大学名	性別	国名	大学名	性別	国名	大学名	性別	国名	大学名	性別	国名	大学名	性別	国名
前橋	群馬大学	女	モンゴル	共愛学園 前橋国際大学	男	インドネシア	共愛学園 前橋国際大学	男	インドネシア	共愛学園 前橋国際大学	男	ブラジル	高崎経済大学	女	中 国
前橋西	共愛学園 前橋国際大学	男	バトナム	群馬大学	女	モンゴル	前橋工科大学	男	中 国	群馬大学	女	バトナム	群馬大学	女	バトナム
前橋東	群馬大学	女	モンゴル	群馬大学	男	エジプト				群馬大学	女	マレーシア	群馬大学	男	バトナム
前橋北							群馬大学	女	モンゴル	群馬大学	男	バトナム	群馬大学	女	マレーシア
前橋南	群馬大学	女	中 国							群馬大学	女	中 国	群馬大学	女	中 国
前橋中央	上武大学	男	バングラデシュ	関東学園大学	女	バトナム	関東学園大学	女	バトナム	群馬大学	女	中 国	群馬大学	女	中 国
桐生	群馬大学	女	中 国	群馬大学	女	中 国	群馬大学	男	中 国	群馬大学	男	中 国	群馬大学	男	バトナム
桐生南	群馬大学	男	バトナム	群馬大学	男	バトナム	群馬大学	男	バトナム	群馬大学	男	バトナム	群馬県立 女子大学	女	モンゴル
桐生西	群馬大学	男	バトナム	群馬大学	女	バトナム	群馬大学	女	バトナム	群馬大学	女	イラン	群馬大学	女	イラン
桐生赤城	群馬大学	男	中 国	群馬大学	男	中 国	群馬大学	男	バトナム	群馬大学	女	タイ	上武大学	女	モンゴル
				群馬大学	男	バトナム									
伊勢崎	上武大学	女	バトナム	共愛学園 前橋国際大学	男	ネパール	上武大学	女	モンゴル	上武大学	女	モンゴル	上武大学	女	インドネシア
群馬境	共愛学園 前橋国際大学	男	ブラジル	共愛学園 前橋国際大学	男	ブラジル	上武大学	女	インドネシア	群馬大学	男	カンボジア	群馬大学	男	カンボジア
伊勢崎中央	関東学園大学	男	スリランカ	関東学園大学	女	バトナム	関東学園大学	女	バトナム	群馬大学	男	カンボジア	群馬大学	男	カンボジア
伊勢崎南	関東学園大学	女	バトナム	関東学園大学	女	バトナム	高崎経済大学	男	中 国	高崎経済大学	男	中 国	高崎経済大学	女	バトナム
伊勢崎東	群馬大学	男	インドネシア	群馬大学	男	インドネシア	高崎経済大学	女	中 国	高崎経済大学	女	中 国	高崎経済大学	男	中 国
高崎	高崎経済大学	女	中 国	上武大学	女	中 国	上武大学	女	中 国	群馬大学	男	モンゴル	群馬大学	男	モンゴル
高崎南							高崎経済大学	男	中 国	高崎経済大学	男	中 国	上武大学	女	スリランカ
高崎北	高崎経済大学	男	中 国	高崎経済大学	男	中 国				高崎経済大学	男	韓 国	高崎経済大学	男	韓 国
高崎東	高崎経済大学	女	中 国	高崎経済大学	女	中 国	高崎経済大学	女	中 国	高崎経済大学	男	韓 国	上武大学	男	中 国
高崎ツォー	高崎経済大学	女	中 国	高崎経済大学	女	中 国	高崎経済大学	男	中 国						
高崎セトル															
太田	関東学園大学	男	モンゴル	関東学園大学	男	モンゴル	関東学園大学	男	中 国	関東学園大学	男	中 国	関東学園大学	女	インドネシア
太田西															
太田南													群馬大学	男	バトナム
新田															
太田中央	関東学園大学	男	インドネシア							関東学園大学	女	中 国			
館林				関東学園大学	女	モンゴル	共愛学園 前橋国際大学	男	ネパール	共愛学園 前橋国際大学	男	ネパール	関東学園大学	男	ネパール
大泉															
館林東															
館林ミレアム															
渋川										前橋工科大学	女	フィリピン			
沼田				高崎経済大学	女	中 国	共愛学園 前橋国際大学	男	インドネシア	共愛学園 前橋国際大学	男	インドネシア	共愛学園 前橋国際大学	男	インドネシア
中之条															
沼田中央													高崎経済大学	女	中 国
渋川みどり	高崎経済大学	女	中 国	上武大学	男	バトナム	上武大学	男	ネパール	高崎経済大学	女	モンゴル	高崎経済大学	女	モンゴル
富岡	高崎経済大学	男	韓 国	高崎経済大学	男	韓 国				群馬大学	女	モンゴル	群馬大学	女	モンゴル
藤岡	高崎経済大学	男	中 国	上武大学	男	中 国	上武大学	女	中 国						
安中	高崎経済大学	男	韓 国	上武大学	女	バトナム	高崎経済大学	女	バトナム	高崎経済大学	女	中 国	高崎経済大学	女	中 国
藤岡北				高崎経済大学	女	韓 国	高崎経済大学	女	韓 国						
富岡中央	上武大学	女	バトナム	上武大学	女	バトナム				上武大学	男	中 国	上武大学	男	中 国
碓氷安中															
藤岡南															
富岡かぶら	高崎経済大学	女	中 国	高崎経済大学	女	中 国	高崎経済大学	女	中 国	上武大学	男	中 国	高崎経済大学	女	バトナム

2026-2027年度 国際ロータリー第2840地区

上期・下期主要行事予定表

日付	時間帯	項目	場所
2026年			
1月	11(日)～15(木)	国際協議会	オーランド(フロリダ州)
	19(月)～23(金)	次年度委員長面談	前橋問屋センター会館
	24(土)	★(米山記念奨学生選考会)	前橋問屋センター会館
	25(日)	13:30～ ★(職業奉仕セミナー)	前橋問屋センター会館
2月	03(火)	18～ 第1回ガバナー補佐会議	たかさき書斎
	14(土)	10:30～ ★第4回ガバナー諮問委員会	前橋問屋センター会館
	14(土)	12～ 第1回地区ラーニング・管理運営委員会	ガバナー事務所
	14(土)	13:30～ 地区チームラーニングセミナー	前橋問屋センター会館
	21(土)	14～ ★(DEI推進委員会主催 意見交換会)	前橋問屋センター会館&Zoom
	23(月・祝)		ロータリー創立記念日
3月	01(日)	13～ ★(ローターアクト年次大会)	最高の一日
	04(水)	15:30～ 第2回地区ラーニング・管理運営委員会	ガバナー事務所
	07(土)	13:30～ 第1回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議	高崎商工会議所
	07(土)	16～ ★(米山記念奨学生終了式・歓送会)	ホテルメトロポリタン高崎
	08(日)	10:30～ ★(RYLA研修会)	高崎市労使会館
	15(日)	終日 会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー	磯部ガーデン
	20(金・祝)	14:30～ ★新会員セミナー	エテルナ高崎
4月	04(土)	13:30～ 第3回地区ラーニング・管理運営委員会	ビエント高崎
	04(土)	15～ 第2回ガバナー補佐・委員長合同会議	ビエント高崎
	05(日)	午後 ローターアクト会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー	前橋問屋センター会館
	18(土)	午前 ★(新規米山記念奨学生カウンセラーオリエンテーション)	前橋問屋センター会館
	18(土)	午後 ★(新規米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーション)	前橋問屋センター会館
	18(土)	午後 ★(継続米山記念奨学生資格審査面談)	前橋問屋センター会館
	19(日)	15～ ★(青少年交換ホストクラブ第1回オリエンテーション)	前橋問屋センター会館
5月	16(土)	終日 クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー	安中市文化センター
	16(土)	夜 クラブリーダーシップ・ラーニング・セミナー 懇親会	並木苑
	17(日)	午後 ★(地区補助金最終審査会)	前橋問屋センター会館
	17(日)	午後 ★(青少年交換ホストクラブ・ホストファミリー オリエンテーション)	前橋問屋センター会館
	25(月)	15～ クラブ管理運営セミナー	高崎市総合福祉センター
6月	13(土)～17(水)	国際大会	台北
	24(水)	15～ ★(米山記念奨学生指定校選定会議)	ガバナー事務所
	27(土)	午後 第5回ガバナー諮問委員会	マリエールウィル高崎
	27(土)	午後 現新地区役員合同連絡会議	マリエールウィル高崎
	28(日)	14:30～ ★(青少年交換受入学生歓迎会・派遣学生壮行会)	ホテルサンダーソン
7月	01(水)		竹中ガバナー事務所開設
	11(土)	10～ 第1回ガバナー諮問委員会	ホテルメトロポリタン高崎
	11(土)	13～ 第4回地区ラーニング・管理運営委員会	ホテルメトロポリタン高崎
	16(木)	18:30～ <ロータリー野球大会コミッショナー会議>	ニューいづみ
	18(土)	午前 (インターアクト年次大会)	メガネのイタガキ文化ホール
	25(土)	10:00～ ★ロータリー財団委員会合同会議	前橋問屋センター会館
	25(土)	15:30～ ★米山記念奨学生対象ロータリーセミナー	ホテルメトロポリタン高崎
	25(土)	17:30～ ★(米山学友会総会)	ホテルメトロポリタン高崎
8月	01(土)	9～ (第1回地区補助金委員会)	前橋問屋センター会館
	08(土)	13～ (RLIファシリテーター研修会)	前橋問屋センター会館
	23(日)	午後 (青少年交換派遣学生選考会)	前橋問屋センター会館
	26(水)	12～ (米山指定校説明会)	前橋問屋センター会館
	29(土)	午前 <ロータリー野球大会 第1日目 開会式>	前橋桃ノ木川グラウンド
	30(日)	13:30～ クラブ活性化ワークショップ	前橋問屋センター会館

	日付	時間帯	項目	場所
9月	01(火)		湯澤ガバナーエレクト事務所開設	
	05(土)	午後	ロータリー財団補助金管理セミナー	前橋問屋センター会館
	06(日)	終日	(R L I セミナー Part I)	前橋問屋センター会館
	12(土)	午前	<ロータリー野球大会 第2日目>	前橋桃ノ木川グラウンド
	19(土)	午前	<ロータリー野球大会 第3日目>	前橋桃ノ木川グラウンド
	26(土)	午前	(米山記念奨学生カウンセラー研修会)	前橋問屋センター会館
	26(土)	午後	(地区米山記念奨学セミナー)	前橋問屋センター会館
	27(日)	12:30～	(青少年交換派遣学生帰朝報告会・受け入れ学生歓迎会)	
10月	04(日)	終日	(R L I セミナー Part II)	前橋問屋センター会館
	17(土)	午前	<ロータリー野球大会 第4日目 閉会式>	前橋桃ノ木川グラウンド
	17(土)	午前	第2回ガバナー諮問委員会	前橋問屋センター会館
	17(土)	午後	第3回ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋問屋センター会館
	17(土)	15:30～	第5回地区ラーニング・管理運営委員会	ガバナー事務所
11月	07(土)	9～	(第2回地区補助金委員会)	前橋商工会議所会館
	07(土)	午前	<ロータリー野球大会 予備日>	前橋桃ノ木川グラウンド
	08(日)	終日	(R L I セミナー Part III)	前橋問屋センター会館
	22(日)		新会員セミナー	
	28(土)	午後	(米山記念奨学生選考会面接員オリエンテーション)	ホテルメトロポリタン高崎
	28(土)	夕方	(米山学友会忘年会)	ホテルメトロポリタン高崎
12月	05(土)	午後	第3回ガバナー諮問委員会	ロイヤルチェスター前橋
	05(土)	夕方	湯澤ガバナーエレクト壮行会	ロイヤルチェスター前橋
	12(土)		(R Y L A 研修セミナー)	(桐生)
	20(日)		(青少年交換HC・SCオリエンテーション・クリスマス会)	ホテルサンダーソン
2027年				
1月	10(日)～14(木)		国際協議会(湯澤ガバナーエレクト参加)	オーランド(フロリダ州)
	17(日)	午後	(奉仕プロジェクトセミナー)	前橋問屋センター会館
	23(土)	終日	(米山記念奨学生選考会)	前橋問屋センター会館
	23(土)	13:00～	(第1回地区補助金予備審査会)	前橋商工会議所会館
2月	13(土)	午前	第4回ガバナー諮問委員会・GE報告会	前橋問屋センター会館
	13(土)	午後	地区チームラーニングセミナー(湯澤年度)	前橋問屋センター会館
	20(土)	13:00～	(第2回地区補助金予備審査会)	前橋商工会議所会館
	21(日)	午後	青少年交換HC・SCオリエンテーション	
	23(火・祝)		ロータリー創立記念日	
3月	6(土)	17:00～	(米山記念奨学生終了式・歓送会)	ホテルメトロポリタン高崎
	13(土)～14(日)		会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー(湯澤年度)	前橋商工会議所会館
	20(土)～21(日)		第39回全国ローターアクト大会	伊香保 天坊
	25(木)～28(日)		(インターアクト台湾国際交流事業・派遣)	
4月	03(土)	午前	第5回ガバナー諮問委員会	前橋問屋センター会館
	03(土)	午後	第4回ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋問屋センター会館
	03(土)	15:30～	第6回地区ラーニング・管理運営委員会	前橋問屋センター会館
	17(土)	9:00～	(第3回地区補助金予備審査会)	前橋商工会議所会館
	17(土)	午前	(新規米山記念奨学生カウンセラーオリエンテーション)	前橋問屋センター会館
	17(土)	午後	(新規米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーション)	前橋問屋センター会館
	17(土)	午後	(継続米山記念奨学生資格審査面談)	前橋問屋センター会館
	23(金)～24(土)		(インターアクト台湾国際交流事業・受入れ)	
	24(土)	午後	地区リーダーシップセミナー	ホテルメトロポリタン高崎
	24(土)	夜	R I 会長代理歓迎晩餐会	ホテルメトロポリタン高崎
	25(日)	午後	地区大会 式典	群馬音楽センター
	25(日)	夜	地区大会 懇親会	ホテルメトロポリタン高崎
			ローターアクト会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー	
			地区大会記念ゴルフ大会	

日付	時間帯	項目	場所	
5月	15(土)	13:00～	地区補助金最終審査会	前橋商工会議所会館
	16(日)	終日	クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー（湯澤年度）	前橋商工会議所会館
	23(日)	午後	青少年交換HCオリエンテーション	
6月	05(土)	午後	新会員セミナー	
	07(月)	14～	クラブ管理運営セミナー（湯澤年度）	
	12(土)		（ローターアクト年次大会）	
	19(土)	午後	第6回ガバナー諮問委員会	
	19(土)	午後	現新地区役員合同連絡会議	
	26(土)～30(水)		国際大会	バルセロナ
			第6回ガバナー諮問委員会	
			現新地区役員合同連絡会議	
	27(日)		（青少年交換受入学生歓迎会・派遣学生壮行会）	
			（米山記念奨学生指定校選定会議）	

2026-2027年度 周年行事予定クラブ

年	月	日	曜日	周年	クラブ名	場 所
2026	11	8	日	55	桐生西 R C	美喜仁桐生文化会館
2027	3	6	土	70	太田RC	ロイヤルチェスター太田
2027	4	10	土	70	渋川RC	プレヴェール渋川
2027	4	17	土	50	前橋東RC	ロイヤルチェスター前橋
2027	5	8	土	35	太田中央 R C	ダニエルハウス
2027	5	29	土	65	高崎南RC	ホテルメトロポリタン高崎
2027	5			45	前橋北RC	前橋商工会議所会館
2027	6	12	土	30	桐生赤城 R C	未 定
未 定				55	太田西RC	未 定
未 定				60	大泉RC	未 定

2026-2027年度 IM開催予定表

年	月	日	曜日	分 区	場 所
				第 1 分区	
				第 2 分区 A	
				第 2 分区 B	
				第 3 分区	
				第 4 分区 A	
				第 4 分区 B	
				第 5 分区	
				第 6 分区	

ガバナー公式訪問要領

1. ガバナー公式訪問は、単独クラブ訪問とします。
2. 訪問時は、ガバナー、ガバナー補佐、及び地区幹事又は分区担当副幹事のいずれか1名の計3～4名が原則訪問します。
3. 公式訪問前クラブ協議会の実施
ガバナー補佐は、公式訪問前2週間前までに所管のクラブを訪問し、例会前後の時間等を利用してクラブ役員との協議会を実施し、各クラブの現況や課題、クラブの目標や地区運営に関する意見等について協議するとともに、公式訪問についての事前協議を行ってください。
また、その結果を所定の様式にて公式訪問の1週間前までにガバナー事務所まで報告してください。上記は、数名のクラブ役員との懇談でも結構です。
4. クラブ例会内での公式訪問の趣旨説明
ガバナー補佐は、公式訪問前のクラブの例会において、公式訪問の趣旨や要領、また、現状の地区運営の状況などを10分～15分程度、クラブ会員に対して説明し、出席を奨励してください。
5. 公式訪問の進め方
 - (1) クラブ役員との懇談会〔例会前50分〕
会長、幹事、会長エレクト、クラブ・ラーニング・ファシリテーター、副会長、会員増強委員長、公共イメージ委員長、クラブが課題と認識している担当委員長等、及び地区役員、インターアクト、ローターアクト提唱クラブは、各会長も出席してください。
 - (2) 例会
ガバナースピーチとして25分程度時間を割いてください。プロジェクター、スクリーンの準備をお願いします。
 - (3) クラブ協議会〔例会後60分〕
懇談会参加者のほか、各委員長、新入会員を義務出席とし、会員全員に出席を奨励してください。本年度は、特に地区とクラブの双方向性をキーワードとしておりますので、双方向の協議が十分できるような設営をお願いします。協議内容については以下の項目を入れてください。
 - ①クラブの課題
 - ②クラブの目標（特に会員増強計画）の進捗状況
 - ③地区運営に関するクラブのご意見
 - (4) クラブ役員との懇談会、クラブ協議会の参加者の大多数が重複する場合には、どちらかの設営でも結構です。
6. 公式訪問の目的は、国際ロータリー細則に以下のように規定されています。
個々のクラブあるいは複数クラブ合同の例会への公式訪問を行うこと。その際には、以下を行うため、ガバナーの出席が最大限の成果を生むような機会を選ぶようにする。
 - ①ロータリーの重要な問題に焦点を当て関心を持たせる。
 - ②弱体クラブ、あるいは問題を抱えたクラブに関心を払う。
 - ③奉仕活動参加へのロータリアンの意欲をかきたてる。
 - ④クラブの定款と細則が、ロータリーの組織規程を遵守していることを確認する。
 - ⑤顕著な貢献をした地区内のロータリアンをガバナー自ら表彰する。
7. 各クラブは現況報告書（4部）を8月31日までにガバナー事務所に提出してください。
9月12日までに訪問するクラブは仮報告書を、訪問2週間前までに提出してください。

2026-2027年度 ガバナー公式訪問日程表

2026年	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
		前橋北 (第1分区)			碓氷安中 (第6分区)		
	23/30	24/31	25	26	27	28	29
		桐生 (第2分区A)	伊勢崎南 (第2分区B)		渋川 (第5分区)		

2026年	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
9月			1	2	3	4	5
				新田 (第4分区A)	富岡中央 (第6分区)		
	6	7	8	9	10	11	12
			太田南 (第4分区A)	桐生南 (第2分区A)	藤岡 (第6分区)	藤岡南 (第6分区)	
	13	14	15	16	17	18	19
		伊勢崎東 (第2分区B)	渋川みどり (第5分区)	富岡 (第6分区)			
	20	21	22	23	24	25	26
					高崎東 (第3分区)		
	27	28	29	30			

2026年	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
10月					1	2	3
					館林ミレニアム (第4分区B)	前橋西 (第1分区)	
	4	5	6	7	8	9	10
			高崎南 (第3分区)	前橋中央 (第1分区)	沼田中央 (第5分区)	館林 (第4分区B)	
	11	12	13	14	15	16	17
					前橋東 (第1分区)	太田中央 (第4分区A)	
	18	19	20	21	22	23	24
			中之条 (第5分区)	前橋南 (第1分区)			
	25	26	27	28	29	30	31
		高崎 (第3分区)	沼田 (第5分区)				

2026-2027年度 ガバナー公式訪問日程表

2026年	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
11月	1	2	3	4	5	6	7
				館林東 (第4分区B)	群馬境 (第2分区B)		
	8	9	10	11	12	13	14
			高崎セントラル (第3分区)	大泉 (第4分区B)		高崎シンフォニー (第3分区)	
	15	16	17	18	19	20	21
			桐生赤城 (第2分区A)	伊勢崎 (第2分区B)	太田 (第4分区A)		
	22	23	24	25	26	27	28
			前橋 (第1分区)	太田西 (第4分区A)			
	29	30					

2026年	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
12月			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
			富岡かぶら (第6分区)	高崎北 (第3分区)	伊勢崎中央 (第2分区B)	桐生西 (第2分区A)	
	13	14	15	16	17	18	19
			安中 (第6分区)				
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

2027年	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

インターアクト・ローターアクト・RYLA 輪番表

年度			ガバナー	インターアクト			ローターアクト	RYLA研修
				年次大会			委員会	担当委員長
				主 催 校	提唱RC	台湾研修	委員長	ホストクラブ
2004	～	2005	山崎年度					富岡
2005	～	2006	曾我年度					沼田
2006	～	2007	津久井年度					新田
2007	～	2008	横山年度					桐生
2008	～	2009	松倉年度					富岡中央
2009	～	2010	牛久保年度					前橋西
2010	～	2011	福田年度				伊勢崎	館林ミレニウム
2011	～	2012	安藤年度				伊勢崎	太田
2012	～	2013	疋田年度				藤岡	前橋南
2013	～	2014	本田年度				高崎北	館林
2014	～	2015	竹内年度				前橋	高崎セントラル
2015	～	2016	生方年度				伊勢崎	伊勢崎中央
2016	～	2017	豊川年度				沼田	沼田中央
2017	～	2018	田中年度	群馬県立新田暁高等学校	新 田	★	伊勢崎	安中
2018	～	2019	宮内年度	クラーク記念国際高等学校前橋キャンパス	前橋南		伊勢崎	高崎
2019	～	2020	森田年度	太田市立太田高等学校	太 田	★	高崎北	藤岡南
2020	～	2021	山田年度	群馬県立藤岡中央高等学校	藤岡南		前橋	太田中央
2021	～	2022	足立年度	群馬県立前橋商業高等学校	前橋西		伊勢崎	太田中央
2022	～	2023	中野年度	群馬県立館林高等学校	館 林		高崎北	高崎シンフォニー
2023	～	2024	保坂年度	群馬県立大間々高等学校	桐生西		高崎北	渋川
2024	～	2025	森 年度	高崎健康福祉大学高崎高等学校	高崎東	★	伊勢崎	前橋
2025	～	2026	竹中年度	前橋育英高等学校	前 橋		太田	高崎
2026	～	2027	竹中年度②	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校	伊勢崎南	★	桐生西	桐生赤城
2027	～	2028	湯澤年度	樹徳高等学校	桐生南	★	前橋南	伊勢崎東
2028	～	2029		高崎市立高崎経済大学付属高等学校	高 崎	★	沼田	第6分区
2029	～	2030		共愛学園高等学校	前橋東	★	前橋	第5分区
2030	～	2031		高崎商科大学附属高等学校	高崎南	★	高崎北	第4分区B
2031	～	2032		桐生第一高等学校	桐 生	★	伊勢崎	第4分区A
2032	～	2033		新島学園高等学校	安 中	★	桐生	第1分区
2033	～	2034		クラーク記念国際高等学校前橋キャンパス	前橋南	★	太田	第3分区
2034	～	2035		群馬県立新田暁高等学校	新 田	★	桐生西	
2035	～	2036		太田市立太田高等学校	太 田	★	前橋南	
2036	～	2037		群馬県立館林高等学校	館 林	★	沼田	
2037	～	2038		群馬県立前橋商業高等学校	前橋西	★		
2038	～	2039		高崎健康福祉大学高崎高等学校	高崎東	★		
2039	～	2040		群馬県立大間々高等学校	桐生西	★		
2040	～	2041		伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校	伊勢崎南	★		
2041	～	2042		前橋育英高等学校	前 橋	★		
2042	～	2043		共愛学園高等学校	前橋東	★		
2043	～	2044		樹徳高等学校	桐生南	★		
2044	～	2045		高崎市立高崎経済大学付属高等学校	高 崎	★		

インターアクト

★第2560地区（新潟）との共同事業で行っていましたが、2026-27年度より群馬地区のみで海外（台湾）研修派遣・受入を行う。

ローターアクト

- *原則として委員長は上記のと通りの輪番といたします。
- *3年委員会とし、委員長となる3年度前に委員会の所属となります。
- *休会がある場合は変更となります。
- *他に新たな提唱クラブができればその時点で変更となります。

RYLA

- *原則として担当委員長は上記のと通りの輪番といたします。
- *3年委員会とし、担当委員長となる3年度前に担当委員会の所属となります。
- *原則として3年後の担当委員長を、ガバナーエレクト年度の担当分区ガバナー補佐を中心に、ガバナーエレクトスタッフと一緒に探していただきます。

ロータリーとポリオ根絶活動

—End Polio—

I 「ポリオ」という病気

ポリオ(急性灰白髄炎)は非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳未満の子どもです。日本では一般に「小児まひ」と呼ばれることもあります。

ポリオウイルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染です。神経系を侵すこともあり、これによって身体のマヒを引き起こす可能性があります。治療法はありませんが、安全なワクチンで予防が可能です。ロータリーとそのパートナー団体は、これまで世界中25億人以上の子どもにワクチンを投与する活動を行ってきました。

「ポリオ撲滅に向けた世界的な進展は、人びとの知らないところで黙々と成し遂げられてきました」



II 「ポリオ」に関する事実

1. ポリオに最も感染しやすいのは5歳未満の子ども
2. 治療法はないが、ワクチンで予防が可能
3. 野生型ポリオウイルスの常在国はわずか3カ国
4. 1988年以来、発症数は99.9%減少
5. ポリオを永久になくさない限り、感染リスクは全世界の子どもに

III 「ポリオ」の現状

1988年以来、全世界の症例数は99.9%減少しています。現在も野生型ポリオウイルスが常在する国は、アフガニスタン、パキスタンの2カ国となっています。

〔野生型ポリオウイルスによる発症件数〕

	(アフガニスタン)	(パキスタン)
2023年	06	06
2022年	02	20
2021年	04	01

IV 「ポリオ」撲滅活動のパートナー組織

GPEI 世界ポリオ撲滅推進活動 (Global Polio Eradication Initiative)

GPEIは、国際ロータリーをはじめとするパートナー団体と各国政府による、全世界でポリオを撲滅することを使命とする官民共同のパートナーシップです。

1988年に世界保健総会がポリオ撲滅を決議しGPEIが立ち上げられて以来30年間、懸命な活動により発症数は99.9%減少しました。

撲滅実現に向けたラストスパートを迎えた今、このパートナーシップの重要性はさらに高まっています。

- (1) 世界保健機関(WHO): 戦略担当
- (2) 米国疾病対策センター(CDC): ウイルス対策
- (3) ユニセフ(UNICEF): 予防接種

(4) ロータリー：アドボカシー活動

ロータリー会員の持つビジネス・専門知識、ボランティアのネットワークを生かして、ポリオ撲滅のための認識向上、募金活動、各国政府への働きかけを行っています。これまでに100万人以上の会員がボランティア活動や募金を支援しました。

その他の活動パートナー

GPEIの中核を担う上記の4団体(世界保健機関、米国疾病対策センター、ユニセフ、ロータリー)のほかにも、多くの団体・政府がポリオ撲滅活動を支援しています。

(5) ビル&メリンダ・ゲイツ財団：リソース担当

GPEIの強力なパートナーとして、民間団体としては最高額の19億ドルを提供しました。ロータリーともパートナーシップを組み、ロータリーが集めたポリオ撲滅への寄付に2倍の額を上乗せする支援も行っています(2018年まで毎年最大3500万ドルが上乗せ対象)。

(6) 各国政府

(7) 各地の保健従事者

(8) GAVIアライアンス

V 歴 史

- 1894年 米国史の記録に残る初のポリオ大流行(バーモント州)。18人が死亡、132人のまひ症状が報告される。
- 1916年 ニューヨーク市でポリオの大流行が発生し、2,000人以上が死亡。米国全土でも約6,000人が命を落とし、さらに数千人がまひ障害に。
- 1960年 アルバート・セービン博士が開発した経口ポリオワクチンが米国政府から認可される。
- 1979年 フィリピンの600万人以上の子どものためにポリオワクチンを購入・輸送するプロジェクトがロータリークラブにより開始される。
- 1985年 国際ロータリーが、民間による国際的な公共保健イニシアチブとしては史上初かつ最大規模となる「ポリオプラス」を開始。当初の募金目標は1億2000万ドル。
- 1988年 国際ロータリーと世界保健機関(WHO)が「世界ポリオ撲滅推進活動」(GPEI)を立ち上げる。当時の症例数は、125カ国で推定35万件以上。
- 1944年 International Commission for the Certification of Poliomyelitis Eradication (ポリオ撲滅認定のための世界委員会) が、南北アメリカ大陸からポリオが撲滅されたことを発表。
- 1995年 中国とインドで、保健従事者とボランティアによりわずか1週間で1億6500万人の子どもにワクチンが投与される。ポリオのない国のロータリー会員が世界のポリオ撲滅活動を支援するため、ロータリーが「ポリオプラス・パートナー」プログラムを立ち上げる。
- 2000年 5億5000万人(世界人口の10分の1近く)という記録的な数の子どもに経口ポリオワクチンが投与される。オーストラリアから中国にわたる西太平洋地域でのポリオ撲滅が宣言される。
- 2003年 12カ月間のキャンペーンでロータリー財団が1億1900万ドルの募金に成功。ポリオ撲滅へのロータリーからの寄付総額が5億ドルを超える。常在国の数は6カ国となる(アフガニスタン、エジプト、インド、ニジェール、ナイジェリア、パキスタン)。
- 2004年 アフリカでは、23カ国で8,000万人の子どもを対象とした、全国予防接種デーが開催され、アフリカ大陸で最大のポリオ予防接種が組織的に実施されました。

- 2006年 ポリオ常在国数は、4カ国(アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタン)に減少。
- 2009年 ポリオ撲滅に対するロータリーからの寄付総額が約8億ドルに。1月、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が、ロータリーからポリオ撲滅に2億ドルを寄付することを条件に、ロータリーに3億5500万ドルの補助金を提供することを発表。その結果、世界ポリオ撲滅推進活動に合計5億5500万ドルが寄付される。
- 2011年 ロータリーがポリオ撲滅の新しい啓発キャンペーン「あと少し」を立ち上げ、各界の著名人がこれに参加。参加した著名人には、ビル・ゲイツ、ジャッキー・チェン(俳優)、デズモンド・ツツ(ノーベル平和賞受賞者)、イツァーク・パールマン(バイオリニスト)、アンジェリーク・キジョー(グラミー賞受賞歌手)、ジェーン・グドール(動物行動学者)などが含まれる。ポリオ撲滅へのロータリーの寄付総額が10億ドルを超える。
- 2014年 インドで3年間、野生型ポリオウイルスによる新規症例が確認されなかったため、世界保健機関(WHO)が東南アジア地域のポリオ撲滅を認定。ポリオの症例は1988年以来、99%減少。
その結果常在国数が3カ国に(アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリア)。
- 2019年 ナイジェリアでは、野生型ポリオウイルスによる新たな症例が3年間発生していません。
- 2020年 世界保健機関(WHO)は、アフリカ地域に野生型ポリオがないことを証明しています。



(リソース)

※ポリオとは？ End Polio

※ポリオ撲滅活動のパートナー組織

※世界ポリオ撲滅推進活動

(上記でアクセス可能です)



歴代国際ロータリー会長・テーマ一覧

年 度	R I 会 長	出 身 地	テ ー マ	国際大会 開 催 地
2000-01	フランク J. デプリン	メ キ シ コ	意識を喚起し—進んで行動を	ア メ リ カ サンアントニオ
2001-02	リチャード D. キング	ア メ リ カ	人類が私たちの仕事	ス ペ イ ン バルセロナ
2002-03	ビチャイ・ラタクル	タ イ	慈愛の種を播きましょう	オーストラリア ブリスベーン
2003-04	ジョナサン B. マジィアベ	ナイジェリア	手を貸そう	日 本 大阪
2004-05	グレン E. エステス・シニア	ア メ リ カ	ロータリーを祝おう	ア メ リ カ シ カ ゴ
2005-06	カール・ヴィルヘルム・ ステンハマー	スウェーデン	超我の奉仕	デンマーク コペンハーゲン スウェーデン マルメ
2006-07	ウィリアム B. ボイド	ニュージーランド	率先しよう	ア メ リ カ ソルトレークシティ
2007-08	ウィルフリッド・J.ウィルキンソン	カ ナ ダ	ロータリーは分かちあいの心	ア メ リ カ ロサンゼルス
2008-09	李東建(ディー・ケー・リー)	韓 国	夢をかたちに	イ ギ リ ス バーミンガム
2009-10	ジョン・ケニー	スコットランド	ロータリーの未来は あなたの手の中に	カ ナ ダ モントリオール
2010-11	レイ・クリングスミス	ア メ リ カ	地域を育み、大陸をつなぐ	ア メ リ カ ニューオリンズ
2011-12	カルヤン・バネルジー	イ ン ド	こころの中を見つめよう 博愛を広げるために	タ イ バン コ ク
2012-13	田 中 作 次	日 本	奉仕を通じて平和を	ポ ル ト ガ ル リスボン
2013-14	ロン D. バートン	ア メ リ カ	ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を	オーストラリア シドニー
2014-15	ゲイリー C.K. ホアン	台 湾	ロータリーに輝きを	ブ ラ ジ ル サンパウロ
2015-16	K.R. “ラビ”ラビンドラン	ス リ ラ ン カ	世界への プレゼントになろう	韓 国 ソウル
2016-17	ジョン F. ジャーム	ア メ リ カ	人類に奉仕するロータリー	ア メ リ カ アトランタ
2017-18	イアン・HS. ライズリー	オーストラリア	ロータリー：変化をもたらす	カ ナ ダ トロント
2018-19	バリー・ラシン	バ ハ マ	インスピレーションになろう	ド イ ツ ハンブルグ
2019-20	マーク・ダニエル・マローニー	ア メ リ カ	ロータリーは世界をつなぐ	ア メ リ カ ハワイ
2020-21	ホルガー・クナーク	ド イ ツ	ロータリーは機会の扉を開く	台 湾 台北
2021-22	シェカール・メータ	イ ン ド	奉仕しよう みんなの人生を 豊かにするために	ア メ リ カ ヒューストン
2022-23	ジェニファー E. ジョーンズ	カ ナ ダ	イマジン ロータリー	オーストラリア メルボルン
2023-24	ゴードン R. マッキナリー	スコットランド	世界に希望を生み出そう	シンガポール
2024-25	ステファニー A. アーチック	ア メ リ カ	ロータリーのマジック	カ ナ ダ カルガリー
2025-26	フランチェスコ・アレツツォ	イ タ リ ア	よいことのために 手を取りあおう	台 湾 台北
2026-27	オラインカ・ハキーム・パバララ	ナイジェリア	持続可能なインパクトを生み 出そう	ス ペ イ ン バルセロナ

歴代ガバナー・ガバナー補佐・地区研修・協議会・地区大会一覧

2000-2001	ガバナー		アシスタントガバナー
関 口 隆(前橋西)	第1分区	柳 岡 勤(前橋南)	
	第2分区	小須田 寿太郎(群馬境)	
	第3分区	藤 木 行 芳(高崎東)	
	第4分区	北 村 彪(太田)	
	第5分区	塩 野 栄 一(沼田中央)	
地区協議会	2000. 5.28	グランドベルズ前橋	
地区大会	2001. 4.14 ~ 15	群馬県民会館	
2001-2002	ガバナー		アシスタントガバナー
清 章 司(藤岡)	第1分区	曾 我 孝 之(前橋)	
	第2分区	樋 口 一 枝(桐生中央)	
	第3分区	一 柳 一 男(藤岡北)	
	第4分区	柳 瀬 浩(館林西)	
	第5分区	池 原 透(中之条)	
地区協議会	2001. 5.28	ホテルメトロポリタン高崎	
地区大会	2001.10.20 ~ 21	藤岡市みかほみらい館	
2002-2003	ガバナー		アシスタントガバナー
矢 野 亨(桐生西)	第1分区	福 田 一 良(前橋西)	
	第2分区	加 久 裕 士(伊勢崎中央)	
	第3分区	小 林 弘(高崎シンフォニー)	
	第4分区	須 永 武 兵(新田)	
	第5分区	船 曳 甫(渋川)	
地区協議会	2002. 4.21	桐生市市民文化会館	
地区大会	2002.10.19 ~ 20	桐生市市民文化会館	
2003-2004	ガバナー		アシスタントガバナー
森 田 均(渋川)	第1分区	神 山 健(前橋東)	
	第2分区	金 井 栄 則(桐生赤城)	
	第3分区	吉 田 宗 夫(高崎南)	
	第4分区	佐 藤 珠 夫(館林東)	
	第5分区	阿 形 登 氏(沼田)	
地区協議会	2003. 5.18	渋川市民会館	
地区大会	2003.10.18 ~ 19	渋川市民会館	
2004-2005	ガバナー		アシスタントガバナー
山 崎 學(高崎南)	第1分区	田 村 栄 一(前橋北)	
	第2分区	猪 俣 健(伊勢崎南)	
	第3分区	吉 井 孝 夫(高崎)	
	第4分区	蛭 田 義 徳(太田中央)	
	第5分区	塚 越 裕 子(渋川みどり)	
地区協議会	2004. 5. 8	グランドパティオ高崎	
地区大会	2004.10.23 ~ 24	群馬音楽センター	
2005-2006	ガバナー		ガバナー補佐
曾 我 隆 一(前橋)	第1分区	神 山 健(前橋東)	
	第2分区A	森 喜美男(桐生)	
	第2分区B	猪 俣 健(伊勢崎南)	
	第3分区	広 田 誠四郎(高崎東)	
	第4分区A	岩 井 雄二郎(太田南)	
第4分区B	川 生 宏(館林ミレニアム)		
地区協議会	2005. 4.16	グランドパティオ高崎	
地区大会	2005.10.14 ~ 15	マーキュリーホテル	
2006-2007	ガバナー		ガバナー補佐
津久井 義 孝(太田)	第1分区	竹 内 洋 光(前橋南)	
	第2分区A	大 友 昭 久(桐生南)	
	第2分区B	松 本 好 夫(伊勢崎東)	
	第3分区	金 井 功(高崎セントラル)	
	第4分区A	梶 塚 喜 作(新田)	
第4分区B	野 辺 昌 弘(館林)		
地区協議会	2006. 4.23	ティアラグリーンパレス	
地区大会	2006.10.13 ~ 14	ティアラグリーンパレス	
	第5分区	北 野 浩司郎(沼田中央)	
	第6分区	赤 尾 佳 泰(藤岡)	

2007-2008	ガバナー		ガバナー補佐	
横 山 公 一(沼田)		第1 分区	井 上 芙美子(前橋中央)	
		第2 分区A	笠 原 康 利(桐生中央)	
		第2 分区B	菊 池 榮 作(伊勢崎)	
ロータリーは分かちあいの心		第3 分区	安 藤 震太郎(高崎北)	
		第4 分区A	中 村 康 夫(太田西)	
		第4 分区B	野 間 政 弘(大泉)	
地区協議会	2007. 5.12	利根沼田文化会館	第5 分区	新 井 尚 文(中之条)
地区大会	2007.10.13 ~ 14	利根沼田文化会館	第6 分区	須 永 勝(安中)
2008-2009	ガバナー		ガバナー補佐	
松 倉 紘 洋(富岡)		第1 分区	山 田 美 光(前橋)	
		第2 分区A	町 田 裕 一(桐生赤城)	
		第2 分区B	小 澤 昭 次(群馬境)	
世界中の子供達の夢をかたちに		第3 分区	佐 藤 昭 一(高崎シンフォニー)	
		第4 分区A	松 本 博(太田)	
		第4 分区B	新 井 武 夫(館林西)	
地区協議会	2008. 5.10	富岡市生涯学習センター	第5 分区	永 井 勇(渋川)
地区大会	2008.11. 7 ~ 8	富岡市かぶら文化ホール	第6 分区	一 柳 一 男(藤岡北)
2009-2010	ガバナー		ガバナー補佐	
牛久保 哲 男(伊勢崎)		第1 分区	千木良 芳 明(前橋西)	
		第2 分区A	八木橋 祥 价(桐生)	
		第2 分区B	山 崎 泰 男(伊勢崎中央)	
ロータリーの未来はあなたの手の中に		第3 分区	田 島 五 郎(高崎南)	
		第4 分区A	石 塚 栄(太田中央)	
		第4 分区B	石 井 信 義(館林東)	
地区協議会	2009. 5.16	伊勢崎市文化会館	第5 分区	阿 形 登 氏(沼田)
地区大会	2009.10.17 ~ 18	伊勢崎市文化会館	第6 分区	伊 原 喜久雄(富岡中央)
2010-2011	ガバナー		ガバナー補佐	
福 田 一 良(前橋西)		第1 分区	相 澤 克 也(前橋東)	
		第2 分区A	川 堀 良 治(桐生南)	
		第2 分区B	是 澤 久 正(伊勢崎南)	
世の中の役に立とう		第3 分区	羽 鳥 修 司(高崎)	
		第4 分区A	清 水 親 男(太田南)	
		第4 分区B	川 生 宏(館林ミレニアム)	
地区協議会	2010. 5. 9	ロイヤルチェスター前橋	第5 分区	佐 藤 徳 三(渋川みどり)
地区大会	2010.10. 9 ~ 10	ベイシア文化ホール	第6 分区	大 手 雅 晶(碓氷安中)
2011-2012	ガバナー		ガバナー補佐	
安 藤 震太郎(高崎北)		第1 分区	廣 山 武 雄(前橋北)	
		第2 分区A	家 住 慧 路(桐生西)	
		第2 分区B	谷 彰 良(伊勢崎東)	
こころの中を見つめよう 博愛を広げるために		第3 分区	山 本 豊(高崎東)	
		第4 分区A	萩 原 泉(新田)	
		第4 分区B	齊 藤 要(館林)	
地区協議会	2011. 5.14	高崎経済大学	第5 分区	飯 島 啓 一(草津)
地区大会	2011.10. 8 ~ 9	群馬音楽センター	第6 分区	豊 川 一 男(藤岡南)
2012-2013	ガバナー		ガバナー補佐	
疋 田 博 之(桐生)		第1 分区	永 井 豊(前橋南)	
		第2 分区A	森 下 正 教(桐生中央)	
		第2 分区B	藤 生 政 雄(伊勢崎)	
次代を担うこども達に向けて		第3 分区	三井田 賢 一(高崎セントラル)	
		第4 分区A	竹 内 正 幸(太田)	
		第4 分区B	星 野 薫(大泉)	
地区協議会	2012. 4.22	桐生市市民文化会館	第5 分区	浅 川 忠 良(沼田中央)
地区大会	2012.10.13 ~ 14	桐生市市民文化会館	第6 分区	野 村 義 祐(富岡かぶら)
2013-2014	ガバナー		ガバナー補佐	
本 田 博 己(前橋)		第1 分区	北 爪 國 平(前橋中央)	
		第2 分区A	星 野 榮 助(桐生赤城)	
		第2 分区B	久 保 勲(伊勢崎中央)	
希望を語ろう！		第3 分区	浅 田 千 秋(高崎北)	
		第4 分区A	五十嵐 敏 明(太田西)	
		第4 分区B	大 越 正 禎(館林西)	
地区協議会	2013. 5.12	前橋商工会議所会館	第5 分区	町 田 久(渋川)
地区大会	2013.10.26 ~ 27	ベイシア文化ホール	第6 分区	萩 野 勝 美(富岡)

2014-2015	ガバナー		ガバナー補佐
竹内正幸(太田)	第1分区 第2分区A 第2分区B 第3分区 第4分区A 第4分区B	山田邦子(前橋)	
		竹内靖博(桐生)	
		布施光一(群馬境)	
		吉本賢二(高崎シンフォニー)	
「異体同心」友情と奉仕の心 築き上げよう「46のロータリー物語」	第5分区 第6分区	荒牧功二(太田中央)	
		佐藤珠夫(館林東)	
		松野正一(沼田)	
		岩崎敏夫(藤岡)	
2015-2016	ガバナー		ガバナー補佐
生方彰(沼田中央)	第1分区 第2分区A 第2分区B 第3分区 第4分区A 第4分区B	平田育夫(前橋西)	
		薮勝・船山克人(桐生南)	
		下田進(伊勢崎南)	
		佐藤修(高崎南)	
奉仕・真実・喜び	第5分区 第6分区	山田邦夫(太田南)	
		関口亮二(館林ミレニウム)	
		松野正一(沼田)	
		堀口正孝(安中)	
2016-2017	ガバナー		ガバナー補佐
豊川一男(藤岡南)	第1分区 第2分区A 第2分区B 第3分区 第4分区A 第4分区B	佐藤信一(前橋東)	
		阿左美博(桐生西)	
		赤堀賢二(伊勢崎東)	
		市川豊行(高崎)	
点から面へ さらに世界へ — 広げよう〈友情と奉仕の〉和・輪 —	第5分区 第6分区	星野正義(新田)	
		宮内敦夫(館林)	
		岸権三郎(渋川みどり)	
		大塚慶甫(藤岡北)	
2017-2018	ガバナー		ガバナー補佐
田中久夫(高崎)	第1分区 第2分区A 第2分区B 第3分区 第4分区A 第4分区B	大島秀夫(前橋北)	
		遠藤二三男(桐生中央)	
		森田高史(伊勢崎)	
		永井乙彦(高崎東)	
ロータリーのある人生を誇りにしよう	第5分区 第6分区	中野正美(太田)	
		槻岡行支(大泉)	
		山田晃(沼田中央)	
		岡田稔(富岡中央)	
2018-2019	ガバナー		ガバナー補佐
宮内敦夫(館林)	第1分区 第2分区A 第2分区B 第3分区 第4分区A 第4分区B	中島博(前橋南)	
		瀬谷源(桐生赤城)	
		原邦昭(群馬境)	
		橋爪良真(高崎セントラル)	
クラブを元気に、世界に奉仕を、 みんなで回そうロータリーの輪	第5分区 第6分区	金谷光明(太田西)	
		土屋孝夫(館林西)	
		佐藤秀樹(渋川)	
		静朋人(碓氷安中)	
2019-2020	ガバナー		ガバナー補佐
森田高史(伊勢崎)	第1分区 第2分区A 第2分区B 第3分区 第4分区A 第4分区B	石川直美(前橋中央)	
		坪井良廣(桐生)	
		北原康男(伊勢崎中央)	
		梅山哲(高崎北)	
「クラブ イノベーション」 ～クラブの将来像を明確にし、クラブ改革を実践しよう～	第5分区 第6分区	赤石光雄(太田中央)	
		鍵田貴一郎(館林東)	
		保坂充勇(沼田)	
		神子田遙(藤岡南)	
2020-2021	ガバナー		ガバナー補佐
山田邦子(前橋)	第1分区 第2分区A 第2分区B 第3分区 第4分区A 第4分区B	福島英人(前橋)	
		和田洋一(桐生南)	
		福島敬仁(伊勢崎南)	
		君島准逸(高崎シンフォニー)	
奉仕の喜び Happiness to Serve より多く奉仕して、より多くの喜びを分かち合しましょう	第5分区 第6分区	小暮正男(太田南)	
		中山勉(館林ミレニウム)	
		小見山健次(渋川みどり)	
		新井嘉之(富岡かぶら)	
地区研修・協議会	2020. 6	YouTube配信・DVD郵送	
地区大会	2021. 4.25	ベイシア文化ホール	

2021-2022	ガバナー		ガバナー補佐
足立進(前橋東)	第1分区	黒岩千春(前橋西)	
	第2分区A	坪井良行(桐生西)	
	第2分区B	栗原成次(伊勢崎東)	
	第3分区	川口修平(高崎南)	
奉仕の理念を掲げ、新たな旅に出よう	第4分区A	松本貴之(新田)	
	第4分区B	小暮高史(館林)	
	第5分区	堤康喜智(沼田中央)	
	第6分区	村上明男(富岡)	
地区研修・協議会	2021.5.23	前橋商工会議所会館	
地区大会	2022.4.24	ベイシア文化ホール	
2022-2023	ガバナー		ガバナー補佐
中野正美(太田)	第1分区	木村清高(前橋東)	
	第2分区A	山崎倫義(桐生赤城)	
	第2分区B	久保木雅彦(伊勢崎)	
	第3分区	関口俊介(高崎)	
みんなのロータリー、みんなでロータリー、さあ！奉仕に出かけよう	第4分区A	田部井丑松(太田)	
	第4分区B	飯田知義(大泉)	
	第5分区	狩野要一(渋川)	
	第6分区	小暮満(藤岡)	
地区研修・協議会	2022.5.21	ティアラグリーンパレス	
地区大会	2022.10.22～23	太田市民会館	
2023-2024	ガバナー		ガバナー補佐
保坂充勇(沼田)	第1分区	富岡政明(前橋北)	
	第2分区A	須永博之(桐生)	
	第2分区B	田島正広(群馬境)	
	第2分区B	久保木雅彦(伊勢崎)	
自らの心を解放し、明るく学んで、楽しく奉仕	第3分区	清水英也(高崎東)	
	第4分区A	金谷光明(太田西)	
	第4分区B	飯田知義(大泉)	
	第5分区	島正一(渋川みどり)	
地区研修・協議会	2023.5.21	ホテルベラヴィータ	
地区大会	2023.10.21～22	利根沼田文化会館	
2024-2025	ガバナー		ガバナー補佐
森末廣(桐生)	第1分区	田嶋宏樹(前橋南)	
	第2分区A	増田浩三(桐生南)	
	第2分区B	藤田政幸(伊勢崎中央)	
	第3分区	室賀康志(高崎北)	
会員一人一人が主役、つながりを広げ、さあ行動しよう	第4分区A	武井智明(太田中央)	
	第4分区B	阿部豊子(館林東)	
	第5分区	春日政志(沼田)	
	第6分区	勅使河原正己(富岡中央)	
地区研修・協議会	2024.5.19	美喜仁桐生文化会館	
地区大会	2024.10.19～20	美喜仁桐生文化会館	
2025-2026	ガバナー		ガバナー補佐
竹中隆(高崎北)	第1分区	小磯正康(前橋中央)	
	第2分区A	青山豊(桐生西)	
	第2分区B	鷹巣修(伊勢崎南)	
	第3分区	関口朋克(高崎セントラル)	
ロータリーを語ろう	第4分区A	大谷恒雄(太田南)	
	第4分区B	原精一(館林ミレニアム)	
	第5分区	赤井幸夫(沼田中央)	
	第6分区	和田雅之(碓氷安中)	
クラブリーダーシップラーニングセミナー	2025.5.18	群馬音楽センター・ホテルグランビュール高崎	
地区大会	2025.10.24～25	高崎芸術劇場	

国際ロータリー第2840地区 2026-2027年度

ガバナー事務所管理運営規定及びマニュアル

ガバナー事務所管理運営委員会

1. 当事務所の管理運営責任者は当年度のガバナーとする。
ガバナーは当事務所の運営について、適切な判断のもとで当該年度の事業を代表地区幹事、副幹事及び事務局員とともに実施しなければならない。
(1) ガバナーは、事務局員について1年間の労働契約書を7月1日付にて締結しなければならない。
2. ガバナー事務所管理運営委員会は事務所運営についての諸問題を解決して、効率の良い事務所の運営が実施できるようにガバナーに提言する。また、当委員会のメンバー構成、及び任期は下記の通りとする。
(1) メンバー構成
委員長（パストガバナー）1名 委員（前年度代表地区幹事）1名
副委員長（パストガバナー）1名 委員（次年度代表地区幹事）1名
委員（代表地区幹事）1名 委員（次々年度代表地区幹事）1名
委員（地区会計長）1名
(2) 委員長の任期 3年
(3) 委員長・副委員長の選任は諮問委員会にて決定する。
3. 事務所就業時間
(1) 午前9時30分より午後5時30分とする。但し休憩は12時より1時迄の1時間とする。また、フレックスタイムを採用することもある。
(2) 事務所との連絡・問い合わせ等は、基本はメールとする。
但し、重要案件並びに緊急を要するものは電話にて対応し、午前9時30分から午後5時までとする。
(3) 事務所を会議所として使用するときは午後4時30分までに終了する。
(4) 事務局員が有給休暇を取る時は、事前に地区幹事の許可を取る。但し、緊急な場合は事後報告をするものとする。
(5) 土・日・祝日に出勤する場合には、予め定めた振替休日を取る。
4. 事業実施での地区幹事、副幹事、各委員長並びに事務局員との役割分担については別紙「2026-2027（竹中）年度 委員会・ガバナー事務局業務分担表（A）」を、また事務局員の委員会等の分担については別紙「2026-2027（竹中）年度 業務担当表（B）」を参照してください。
5. 事務局員各人が全業務に精進するため、可能な限り業務担当を年度毎に交換し、将来のリスクに備えるものとする。
6. 当事務所の運用システム（特にIT関連システム）、並びに印刷物関係等は当委員会による決定業者に限定する。
7. ガバナー年度終了後、全ての書類はデジタル化して保存し、3年経過後は書類は廃棄処分する。但し、ロータリー財団関係の書類は5年間保管する。
8. 委員長は、年度開始前（5月又は6月）に当該年度に備えて委員会を開催しなければならない。
9. 上記事務所の重要な規定及びシステムの変更等は委員会の決議を経てガバナー諮問委員会の承認を得るものとする。
10. この規定は2017年12月1日より実施される。
(2025年2月22日改定)

2026-2027年度 委員会・分区担当

地区幹事・会計長・地区副幹事・ガバナー事務局業務担当表(B)①

委員会・セミナー・会議ほか	地区幹事・会計長・地区副幹事		ガバナー事務局	
	メイン担当	サブ担当	メイン担当	サブ担当
ガバナー諮問委員会	高橋 豊	大谷 栄義	入山	佐藤
ガバナー指名委員会	櫻井 正晴	高橋 豊	佐藤	入山
地区幹事	櫻井 正晴	—	入山	佐藤
地区財務委員会	小板橋 桂	—	入山	佐藤
地区運営連絡会議	櫻井 正晴	三澤 俊之	佐藤	入山
ローターアクト地区連絡協議会	飯島 岳吏	川島 博	佐藤	入山
地区特定資産管理委員会	小板橋 桂	相川 北斗	入山	佐藤
地区事業検討特別委員会	櫻井 正晴	小板橋 桂	佐藤	入山
ガバナー事務所管理運営委員会	櫻井 正晴	小日向和博	佐藤	入山
地区戦略計画委員会	三澤 俊之	高橋 豊	入山	佐藤
審議会立法案検討委員会	櫻井 誠	久保 直彦	佐藤	入山
危機管理委員会	新井 祥文	田村 光三	入山	佐藤
ロータリーの友地区委員会	新井 祥文	櫻井 誠	佐藤	入山
地区ラーニング・管理運営委員会	小日向和博	大谷 栄義	入山	佐藤
RLI 推進委員会	三澤 俊之	—	佐藤	入山
ロータリー財団委員会	佐藤 宗孝	飯島 岳吏	佐藤	入山
ポリオプラス・資金推進委員会	坂上 順一	佐藤 宗孝	入山	佐藤
資金管理・平和フェローシップ委員会	松岡 将之	大谷 栄義	佐藤	入山
地区補助金委員会	松岡 将之	新井 祥文	佐藤	入山
グローバル補助金委員会	松岡 将之	久保 直彦	佐藤	入山
会員組織強化委員会	坂上 順一	大谷 栄義	入山	佐藤
(地区入会促進小委員会)	坂上 順一	大谷 栄義	入山	佐藤
(地区新クラブ結成小委員会)	坂上 順一	大谷 栄義	佐藤	入山
参加意欲向上員会	相川 北斗	前島 正樹	佐藤	入山
地区行動計画推進委員会	櫻井 正晴	—	佐藤	入山
公共イメージ・ICT 推進委員会	田村 光三	三澤 俊之	佐藤	入山
国際大会推進委員会	田村 光三	坂上 順一	入山	佐藤
奉仕プロジェクト委員会	坂上 順一	佐藤 宗孝	入山	佐藤
青少年交換委員会	飯島 岳吏	川島 博	入山	佐藤
インターアクト委員会	川島 博	飯島 岳吏	佐藤	入山
RYLA・学友委員会	川島 博	三澤 俊之	入山	佐藤
ローターアクト委員会	飯島 岳吏	櫻井 誠	佐藤	入山
米山記念奨学委員会	川島 博	佐藤 宗孝	入山	佐藤

2026-2027年度 委員会・分区担当

地区幹事・会計長・地区副幹事・ガバナー事務局業務担当表(Ｂ)②

委員会・セミナー・会議ほか	地区幹事・会計長・地区副幹事		ガバナー事務局	
	メイン担当	サブ担当	メイン担当	サブ担当
ガバナー補佐会議	櫻井 正晴	高橋 豊	佐藤	入山
ガバナー補佐・委員長会議	櫻井 正晴	飯島 岳吏	入山	佐藤
地区大会	三澤 俊之	坂上 順一	—	—
RI 会長代理歓迎晚餐会	前島 正樹	大谷 栄義	—	—
地区リーダーシップセミナー	前島 正樹	三澤 俊之	佐藤	入山
地区大会記念ゴルフ	佐藤 宗孝	久保 直彦	—	—
地区チームラーニングセミナー	櫻井 正晴	佐藤 宗孝	入山	佐藤
PELS・SELS	小日向和博	飯島 岳吏	入山	佐藤
ローターアクトラーニングセミナー	飯島 岳吏	櫻井 誠	—	—
クラブ管理運営セミナー	櫻井 正晴	三澤 俊之	—	—
クラブ活性化ワークショップ	櫻井 正晴	大谷 栄義	入山	佐藤
新会員セミナー	櫻井 正晴	小日向和博	佐藤	入山
現・新地区役員合同連絡会議	櫻井 正晴	新井 祥文	佐藤	入山
ガバナーエレクト壮行会	櫻井 誠	高橋 豊	入山	佐藤
クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー	櫻井 正晴	小日向和博	—	—
ロータリーデー	前島 正樹	小日向和博	佐藤	入山
ポリオデー	坂上 順一	佐藤 宗孝	—	—
I M 第1分区	櫻井 誠	相川 北斗	—	—
第2分区 A	久保 直彦	新井 祥文	—	—
第2分区 B	坂上 順一	三浦 雄人	—	—
第3分区	小日向和博	松岡 将之	—	—
第4分区 A	三澤 俊之	前島 正樹	—	—
第4分区 B	佐藤 宗孝	川島 博	—	—
第5分区	高橋 豊	飯島 岳吏	—	—
第6分区	大谷 栄義	田村 光三	—	—
ローターアクトクラブ	飯島 岳吏	川島 博	—	—
ガバナースタッフ会議	櫻井 正晴	小日向和博	—	—
ガバナー月信	久保 直彦	相川 北斗	入山	佐藤
会員必携	久保 直彦	櫻井 誠	入山	佐藤
研修・会議用パワーポイント作成	大谷 栄義	相川 北斗	—	—
ガバナー公式訪問	前島 正樹	川島 博	佐藤	入山
デザイン統括	—	—	—	—
データ管理共有統括	—	—	—	—

クラブ現況報告書記載順序(例)

規格はA4判縦組み左とじ、表紙には「2026-27 年度現況報告書・クラブ名」を記入し、RIの公式ロゴを表示してください。

1. 目次
2. 国際ロータリー会長プロフィール※
3. 国際ロータリー会長メッセージ※
4. 地区ガバナープロフィール※
5. ガバナーから国際ロータリー第2840地区会員の皆様へ※
6. ロータリー行動計画※
7. 国際ロータリー第2840地区第4期戦略計画※
8. 地区運営方針※
9. クラブ戦略計画(必ずご記載下さい)
10. クラブ会長の計画及び目標(写真)
11. 歴代会長・幹事・会員数・出席率/歴代国際ロータリー会長・歴代地区ガバナーテーマ
12. クラブ報告
 - (1) クラブ略歴
 - (2) 会員数
 - (3) 会員の種類
 - (4) 会員年齢(最年長者名、最年少者名、平均年齢、年齢構成、通算在籍年数)
 - (5) その他(事務所、例会場、例会日、例会時間、取引銀行)
 - (6) 地区役員、地区委員、クラブ役員、理事、会計監査と委員会編成
 - (7) 委員会名簿(組織表)
 - (8) 会員名簿(アルファベット順に記載、ABC等の見出し文字を付け、難読文字にはルビを住所には郵便番号記載)(可能な限り写真をご掲載下さい)
 - (9) クラブ出席状況(月別)・個人出席状況、100%出席者年数別表
 - (10) 会員の異動(入会、退会)
 - (11) 決算及び予算、特別会計報告(ニコニコボックス、その他)、貸借対照表
なお、公式訪問の日程で決算が間に合わない場合は、後日ガバナー事務所へ
 - (12) クラブの運営状況
 - A. 理事会、役員会
 - B. 総会
 - C. クラブ協議会
 - D. クラブフォーラム
 - E. 家庭集会(情報集会・炉辺会合)
 - F. クラブ間友好グループ
 - (13) 例会と主な奉仕活動
 - (14) 年間行事予定
 - (15) クラブ事業計画(委員会事業計画)
 - (16) 過去の主な奉仕活動
 - A. 各種大会のホスト及びコ・ホスト
 - B. 財団奨学生、GSE、青少年交換、米山奨学生等の派遣受入
 - C. 新クラブ設立のスポンサー
 - D. 地域社会奉仕活動
 - E. その他の奉仕活動
 - F. 顕著な業績
 - (17) ロータリー財団寄付実績(クラブ・個人別)*1
 - (18) 米山記念奨学寄付実績(クラブ・個人別)*2
 - (19) クラブ定款、細則、慶弔・見舞規程など(抜粋や改正箇所のみ記載でも可)
 - (20) 歴代の地区役員、委員名簿
 - (21) 国際ロータリー、地区及び地方公共団体等よりの受賞、被表彰記録(年月日と内容)

※の資料のデーターは地区から提供させていただきます。

*1、*2の個人別実績はクラブのご判断にお任せします。

クラブ現況指標

分 区	ク ラ ブ 名	会 員 数(女性) 2025.7.1	転 勤 等 に よ る 交 代 数	平 均 年 齢 2025.7.1 歳	平 均 年 齢 2015.7.1 10年前	ク ラ ブ 年 会 費 2025.7.1 円	出 席 率 2024.7～2025.6 %	My Rotary 登 録 率 2026.1.1 %	会 員 増 減 過 去 10 年 2015.7～2025.6			財 団 寄 付 2024.7～2025.6 \$150以上	ホ リ オ フ ア ス 2024.7～2025.6 \$30以上
									入 会	退 会	純 増 減 減は△		
第 1 分 区	前橋	117 (11)	23	61.68	60.80	240,000	63.77	86.44	123	122	1	207.87	35.54
	前橋西	56 (5)	2	61.66	61.92	200,000	74.77	83.64	53	50	3	109.66	30.00
	前橋東	50 (4)	0	55.00	63.04	210,000	72.48	82.35	63	70	▲7	268.85	31.60
	前橋北	79 (1)	0	56.30	56.00	200,000	79.70	85.71	62	50	12	176.40	36.36
	前橋南	56 (5)	2	55.55	63.73	200,000	74.02	81.13	47	23	24	155.59	31.35
	前橋中央	23 (5)	0	61.80	58.60	200,000	88.67	79.17	26	30	▲4	191.66	38.46
第 2 分 区 A	桐生	71 (12)	4	60.83	60.70	210,000	75.86	89.86	52	51	1	156.52	31.30
	桐生南	37 (4)	1	62.11	62.12	200,000	72.88	66.67	32	31	1	147.29	31.62
	桐生西	49 (11)	0	61.60	58.50	210,000	83.79	94.00	35	45	▲10	168.76	28.48
	桐生赤城	39 (7)	1	60.50	56.50	220,000	84.72	71.43	21	24	▲3	141.05	41.25
第 2 分 区 B	伊勢崎	79 (5)	3	60.50	57.50	240,000	87.69	96.39	66	59	7	163.22	32.44
	群馬境	23 (2)	2	60.04	66.35	200,000	81.58	50.00	30	36	▲6	153.00	30.00
	伊勢崎中央	88 (9)	2	59.00	57.50	240,000	77.90	80.43	66	48	18	157.52	30.12
	伊勢崎南	25 (2)	1	57.00	53.00	200,000	80.69	100.00	17	19	▲2	152.44	30.14
	伊勢崎東	34 (2)	2	65.00	60.53	200,000	74.23	85.37	23	13	10	60.50	26.07
第 3 分 区	高崎	138 (10)	11	60.00	56.00	240,000	57.54	56.55	122	99	23	88.66	10.32
	高崎南	66 (10)	7	66.00	61.00	240,000	56.17	47.69	58	55	3	104.45	23.74
	高崎北	77 0	6	59.16	60.89	240,000	65.15	62.34	70	51	19	162.75	44.06
	高崎東	26 (3)	1	61.00	70.64	220,000	73.91	78.57	27	38	▲11	169.29	30.00
	高崎シッポニー	45 (9)	0	68.20	62.00	240,000	80.06	100.00	27	18	9	157.09	30.00
	高崎セントラル	33 0	1	63.90	59.40	220,000	73.79	57.58	20	21	▲1	156.30	33.11
第 4 分 区 A	太田	70 (3)	3	62.60	60.11	210,000	52.15	95.83	71	76	▲5	177.14	32.56
	太田西	11 (1)	0	68.00	60.00	200,000	98.51	63.64	2	9	▲7	143.33	63.42
	太田南	47 (4)	2	57.59	64.00	170,000	77.81	100.00	49	37	12	178.14	37.98
	新田	21 (3)	1	59.70	68.00	200,000	72.01	40.00	35	30	5	109.13	1.74
	太田中央	46 (5)	0	62.28	56.10	180,000	53.55	81.25	23	25	▲2	165.68	38.18
第 4 分 区 B	館林	55 (4)	2	62.00	62.00	220,000	81.00	88.46	43	37	6	275.97	30.52
	大泉	25 (3)	3	65.00	61.00	220,000	79.72	24.00	21	28	▲7	153.41	41.94
	館林東	6 (1)	0	68.00	66.78	180,000	94.45	44.44	0	1	▲1	125.00	0.00
	館林ミレニアム	27 (1)	4	61.81	58.03	180,000	87.98	100.00	19	17	2	160.71	30.00
第 5 分 区	渋川	58 (5)	7	61.00	63.00	200,000	91.68	71.19	65	58	7	169.51	39.77
	沼田	73 (3)	4	57.48	56.60	200,000	68.14	98.65	52	39	13	166.19	38.73
	中之条	16 0	2	65.13	67.67	220,000	87.89	56.25	21	24	▲3	103.75	27.00
	沼田中央	49 (4)	3	62.00	60.40	200,000	71.97	100.00	49	55	▲6	110.20	35.24
	渋川みどり	48 (6)	1	58.50	57.50	194,000	63.76	91.30	29	24	5	99.27	16.03
第 6 分 区	富岡	41 (3)	5	64.00	62.50	180,000	90.91	60.47	32	34	▲2	147.44	26.92
	藤岡	43 (3)	3	63.11	61.36	200,000	88.91	76.74	40	41	▲1	167.96	29.32
	安中	56 (3)	7	57.21	57.18	200,000	54.19	55.36	60	32	28	39.05	47.37
	富岡中央	37 (3)	1	64.60	63.60	180,000	78.98	75.68	24	26	▲2	144.89	29.35
	碓氷安中	7 0	0	67.28	57.33	240,000	68.64	83.33	5	13	▲8	93.12	18.95
	藤岡南	18 0	0	55.55	60.76	180,000	89.55	66.67	16	19	▲3	115.91	23.18
	富岡かぶら	29 (3)	0	58.60	60.50	170,000	67.53	54.84	20	19	1	92.53	37.13
合計または平均		1994 (175)	117	61.39	60.74	207,000	76.16	75.32	1716	1597	119	147.31	30.98

クラブ現況指標

分 区	クラブ名	地区補助金 申請①	グローバル 補助金②	①・②以外の 青少年支援事業		児童養護施設への 支援事業		米山寄付 2024.7～2025.6 16000円 以上	米山世話 クラブ 過去10年 回	青少年 長期受入 過去10年 回	青少年 短期受入 過去10年 回	クラブ 戦略計画	クラブ研修 リーダー	クラブ研修 委員会	クラブ行総計画 推進リーダー
		2024.7～ 2025.6	2015.7～ 2025.6	有無	規約の有無	有無	規約の有無					有無	有無	有無	有無
第1 分 区	前橋	○	○	奨学金	○	金銭・物品	○	17,788	8	0	0	○	○	○	○
	前橋西	○	○	金銭支援	○	—	—	13,330	7	0	0	○	○	○	○
	前橋東	○	○	—	—	—	—	24,843	7	0	3	○	○	○	○
	前橋北	○	—	—	—	金銭・物品	—	19,818	6	0	2	○	○	○	○
	前橋南	○	—	金銭・物品	—	—	—	16,000	4	0	0	○	○	—	○
	前橋中央	○	—	—	—	—	—	17,142	8	1	0	○	○	—	○
第2 A	桐生	○	○	奨学金	○	—	—	16,753	10	2	3	○	○	○	○
	桐生南	○	—	金銭支援	—	物品支援	—	19,729	6	0	0	○	○	○	○
	桐生西	○	○	金銭支援	○	—	—	19,020	8	0	0	○	○	—	○
	桐生赤城	○	—	金銭支援	○	—	—	18,987	9	1	0	○	○	○	○
第2 分 区 B	伊勢崎	○	○	物品支援	—	奨学金	○	19,883	9	6	0	○	○	○	○
	群馬境	○	—	—	—	奨学金	○	16,760	7	0	0	○	○	—	○
	伊勢崎中央	○	—	—	—	奨学金	○	19,544	8	2	1	○	○	○	○
	伊勢崎南	○	—	—	—	奨学金	○	16,980	3	0	0	○	○	—	○
	伊勢崎東	○	—	—	—	奨学金	○	14,172	6	0	0	○	○	○	○
第3 分 区	高崎	○	○	—	—	—	—	14,000	7	1	0	○	○	○	○
	高崎南	○	—	金銭支援	○	—	—	14,182	2	2	0	○	○	—	○
	高崎北	○	○	金銭支援	○	—	—	13,572	7	2	0	○	○	○	○
	高崎東	○	○	—	—	—	—	21,567	10	1		○	○	○	○
	高崎シンフォニー	○	○	金銭支援	—	その他	—	20,266	5	1	1	○	○	○	○
	高崎セントラル	○	—	—	—	—	—	16,530	1	0	0	○	○	—	○
第4 分 区 A	太田	○	○	金銭支援	○	—	—	26,992	10	2	0	○	○	○	○
	太田西	○	—	—	—	—	—	19,333	3	0	1	○	○	○	○
	太田南	○	—	金銭支援	—	—	—	15,916	0	1	0	○	○	○	○
	新田	○	—	金銭支援	—	物品支援	—	11,608	0	0	0	○	○	—	○
	太田中央	○	—	—	—	—	—	20,344	2	0	1	○	○	—	○
第4 分 区 B	館林	○	—	金銭支援	—	—	—	19,324	8	1	1	○	○	○	○
	大泉	○	○	金銭・物品	—	—	—	57,750	1	0	0	○	○	—	○
	館林東	○	—	—	—	—	—	32,000	0	0	0	○	○	○	○
	館林ミレニアム	○	—	—	—	—	—	16,000	1	0	0	○	○	○	○
第5 分 区	渋川	○	—	物品支援	—	物品支援	—	23,077	2	0	0	○	○	○	○
	沼田	○	○	金銭・物品	—	—	—	21,120	2	0	0	○	○	○	○
	中之条	○	—	—	—	—	—	4,888	0	0	0	○	○	—	○
	沼田中央	○	—	金銭支援	—	—	—	18,610	3	0	0	○	○	○	○
	渋川みどり	○	—	その他	—	—	—	19,188	9	0	0	○	○	○	○
第6 分 区	富岡	○	—	金銭支援	○	—	—	19,853	9	1	0	○	○	—	○
	藤岡	○	○	—	—	—	—	16,000	7	0	0	○	○	○	○
	安中	○	—	—	—	—	—	7,129	8	6	1	○	○	○	○
	富岡中央	○	○	—	—	その他	—	16,125	7	0	0	○	○	—	○
	碓氷安中	○	—	—	—	—	—	13,428	0	0	0	○	○	—	○
	藤岡南	○	—	—	—	—	—	2,931	0	0	0	○	○	—	○
	富岡かぶら	○	○	—	—	—	—	16,913	6	0	0	○	○	—	○
合計または平均		42	16	21	9	12	6	18,319	216	30	14	42	42	26	42

分 区	クラブ名	R1会長賞 受賞歴 過去10年	インターアクト クラブ スター 有無	ローターアクト クラブ スター 有無	クラブ HP 有無	地区役員及び 出向者数 過去10年 (除同一人物)	スポンサークラブ 実績	姉妹クラブ 実績	友好クラブ 実績	クラブ 歴 年	目 標	
							クラブ名	クラブ名	クラブ名		純増数	新会員 入会数
第1 分 区	前橋	—	○	○	○	31	高崎・前橋西・前橋北・ 伊勢崎・沼田・渋川	—	水戸・新潟	72	2	2
	前橋西	—	○	—	○	13	前橋東・前橋南	—	富山西・オレサ	62	2	2
	前橋東	—	○	—	○	21	前橋中央	高雄南星	雪国魚沼・柏崎	48	2	5
	前橋北	—	—	—	○	11	—	—	新潟北・相馬	45	3	3
	前橋南	—	○	○	○	8	—	—	いわき平中央	41	5	5
	前橋中央	—	—	—	○	9	—	台湾源子	富山みらい・ 八潮みらい	32	3	3
第2 A	桐生	○	○	○	○	24	前橋・草津温泉・ 桐生南・桐生西	シンガポール西・ モア・ソウ・龍山	—	73	2	4
	桐生南	○	○	—	○	7	桐生西・桐生中央	新泰	村上	60	5	5
	桐生西	○	○	○	○	11	桐生赤城	シンガポール西・ マンダラコン・釜山新西面	柳尾	54	4	4
	桐生赤城	—	—	—	○	12	—	—	上田六文銭・水戸・ アトリアバ	29	2	2
第2 分 区 B	伊勢崎	○	—	○	○	26	太田・群馬境・ 伊勢崎中央・伊勢崎南	シンファンスコデルモンテ(比)	伊勢原	72	5	10
	群馬境	—	—	—	○	5	—	—	佐渡	55	1	3
	伊勢崎中央	—	—	—	○	31	伊勢崎東	—	新潟・郡上八幡	51	2	2
	伊勢崎南	—	○	—	○	7	—	—	—	46	2	3
	伊勢崎東	—	—	—	○	6	—	アトロ・サン・ペドロ (フィリピン)	—	32	2	2
第3 分 区	高崎	—	○	—	○	36	高崎南・高崎北・ 高崎東・富岡・安中	サーファーズパラダイス・ 金沢百万石	宇都宮南・本庄・ 新潟西	72	2	10
	高崎南	—	○	—	○	8	藤岡・高崎セントラル	バートルクリーク	台北西北・新潟南・ 龍美	64	3	5
	高崎北	—	—	○	○	20	高崎シニア	—	新潟東・台北首都・ チリツク・フレイザー	58	3	3
	高崎東	—	○	—	○	13	—	—	釜石東	46	2	5
	高崎シニア	—	—	—	○	12	—	Wahiawa-waihua	神戸東灘	30	2	3
	高崎セントラル	—	—	—	○	6	—	—	新潟南・台北市華陽	27	2	2
第4 分 区 A	太田	—	○	○	○	22	太田中央・太田南・ 太田西・大泉	韓国ニュー大田	—	68	3	5
	太田西	—	—	—	—	4	新田	—	弘前東	53	1	1
	太田南	—	—	—	—	8	—	ソウル東湖	—	48	1	1
	新田	—	○	—	○	4	—	福井南	台湾北斗	43	2	2
	太田中央	—	—	—	○	3	—	—	新潟中央	33	2	2
第4 分 区 B	館林	—	○	—	○	28	館林シニア・館林西・ 館林東	セブポートセンター	—	68	5	5
	大泉	—	—	—	—	6	—	マニラ101・ マニラプレミア・西馬山	—	59	4	4
	館林東	—	—	—	○	2	—	—	高田東・ 足利わたりせ	42	3	3
	館林シニア	—	—	—	○	4	—	—	—	26	1	1
第5 分 区	渋川	—	—	—	○	10	中之条・渋川みどり	—	—	69	1	3
	沼田	○	○	○	○	24	沼田中央	—	新発田	67	3	3
	中之条	—	—	—	○	1	—	—	—	57	1	1
	沼田中央	○	—	—	○	20	—	台北南門扶輪社	新潟万代	40	2	6
	渋川みどり	—	—	—	○	12	—	—	—	32	2	2
第6 分 区	富岡	—	—	—	○	9	富岡中央	—	岡谷・浜谷	63	2	3
	藤岡	○	—	—	○	16	藤岡北・藤岡南	—	羽咋	62	1	2
	安中	○	○	—	○	11	碓氷安中	—	新発田中央	61	2	2
	富岡中央	—	—	—	○	5	富岡かぶら	フィリピン サーキット・マカティ	—	32	2	2
	碓氷安中	—	—	—	○	8	—	—	—	28	2	2
	藤岡南	○	—	—	—	10	—	—	浦和グレイズ	25	2	2
	富岡かぶら	○	—	—	○	5	—	—	—	23	2	2
合計または平均		10	16	8	38	529				49.24	100	137

世界のロータリー

36,358
世界中のロータリークラブの数

9,550
ローターアクトクラブの数
(ローターアクター数：推定132,296人)

17,111
インターアクトクラブの数
(インターアクター数：推定393,691人)

米国、カナダ、
カリブ海地域
260,235

中南米
110,911

世界中の
ロータリアンの数
1,124,681

RIBI
33,740

ヨーロッパ、
アフリカ、中東
292,417

アジア
404,885

オーストラリア、
ニュージーランド、
太平洋諸島
22,493

*ロータリアンとローターアクターを含む、2025年7月1日現在の数

ロータリアンがボランティアに
費やした時間
約年間**4,700**万時間

ロータリアンが財団に
寄付／募金した額
4億1,700万ドル

これまでに授与された
ロータリー平和フェローシップ
1,800件以上

授与されたグローバル補助金
1,423口(総額8,820万ドル)



疾病予防と治療
673 (4,390万ドル)



水と衛生
168 (1,180万ドル)



地域社会の経済発展
163 (960万ドル)



基本的教育と識字率向上
127 (710万ドル)



母子の健康
131 (730万ドル)



平和構築と紛争予防
86 (390万ドル)

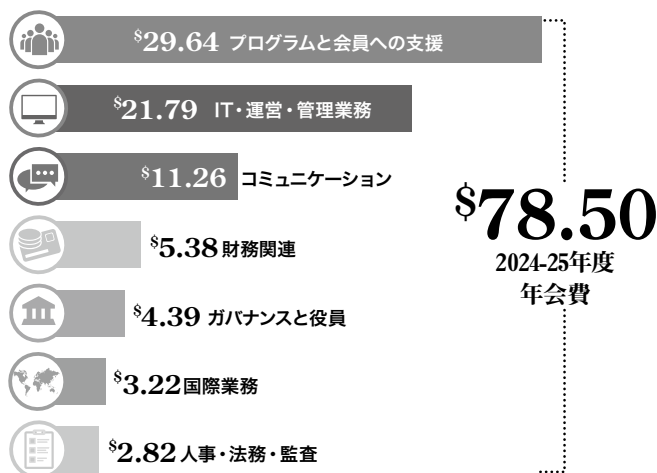


環境
75 (450万ドル)

(2025年7月1日現在)

2024-2025年度のRI財務報告

会費はどのように使われるか



国際ロータリー 収支報告

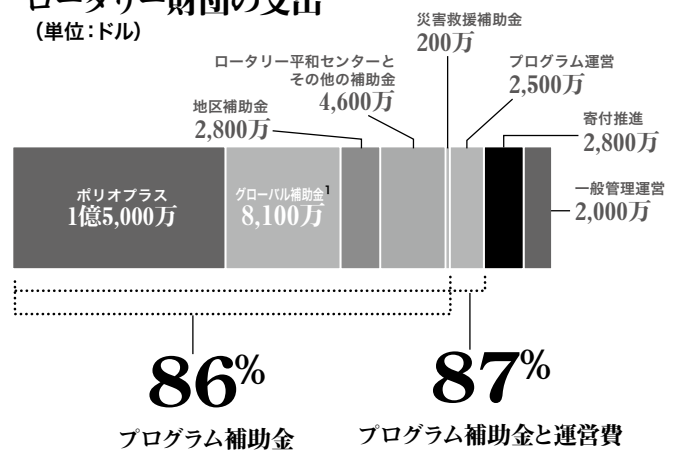
2024年会計年度と2025年会計年度（6月期、単位1000米ドル）

収入	会計年度累計	
	2024年実績	2025年実績
会費	\$ 88,303	\$ 93,279
投資純益	4,383	6,702
支援業務その他の活動	36,968	36,259
収入合計	\$ 129,654	\$ 136,240
支出		
運営費	\$ 93,796	\$ 98,327
支援業務その他の活動	33,337	31,350
戦略的準備金	1,252	1,189
支出合計	\$ 128,385	\$ 130,866
為替差損	\$ (3,025)	\$ 1,096
純資産の増加	\$ (1,756)	\$ 6,470
純資産（期首）	\$ 156,450	\$ 154,694
純資産（期末）	\$ 154,694	\$ 161,164

*1 返金その他調整後

2 米国会計基準に基づき、ロータリー財団は誓約と他基金（ポリオプラスなど）への繰入を寄付として報告していません。（財団の他のレポートとは異なる場合があります。）

ロータリー財団の支出 (単位:ドル)



ロータリー財団 収支報告

2024年会計年度と2025年会計年度（6月期、単位1000米ドル）

収入	会計年度累計	
	2024年実績	2025年実績
寄付 ²	\$ 351,664	\$ 406,478
投資純益	110,356	139,961
補助金その他の活動	5,110	4,558
収入合計	\$ 467,130	\$ 550,997
支出		
プログラム補助金	\$ 278,705	\$ 306,124
プログラム運営費	23,830	25,431
寄付推進	26,612	27,654
一般管理運営	18,076	20,039
支出合計	\$ 347,223	\$ 379,248
為替差損	\$ (7,527)	\$ 2,719
誓約未収入金のための予備費	\$ (1,927)	\$ (4,111)
純資産の増加	\$ 110,453	\$ 170,357
純資産（期首）	\$ 1,333,533	\$ 1,443,986
純資産（期末）	\$ 1,443,986	\$ 1,614,343

ロータリー関係事務所一覧

国際ロータリー（R.I）世界本部	Rotary International. One Rotary Center 1560 Sherman Ave, Evanston, Illinois 60201-3698 U.S.A http://www.rotary.org/
国際ロータリー日本事務局	〒108-0073 港区三田1-4-28 三田国際ビル24F 業務時間 9:30～17:30（12:30～13:30昼休） ※土日祝祭日はお休みとなります。
【会員増強・体験推進室】 定款・細則、クラブ・地区運営 My Rotaryアカウント登録	TEL 03-5439-5800 FAX 03-5439-0405 E-mail rijapan@rotary.org
【財団室】 財団への寄付、認証、補助金	TEL 03-5439-5805 FAX 03-5439-0405 E-mail rijpntrf@rotary.org
【経理室】 人頭分担金・寄付等の入出金管理	TEL 03-5439-5803 FAX 03-5439-0405 E-mail rijpnfs@rotary.org
【業務推進室】 認証品発送、電子資料案内、 システム関連	TEL 03-5439-5802 FAX 03-5439-0405 E-mail rijpnpi@rotary.org
公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会	〒105-0011 港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F TEL 03-3434-8681 FAX 03-3578-8281 http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
一般社団法人 ロータリーの友事務所	〒105-0011 港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4F TEL 03-3436-6651 FAX 03-3436-5956 http://www.rotary.or.jp/
ロータリー文庫	〒105-0013 港区浜松町2-7-16 第3小森谷ビル別館6階 TEL 03-3433-6456 FAX 03-3459-7506 E-mail rotary-bunko@msj.biglobe.ne.jp http://www.rotary-bunko.gr.jp/
ガバナー会	〒105-0011 港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4F TEL 03-3433-6497 FAX 03-3433-7395
ロータリー・リーダーシップ研究会 （RLI）日本支部	〒105-0011 港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4F 国際ロータリー第2750地区事務所内 E-mail : rlijapan.mainoffice@gmail.com https://rli-japan.org/
国際ロータリー第2840地区 ガバナー事務所	〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館 1F TEL 027-212-2840 FAX 027-212-2841 E-mail : takenaka@rid2840.jp http://www.rid2840.jp/

2026-2027年度 第2840地区 クラブ事務局 一覧

分区	クラブ名	住 所	T E L	F A X
1	前橋	〒371-0846 前橋市元総社町194 群馬銀行本店内	027-252-0532	027-254-0612
	前橋西	〒371-0855 前橋市問屋町1-10-5 TAGビル3F	027-288-0355	027-288-0047
	前橋東	〒371-0847 前橋市大友町1-2-11 ロイヤルチェスター前橋内	027-252-7907	027-252-7926
	前橋北	〒371-0017 前橋市日吉町1-8-1 前橋商工会議所 4 階	027-219-2080	027-219-2081
	前橋南	〒371-0017 前橋市日吉町1-8-1 前橋商工会議所 4 階	027-232-9228	027-289-5584
	前橋中央	〒371-0847 前橋市大友町1-2-11 ロイヤルチェスター前橋内	027-255-2207	027-255-2230
2 A	桐生	〒376-0035 桐生市仲町2-9-36 桐生倶楽部内	0277-45-1513	0277-45-1514
	桐生南	〒376-0024 桐生市織姫町4-22 桜井マンション203号室	0277-52-5088	0277-52-5087
	桐生西	〒376-0013 桐生市広沢町1-2689 日本料理 うおせん内	0277-47-7061	0277-47-7062
	桐生赤城	〒376-0011 桐生市相生町3-560-7	0277-47-8251	0277-47-8252
2 B	伊勢崎	〒372-0014 伊勢崎市昭和町3827 伊勢崎プリオ内	0270-24-9966	0270-24-9968
	群馬境	〒370-0124 伊勢崎市境309 群馬銀行境支店 2 階	0270-74-4099	0270-74-4099
	伊勢崎中央	〒372-0031 伊勢崎市今泉町1-9-7 ニューいづみ内	0270-20-6000	0270-20-6001
	伊勢崎南	〒372-0042 伊勢崎市中央町20-17 アイオー信用金庫本店内	0270-30-5033	0270-21-9000
	伊勢崎東	〒372-0014 伊勢崎市昭和町3827 伊勢崎プリオ内	0270-30-3344	0270-30-3345
3	高崎	〒370-0815 高崎市柳川町70 ホテルグランビュウ高崎内	027-327-2888	027-327-2887
	高崎南	〒370-0849 高崎市八島町222 ホテルメトロポリタン高崎 6 階	027-327-7711	027-325-3730
	高崎北	〒370-0815 高崎市柳川町70 ホテルグランビュウ高崎内	027-330-6060	027-330-6061
	高崎東	〒370-0841 高崎市栄町22-30 エテルナ高崎内	027-386-4763	027-386-4766
	高崎シンフォニー	〒370-0813 高崎市本町144-1 光明不動産第7テナントビル2-202	027-328-3371	027-328-3372
	高崎セントラル	〒370-0815 高崎市柳川町70 ホテルグランビュウ高崎内	027-310-7722	027-310-7733
4 A	太田	〒373-0851 太田市飯田町584 群馬銀行太田支店内	0276-46-5400	0276-46-5401
	太田西	〒373-0842 太田市細谷町1 ティアラグリーンパレス 3 階	0276-32-5552	0276-32-5552
	太田南	〒373-0851 太田市飯田町753 1階 (株)レゾンデートル内	090-3829-5689	0276-49-5801
	新田	〒370-0341 太田市新田金井町607 新田商工会内	0276-57-4499	0276-57-4459
	太田中央	〒373-0853 太田市浜町3-6 太田商工会議所会館4階	0276-48-8231	0276-48-8232
4 B	館林	〒374-8608 館林市本町1-6-32 館林信用金庫本店内	0276-72-8181	0276-72-8181
	大泉	〒370-0533 邑楽郡大泉町仙石2-26-1 仙石第一ビル2階	0276-63-2169	0276-63-2169
	館林東	〒374-0065 館林市西本町2-50 応声寺内	0276-76-7700	0276-76-7701
	館林ミレニウム	〒374-0029 館林市仲町5-38 NTT館林ビル 3 階	0276-71-2222	0276-71-2223
5	渋川	〒377-0008 渋川市渋川1695-10 群馬銀行渋川支店内	0279-23-7766	0279-23-7080
	沼田	〒378-0044 沼田市下之町888 テラス沼田7F	0278-24-1177	0278-24-0070
	中之条	〒377-0424 吾妻郡中之条町908-1 群馬銀行中之条支店内	0279-75-4418	0279-75-4418
	沼田中央	〒378-0045 沼田市材木町178-1 ホテルベラヴィータ内	0278-22-2100	—
	渋川みどり	〒377-0027 渋川市金井402-1 ゴルフプラザ渋川内	0279-24-8844	0279-24-9797
6	富岡	〒370-2316 富岡市富岡245-1 ホテルアミューズ富岡内	0274-63-0484	0274-62-5533
	藤岡	〒375-8506 藤岡市藤岡853-1 藤岡商工会議所 2 階	0274-22-6135	—
	安中	〒379-0131 安中市古屋333-1 (株)並木内	027-382-2000	027-382-6160
	富岡中央	〒370-2316 富岡市富岡245-1 ホテルアミューズ富岡内	0274-62-5588	0274-62-5722
	碓氷安中	〒379-0131 安中市古屋333-1 (株)並木内	027-380-1322	027-380-1323
	藤岡南	〒375-8506 藤岡市藤岡853-1 藤岡商工会議所 2 階	0274-22-6135	—
	富岡かぶら	〒370-2316 富岡市富岡245-1 ホテルアミューズ富岡内	0274-62-3625	0274-62-3697

※桐生南RC 2025年12月クラブ事務局移転の為に上記住所に変更となりました。(TEL・FAX変更無し)

※伊勢崎RC・伊勢崎東RC 建物名が上記へ変更となりました。

※安中RC 2026年1月クラブ事務局移転の為に上記住所に変更となりました。(TEL・FAX変更無し)

※碓氷安中RC 2026年1月クラブ事務局移転の為に上記住所に変更となりました。(TEL・FAX変更無し)

2026-2027年度 第2840地区 クラブ例会一覧

曜日	例会開始時間	クラブ名	例会場	備 考
月曜日	12:10	高崎	ホテルグランビュー高崎	
	12:30	前橋北	前橋商工会議所	
		桐生	桐生倶楽部	
		伊勢崎東	伊勢崎プリオ	
火曜日	12:10	前橋	群馬銀行本店 営業棟 3 階	月の最終週ロイヤルチェスター前橋
		中之条	群馬銀行中之条支店	月の最終週18：30（別会場）
	12:15	富岡かぶら	ホテルアミューズ富岡	
	12:20	渋川みどり	プレヴェール渋川	
	12:30	桐生赤城	日本料理 うおせん	
		伊勢崎南	プラザ・アリア	
		高崎南	ホテルメトロポリタン高崎	
		太田南	太田グランドホテル	
		沼田	ホテルベラヴィータ	
		安中	並木苑	
	18:30	高崎セントラル	ホテルグランビュー高崎	
水曜日	12:10	前橋南	ホテルサンダーソン	
		前橋中央	ロイヤルチェスター前橋 2 階	
		伊勢崎	伊勢崎プリオ	
		富岡	ホテルアミューズ富岡	
	12:30	桐生南	美喜仁館 桐生店	
		高崎北	ホテルグランビュー高崎	
		太田西	ティアラグリーンパレス	
		新田	太田市新田商工会館 2 階	
		大泉	仙石第一ビル 2 階	
		館林東	つかさ本店	第 4 週は18：30／第 5 週は休会
木曜日	12:10	群馬境	群馬銀行境支店 2 階	
		伊勢崎中央	ニューいづみ	
		館林ミレニウム	つかさ本店	
		渋川	プレヴェール渋川	
	12:15	富岡中央	ホテルアミューズ富岡	
	12:20	前橋東	ロイヤルチェスター前橋 2 階	
	12:30	高崎東	エテルナ高崎	
		太田	ロイヤルチェスター太田	
		沼田中央	ホテルベラヴィータ	
		藤岡	藤岡商工会議所	
		碓氷安中	並木苑	
金曜日	12:00	藤岡南	藤岡商工会議所	
	12:10	前橋西	ホテルサンダーソン	
		館林	ニューミヤコホテル館林	
	12:30	桐生西	日本料理 うおせん	
		高崎シンフォニー	マリエールウィル高崎	
		太田中央	ダニエルハウス	

※前橋南RC 例会場が上記会場へと変更になりました。

※桐生赤城RC 例会場が上記会場へと変更になりました。

※伊勢崎RC・伊勢崎東R 例会場が上記へと変更になりました。

MEMO

2026-2027 年度 国際ロータリー第 2840 地区

竹中隆ガバナー事務所

所在地：〒371-0855 群馬県前橋市問屋町 2-2

前橋問屋センター会館 1 階

TEL：027-212-2840 FAX：027-212-2841

E-mail：takenaka@rid2840.jp

開所時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分（土・日・祝日は休み）

電話対応：午前 9 時 30 分～午後 5 時

事務局員 入山 こず江

事務局員 佐藤 由紀恵



※ お車でお越の際は、前橋問屋センター会館西側(しのめ信用金庫 ATM 目印)駐車場の「スワン駐車場」の札が設置されていない場所にご駐車ください。

竹中 隆 ガバナー事務所

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F

TEL: 027-212-2840 FAX: 027-212-2841

E-mail: takenaka@rid2840.jp